

投資信託に関するアンケート調査 (Z世代調査)

報告書

2024年3月



一般社団法人
投資信託協会

<目 次>

1. 調査計画の概要	3
2. 調査結果の要約と考察	8
3. 回答者のプロフィール	15
(1)性別・年齢〔F1,F2〕	16
(2)職業〔Q1〕	17
(3)個人年収〔Q2〕	18
(4)家族構成〔Q3〕	19
(5)趣味・関心ごと〔Q4〕	20
(6)SNSの動画の許容視聴時間〔Q5〕	22
4. 生活やお金に関する価値観・意識	24
(1)生活や人生における価値観〔Q6〕	25
(2)お金についての考え方〔Q7〕	27
(3)「自分の将来に必要なお金」について考えるタイミング〔Q8〕	29
(4)特にお金がかかりそうなライフイベント〔Q9〕	31
(5)どのような方法でお金を用意しようと思うか〔Q10〕	33
(6)お金について他者と話をすることがあるか／お金のどんな話をするか〔Q11〕	40
5. 投資に対する認識・知識	47
(1)投資商品・方法認知〔Q12〕	48
(2)投資実施有無と投資している商品〔Q13〕	50
(3)投資を始めたきっかけ〔Q14〕	54
(4)投資に対する興味・関心〔Q15〕	56
(5)金融に関する基本的な知識〔Q16〕	58
(6)投資に対するイメージ〔Q17〕	61
(7)回答したイメージを想起する理由（ネガ）〔Q18〕	63
(8)投資についての考え方〔Q19〕	64
(9)投資のリスクに対する許容度〔Q20〕	66
(10)値上がり実感有無〔Q21〕	68
(11)値上がり対策〔Q22〕	70

＜目 次＞

ページ

6. 投資に対する教育と学習	72
(1)投資教育についての経験・心理変容・今後の意向〔Q23①②③〕	73
(2)投資教育経験〔Q23①〕	74
(3)投資教育による心理変容〔Q23②〕	76
(4)今後受けたい投資教育〔Q23③〕	78
(5)普段の情報源／投資に関する情報源として信頼できるもの〔Q24①②〕	80
(6)普段の情報源〔Q24①〕	81
(7)投資に関する情報源として信頼できるもの〔Q24②〕	83
7. 投資に関する困難や課題	85
(1)投資を始める際のハードル〔Q25〕	86
(2)どのようなものがあれば投資を始められるか〔Q26〕	88
8. 投資のための資金・選択基準	90
(1)月額貯蓄額・月額投資可能額〔Q27①②〕	91
(2)月額貯蓄額〔Q27①〕	92
(3)月額投資可能額〔Q27②〕	94
(4)購入意向のある投資商品〔Q28〕	96
(5)投資商品の選択時判断基準〔Q29〕	98
(6)投資に取り組む価値〔Q30〕	100

※ 末尾添付資料 : 調査票

1. 調査計画の概要



1. 調査計画の概要

調査の目的	Z世代が投資知識を深めるための有効な手法と、投資を行っていないZ世代が直面している課題を調査し、Z世代の資産形成・投資信託の利用促進に資する資料とする。																												
調査手法	インターネット調査（抽出フレーム：NRCネットワークパネル） ※ インターネット調査のモニターは、一般的に情報感度が高い事が確認されており、金融商品（投資信託）においては保有率や制度認知が郵送調査モニターなどに比べて高めに出る傾向にあります。																												
調査地域	全国																												
調査対象	15～34歳の男女																												
サンプル数	<p>総計3,000サンプル</p> <p>* 性・年齢で割付実施</p> <p>（住民基本台帳人口データが5歳刻みのみのため、1歳刻みの総務省統計局人口推計の令和4（2022）年10月1日現在・日本人人口のデータを使用）</p> <p>* 職業条件による除外は実施していない。</p> <p><性・年代ごとの回収数詳細></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>15～17歳</th> <th>18～21歳</th> <th>22～24歳</th> <th>25～29歳</th> <th>30～34歳</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>211</td> <td>300</td> <td>232</td> <td>390</td> <td>399</td> <td>1,532</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>202</td> <td>284</td> <td>223</td> <td>375</td> <td>384</td> <td>1,468</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>413</td> <td>584</td> <td>455</td> <td>765</td> <td>783</td> <td>3,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>（エリアでの割付は行わない）</p>		15～17歳	18～21歳	22～24歳	25～29歳	30～34歳	合計	男性	211	300	232	390	399	1,532	女性	202	284	223	375	384	1,468	合計	413	584	455	765	783	3,000
	15～17歳	18～21歳	22～24歳	25～29歳	30～34歳	合計																							
男性	211	300	232	390	399	1,532																							
女性	202	284	223	375	384	1,468																							
合計	413	584	455	765	783	3,000																							
調査時期	2023年10月25日（水）～ 10月30日（月）																												
調査主体	一般社団法人 投資信託協会																												
調査実施機関	株式会社日本リサーチセンター																												

<グラフ・表・コメントについて>

- ・ 本報告書の回答割合等の数値(%)は、小数点第2位を四捨五入して表示しているため、数値を足し上げた際に内訳の合計が100%ちょうどにならない場合がある。また、小計においても、内訳を足し上げた数値と誤差が生じる場合がある。
- ・ グラフ、数表上の数値は特に断りがない限りは%値となる。また“n”は各属性の実数(サンプル数)を表しており、n数が少ない属性(30未満)のデータを見る際は、あくまで参考値として捉えるように注意する必要がある。

1. 調査計画の概要

<分析軸の内容>

3～8章では、①基本属性別、②Z世代インサイト別、③追加分析軸によりクロス分析を実施。
②、③については、必要なクロス集計データのみを掲載している。

分析軸	カテゴリー	備考		
① 基本属性別	世代、性別、年齢 (F1・F2)	1 コアZ世代(15～24歳) 2 初期Z世代(25～34歳)	F2の調査結果から作成	
		1 男性・計 2 女性・計	F1の調査結果から作成	
		1 男性15-17歳 2 男性18-21歳 3 男性22-24歳 4 男性25-29歳 5 男性30-34歳	F1・F2の調査結果から作成	
		6 女性15-17歳 7 女性18-21歳 8 女性22-24歳 9 女性25-29歳 10 女性30-34歳		
	職業 (Q1)	1 高校生		Q1で「1.高校生」の回答者
		2 大学生・専門学校生等		「2.短大生、大学生、大学院生」「3.専門学校生、その他の学生、予備校生」の回答者
		3 会社員・派遣・自営業等		「4.会社員・非営利団体職員・公務員」「5.派遣・契約社員」「6.会社役員・経営者」「7.自営業(農林漁業含む)・自由業(医師・弁護士など)」「11.その他の職業」の回答者
		4 パート・アルバイト・フリーター	「8.パート・アルバイト・フリーター(学生のアルバイトは除く)」の回答者	
		5 専業主婦・主夫・無職	「9.専業主婦/主夫」「10.無職」の回答者	

1. 調査計画の概要

分析軸		カテゴリー	備考
① 基本 属性 別 (続 き)	投資経験別 (Q12・Q13)	1 投資商品認知者・計(18-34歳)	Q12で「1.外貨預金」～「13.それ以外の投資商品」のいずれかを回答した18～34歳の人
		2 現在投資者	Q13で「1.外貨預金」～「14.投資はしているが、何を持っているかよくわからない」のいずれかを回答した18～34歳の人
		3 現在非投資者	Q13で「15.投資はしたことがあるが、今はしていない」「16.一度も投資をしたことはない」を回答した18～34歳の人
		4 投資商品非認知者・計(18-34歳)	Q12で「14.この中に知っているものは1つも無い」を回答した18～34歳の人
		1 投資商品認知者・計(15-17歳)	Q12で「1.外貨預金」～「13.それ以外の投資商品」のいずれかを回答した15～17歳の人
		2 投資商品非認知者・計(15-17歳)	Q12で「14.この中に知っているものは1つも無い」を回答した15～17歳の人
	投資関心別 (現在非投資者)* (Q15)	1 関心層	Q15で「1.とても興味がある」「2やや興味がある」の回答者
		2 中間層	Q15で「3.どちらともいえない」の回答者
		3 非関心層	Q15で「4.あまり興味はない」「5.まったく興味はない」の回答者
	金融リテラシー別 (Q16)	1 高リテラシー層	Q16の9問中、正解が7問以上の人
2 中間層		Q16の9問中、正解が3～6問の人	
3 低リテラシー層		Q16の9問中、正解が2問以下の人	
投資意識別 (Q20)	1 積極投資・短期投資意向層	Q20で「3.お金が減るリスクが高くても、短期で大きく増やせる可能性があるなら投資をしたい」「4.貯蓄よりも投資を積極的に行って、大きくお金を増やしたい」の回答者	
	2 長期投資意向層	Q20で「2.お金が減るリスクが一定程度あっても、長期的に貯蓄より増える可能性があるなら投資をしたい」の回答者	
	3 投資拒否層	Q20で「1.お金が少しでも減るのはイヤなので、投資はやりたくない」の回答者	
② Z 世 代 イ ン サ イ ト 別	将来のお金を 考えるタイミング (Q8)	1 ふだんから	Q8で「1.ふだんから考えている」の回答者
		2 自分のライフステージに際して	Q8で「2.学校を卒業するとき」～「8.自分が病気やケガをしたとき」の回答者(上記1を除く)
		3 家族・友人の影響	Q8で「9.家族の仕事やライフスタイルに変化があったとき」～「11.友人や同僚などと結婚や転職について話題になったとき」の回答者(上記1、2を除く)
		4 テレビ・ネットの影響、その他	Q8で「12.テレビやネットで、年金問題などのニュースを見聞きしたとき」～「14.その他」の回答者(上記1～3を除く)
		5 わからない	Q8で「15.わからない・考えたことがない」の回答者
ふだん親とお金の 話をするか (Q11)	1 投資の話をする	Q11 親(実父・実母)で「5.株や投資信託などの投資について(NISA・iDeCo含む)」の回答者	
	2 将来のお金、貯蓄・保険・奨学金などの話をする	Q11 親(実父・実母)で「3.将来必要なお金について(進学、結婚、出産、教育など)」「4.貯蓄について(預貯金、財形など)」「6.保険・共済について」～「9.それ以外のお金の話について」の回答者(上記1を除く)	
	3 おこづかい・生活費の話をする	Q11 親(実父・実母)で「1.お小遣いについて(金額、使い方など)」「2.生活費について(お小遣いを除く)」の回答者(上記1、2を除く)	
	4 お金の話をするのではない	Q11 親(実父・実母)で「10.お金の話をするのではない」の回答者	

*投資関心別の集計対象は15-17歳(未成年)と18歳以上の投資商品認知者のうち現在非投資者

1. 調査計画の概要

分析軸	カテゴリー	備考
③ 追加分析軸	自身の家庭の有無(Q3)	1 配偶者、パートナー・婚約者、自分の子あり 2 上記以外 Q3で「4.夫・妻」～「6.自分の子ども」の回答者 Q3で上記以外の回答者
	タイプ意識(Q6)	1 必要なこと・好きなことには時間を惜しまない 2 できるだけ簡単に手早く済ませたい 3 両方回答あり 4 両方回答なし Q6で「1.必要なこと・好きなことには時間を惜しまない」の回答者(下記2は除く) Q6で「3.できるだけ簡単に手早く済ませたい」の回答者(上記1は除く) Q6で1.と3.のどちらにも回答した人 Q6で1.と3.のどちらにも回答しなかった人
	お金と生活の価値観(Q7)	1 人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい 2 お金が振り回されない程度に平均的な生活を送りたい 3 お金は生活に困らない程度に最低限確保できればよい Q7で「5.人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい」の回答者(下記2、3は除く) Q7で「6.お金が振り回されない程度に平均的な生活を送りたい」の回答者(上記1、下記3は除く) Q7で「7.お金は生活に困らない程度に最低限確保できればよい」の回答者(上記1、2は除く)
	お金に関する短期・長期選好(Q7)	1 先のことよりも、今のためにお金を使いたい 2 将来を考えてお金を着実に準備しておきたい 3 両方回答あり 4 両方回答なし Q7で「13.先のことよりも、今のためにお金を使いたい」の回答者(下記2は除く) Q7で「14.将来を考えてお金を着実に準備しておきたい」の回答者(上記1は除く) Q7で13.と14.のどちらにも回答した人 Q7で13.と14.のどちらにも回答しなかった人
	投資イメージ(Q17)	1 ポジティブなイメージのみ 2 ネガティブなイメージのみ 3 ポジ・ネガ両方あり Q17で「1.お金が大きく増える」～「9.その他のポジティブなイメージ」のいずれかのみを回答した人(下記2のネガティブ項目は除く) Q17で「10.お金が大きく減りそう」～「18.その他のネガティブなイメージ」のいずれかのみを回答した人(上記1のポジティブ項目は除く) Q17でポジティブ項目、ネガティブ項目の両方に回答した人
	個人年収／有職者(Q2)	1 ～300万円未満 2 ～500万円未満 3 500万円以上 Q2で「1.100万円未満」～「2.100万～300万円未満」の回答者 Q2で「3.300万～500万円未満」の回答者 Q2で「4.500万～800万円未満」～「7.1,500万円以上」の回答者
	投信等保有状況(Q13)	1 投資信託・ETF・リートいずれか1つ以上回答あり 2 ポイント投資のみ実施者 3 上記以外の投資商品保有者 Q13で「3.投資信託(ETF、リートは除く)」～「5.不動産投信〔リート〕」の回答者 Q13で「12.ポイント投資(現金の代わりにポイントで株式や投資信託などを購入できるもの)」のみの回答者(他の商品に回答なし) Q13で上記以外の商品の回答者
	学習コンテンツ利用経験(Q23①)	1 YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ利用経験あり 2 YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ利用経験なし Q23(A あなたがこれまでに受けたり、参加したりしたことがあるもの)で「7.YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ」の回答者 Q23で上記以外の回答者
	普段の情報源(Q24①)	1 YouTube利用あり 2 YouTube利用なし Q24(普段の生活上の情報源)で「4.YouTube」の回答者 Q24(普段の生活上の情報源)で上記以外の回答者
	投信等購入意向(Q28)	1 投資信託・ETF・リートいずれか1つ以上回答あり 2 ポイント投資のみ回答あり 3 上記以外の投資商品購入意向者 Q28で「3.投資信託(ETF、リートは除く)」～「5.不動産投信〔リート〕」の回答者 Q28で「12.ポイント投資(現金の代わりにポイントで株式や投資信託などを購入できるもの)」のみの回答者(他の商品に回答なし) Q28で上記以外の商品の回答者

2. 調査結果の要約と考察



2. 調査結果の要約と考察

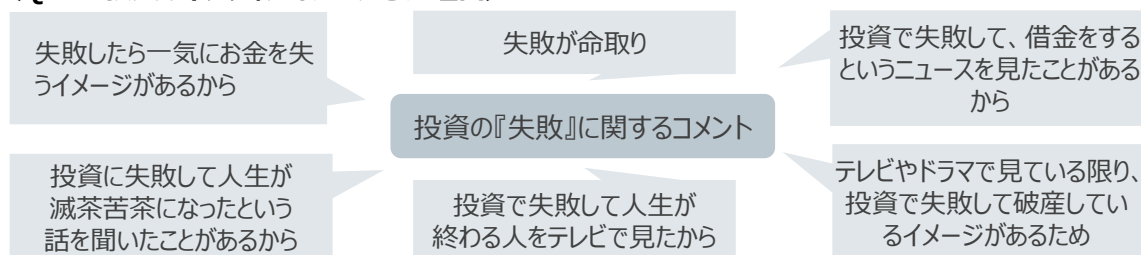
(1) Z世代の生活・人生等の価値観・行動の特徴

本調査では、Z世代を15～34歳と定め、さらに15～24歳を「コアZ世代」、1990年代生まれを中心とする25～34歳を「初期Z世代」に区分して、価値観や意識・行動の傾向を分析した。

- Z世代の価値観には、『失敗』が心理的なハードルとして大きく存在している様子。投資における『失敗』をキーワードとした自由回答の中には、『命取り／人生が終わる』『借金／破産』等、強いネガティブイメージと結びついたものも見受けられる。お金の振り回されたくない人には、先行きへの強い不安とストレス回避性向がみられる。
- 一方で、『自己判断・行動』意欲も高く、特にコアZ世代で高い。
- また、Z世代の特徴の一つともいわれる『タイパ（タイムパフォーマンス）』意識は、『簡単に手早く』という短二重とともに、『必要・好きなものには時間を惜しまない』という側面も持ち合わせている。
- 趣味・関心ごとは、漫画・アニメ、動画鑑賞等インドアのものが上位だが、投資関心層（現在非投資者）や金融リテラシーが高い層、投資信託・ETF・リート保有者では、読書や屋外レジャー含めて趣味・関心の範囲が広い。

	Z世代全体の傾向	投資状況・金融リテラシー等による傾向
Z世代の生活・人生等の価値観・行動の特徴 〔Q4～Q6〕	<ul style="list-style-type: none"> ◇『失敗』に対する心理的ハードルが特に高い。(p25) ◇『自己判断・行動』意欲も高く、これと『必要・好きなものには時間を惜しまない』はコアZ世代でより高い。(p25) ◇『タイパ』意識においては、『簡単に手早く』といった二重の高さと同時に、『必要・好きなものには時間を惜しまない』も高い。(p25) ◇「SNSの情報は信用できるものかを見分けるようにしている」(26.0%)は全体の1/4ほど存在。(p25) 	<p>現在非投資者</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇現在投資者に比べて、『失敗』への心理的ハードルは特に高く、『先行きへの強い不安感』の比率も高い。その一方で、『必要・好きなものには時間を惜しまない』比率も高い。(p25-26) <p>投資関心層（現在非投資者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇『自己判断・行動』意欲は中間層、非関心層に比べて高い。(p25-26) ◇お金の振り回されない程度に平均的な生活を送りたい人は、『先行きへの強い不安感』『ストレスは回避する方がよい』の比率が高い。人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい人は『変化に富んだ生活への欲求』や『自信がある』比率が高い傾向。(p25-26)
	<ul style="list-style-type: none"> ◇趣味・関心ごとは、「漫画・アニメ」「動画鑑賞」「ゲーム」「音楽鑑賞」が上位。(p20) ◇SNS動画の許容視聴時間は「興味のある動画なら何分でも」見る人が全体の1/4超。平均許容時間は9.0分。タイパ意識で『簡単に手早く』を指向する人では7.8分と短い。(p22-23) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇投資関心層（現在非投資者）、金融リテラシーが高い層ほど、趣味・関心範囲が広い。(p20-21) ◇投資信託・ETF・リート保有者は「動画鑑賞」「読書」といったインドアから、「国内旅行」「外食」「温浴施設」「車・バイク」「レジャー」など外出を伴うレジャーまでと趣味・関心範囲が広い。(p20-21)

自由回答例【Q18：投資のネガティブイメージ想起理由】



2. 調査結果の要約と考察

(2) Z世代のお金に関する価値観の特徴

- Z世代のお金に関する価値観をみると、『ポイ活』を好む人、コスパ（コストパフォーマンス）重視の人は全体の半数前後を占める。加えて、『将来に向けたお金の準備』『お金に振り回されない程度の平均的な生活』を望むといった現実的・堅実な面もみられ、特に女性に顕著な傾向。
- 15-24歳のコアZ世代では、お金を多く稼ぎたい意欲、納得性を重視した消費といった点で積極性がみられる一方で、男性15-17歳、女性22歳以上では『老後のお金への不安』もある様子。
- 将来に必要なお金は、高校生の4割強がふだんから考えていると回答。また、女性は男性に比べて全体的に回答割合が高く、様々なタイミングで将来のマネープランを考えている様子だが、特にライフステージの変化がきっかけの様様。お金がかかりそうなライフイベントの上位は「出産・育児」「結婚」「住宅の購入」で、多くは貯蓄からの拠出を想定しているが、「株や投資信託などでの運用」も各回答者の2割程度みられる。
- 女性はお金に対し堅実で、将来のお金のことも考えている様子が見受けられるが、金融リテラシーが低い。

	Z世代全体の傾向	投資状況・金融リテラシー等による傾向
Z世代のお金に関する価値観 〔07〕Q10・Q16・Q21・Q22	<ul style="list-style-type: none"> ◇お金のまわりの意識・行動については、「ポイント集め・増やすこと」（『ポイ活』）を好む人、「コスパがよいものを選ぶ」という『コスパ』重視の人が全体の半数前後で上位。これらは男性より女性の方が高い。（p27） ◇「将来を考えてお金を着実に準備しておきたい」「お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい」が3割台。これらも男性より女性の方が高い。（p27） ◇コアZ世代は、初期Z世代より「人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい」も高く、15-17歳では「多少値段が高くても自分が納得するものを買いたい」といったこだわりの伴う消費意欲も高い。（p27） ◇同時に、男性15-17歳や女性22歳以上では『老後に必要なお金への不安感』もみられる。（p27） ◇金融の基本知識の正解数は、コアZ世代、女性等で低い。（p58） ◇値上がり実感者は全体の7割強に達するが、その対策は「節約」が中心で「資産運用」は低い。（p68,70） 	<ul style="list-style-type: none"> ◇金融リテラシーが高いほど、『ポイ活』『節約』が好き、『コスパ』重視の傾向。（p27-28） ◇人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい人は、「多少値段が高くても自分が納得するものを買いたい」が高く、お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい人はコスパ重視で、老後のお金を心配している傾向。（p27-28） ◇金融の基本知識は、年収が高くなるほど正答率が高くなる。（P59-60）
	<ul style="list-style-type: none"> ◇将来に必要なお金のことは、高校生の4割強が「ふだんから考えている」で、関心が高い模様。（p29-30） ◇女性は年齢が上がるほど、自分や家族の転機である『結婚・出産を考えると』『家族の仕事・ライフスタイルの変化時』の比率が高まる。（p29） ◇お金がかかりそうなライフイベントの上位は「出産・育児」「結婚」「住宅の購入」。その資金の準備方法は「貯蓄」が各回答者の6～7割。「株や投資信託などでの運用」も2割程度みられる。「出産・育児」「結婚」では家庭のある人で「株や投資信託などでの運用」も高いが、男性の方が女性より2倍程度高い。（p31-37） 	<p>18歳以上の投資商品非認知者</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇自分の将来に必要なお金について「わからない・考えたことがない」が4割半ば、15-17歳の投資商品非認知者（約3割）よりも高く、将来に向けたお金についての関心が低い。（p29-30） <p>投資関心層（現在非投資者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「結婚」「住宅の購入」資金は、「株や投資信託などでの運用」の比率が高く、一時的に一定のお金が必要となるライフイベントの資金準備方法の1つとして捉えられていると考えられる。（p36-39）

2. 調査結果の要約と考察

(3) Z世代の投資に関する考え方・行動の特徴

①投資イメージ、対話状況、リスク許容度等

- 非投資層の4割強が投資に興味を持っているが、Z世代全体では「投資」へのネガティブイメージが強い。特に投資非関心層・拒否層等では投機的イメージが高く、信用・信頼性が低い。一方、現在投資者は『コツコツと積み上げて増やす』が1位と、関心度合によるイメージ差が顕著。『若いうちから始めるのがよい』『子どもの頃から勉強すべき』も全体の2割ほどあり、金融リテラシーの高い層や長期投資意向層等で比率が高い。
- 平均的な生活を送りたい人では、多少リスクをとっても長期投資を選ぶ人が半数超。一方、人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい人は投資に積極的な人の比率が他層より高い。

	Z世代全体の傾向	投資状況・金融リテラシー等による傾向
①投資イメージ、対話状況、リスク許容度等（Q11・Q15～Q17・Q19・Q20） Z世代の投資に関する考え方・行動の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ◇非投資層（15-17歳の未成年と18歳以上の投資商品認知者のうち現在非投資者 1287s。現在投資者と投資商品認知者は含まない。）では44.1%が投資に興味があると回答。一方、39.9%は興味はないと回答。(p56) ◇投資のイメージは、「難しい・勉強や知識が必要」「ギャンブル・賭け事のように感じる」が3割台で上位。総じてネガティブイメージが強く、女性の方がより強い傾向。(p61) ◇コアZ世代では、『賢い感じ』と『ギャンブル・賭け事』のイメージが初期Z世代より高い。(p61) 	<p>現在投資者</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「コツコツと積み上げてお金を増やす」（46.2%）がイメージの1位。(p61-62) <p>投資非関心層（現在非投資者）、投資拒否層</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「ギャンブル・賭け事のように感じる」「お金が大きく減りそう」といった投機的イメージに加え、「信用できない・だまされそう」が高く、投資に対する信頼性に影響するネガティブイメージが強い様子。(p61-62) ◇お金の振り回されない程度に平均的な生活を送りたい人はネガティブなイメージ計が8割強で、難しい、ギャンブルイメージが4割以上。人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい人は、ネガティブ項目は若干低め。(p61-62)
	<ul style="list-style-type: none"> ◇「投資はできるだけ若いうちから始めるのがよい」「投資の勉強は子どもの時からしておくべきだ」が2割以上で高い一方、「投資関連の情報は信頼できないものが多い」も2割程度にのぼり、信頼性の点で懸念がみられる。(p64) ◇「お金が減るリスクが一定程度あっても、長期的に貯蓄より増える可能性があるなら投資をしたい」が4割強で最も高いが、「お金が少しでも減るのはイヤなので、投資はやりたくない」も3割強みられる。(p66) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「投資はできるだけ若いうちから始めるのがよい」「投資の勉強は子どもの時からしておくべきだ」は、投資関心層（現在非投資者）、金融リテラシーの高い層、長期投資意向層、ふだん親と投資の話をする人で高い。(p64-65) ◇将来を考えてお金を着実に準備しておきたい人では「投資はできるだけ若いうちから始めるのがよい」が1位。(p64-65) <p>投資関心層（現在非投資者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「お金が減るリスクが一定程度あっても、長期的に貯蓄より増える可能性があるなら投資をしたい」は、7割近くと特に高い。(p66-67) ◇お金の振り回されない程度に平均的な生活を送りたい人では「お金が減るリスクが一定程度あっても、長期的に貯蓄より増える可能性があるなら投資をしたい」が半数を超える。一方、人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい人は「貯蓄よりも投資を積極的に行って、大きくお金を増やしたい」が他層より高い。(p66-67)
	<ul style="list-style-type: none"> ◇投資の話をする相手としては、夫・妻が3割強、パートナー・婚約者が2割強、親が約1割。(p40) ◇親と投資の話をする人では、金融の基本知識の正解率が高い。(p59-60) 	

2. 調査結果の要約と考察

(3) Z世代の投資に関する考え方・行動の特徴

②投資商品認知・実施状況等

- 「投資信託(ETF、Jリート除く)」はZ世代の32.0%が認知しているが、株式(53.0%)、FX(34.1%)を下回る。投資非関心層(現在非投資者)、投資拒否層、投資にネガティブイメージのみ持っている人では、投資信託の認知率が低い。
- 月額貯蓄額は平均22,393円、うち投資可能月額は平均9,668円。ただし、いずれも「0円」が多い。
- 平均的な生活を送りたい人の投資商品選択基準は、手数料とパフォーマンスだが、人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい人ではよりパフォーマンスが重視される傾向。

	Z世代全体の傾向	投資状況・金融リテラシー等による傾向
②投資商品認知・実施状況等 Z世代の投資に関する考え方・行動の特徴 (Q12・Q14・Q27・Q29)	<p>◇投資商品の認知率は、「株式」(53.0%)、「FX」(34.1%)、「投資信託(ETF、Jリートは除く)」(32.0%)が上位。比較的新しい投資対象の「暗号資産/仮想通貨」(28.3%)、「クラウドファンディング」(28.2%)、「ポイント投資」(28.1%)が3割弱で続く。「投資信託」「ポイント投資」「外貨預金」は初期Z世代の方が10ポイント以上上回る。(p48)</p> <p>◇投資商品認知者のうち、「現在投資者」は48.9%。『現在非投資者』は51.0%(投資経験者4.4%+投資未経験者46.6%)。(p50)</p> <p>◇現在投資者の投資商品は「株式」(45.2%)、「投資信託(ETF、Jリートは除く)」(43.0%)が上位だが、「ポイント投資」28.9%)が3位に。(p52)</p> <p>◇投資を始めたきっかけの1位は「インターネットで見たり調べたりして」で4割弱。「資産形成の重要性を知って」「家族に勧められて」「ポイントで投資/運用ができることを知って」「YouTube等の動画配信を観て」等が2割弱で上位。(p54)</p> <p>◇現在投資者の投資商品の選択基準は、「パフォーマンスの良さ」「手数料」「投資対象地域・資産」が上位。(p98)</p> <p>◇月額貯蓄額は平均22,393円。「0円」が3割強と最多。そのうち投資可能額は平均9,668円だが、「0円」が6割半ばを占める。(p91)</p>	<p>現在投資者 ◇「投資信託」「ETF」の認知率が高い。(p48-49)</p> <p>投資非関心層(現在非投資者) ◇「投資信託」の商品認知率が低い。(p48-49)</p> <p>◇投資拒否層、投資イメージで『ネガティブなイメージのみ』回答者では「投資信託」に加え、「ETF」「不動産投資信託(Jリート)」の商品認知率が低い。(p48-49)</p> <p>◇お金の振り回されない程度に平均的な生活を送りたい人、人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい人の投資信託認知率は4割強、投資信託の投資実施率は4割強とほぼ同様。(p48-53)</p> <p>◇金融リテラシーが高い層は中でも「投資信託」の投資実施率が高い。「ポイント投資」はリテラシーによる差は小さい。(p52-53)</p> <p>◇ポイント投資のみ実施者のきっかけは「インターネットで見たり調べたりして」「ポイントで投資/運用ができることを知って」以外は低い。(p54-55)</p> <p>◇高リテラシー層が始めたきっかけは「インターネット」「資産形成の重要性を知って」「YouTube等の動画配信」「少額投資非課税制度(NISA)のメリットを知って」が上位。他の層は『人からの勧め』が高い傾向。(p54-55)</p> <p>◇お金の振り回されない程度に平均的な生活を送りたい人の商品選択基準は「手数料」「パフォーマンス」が上位。人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい人はパフォーマンス重視。(p98-99)</p> <p>投資関心層(現在非投資者) ◇月額貯蓄額「0円」の割合は低いが、投資可能額は「0円」が8割以上。(p92-95)</p>

2. 調査結果の要約と考察

(3) Z世代の投資に関する考え方・行動の特徴

③投資教育状況、投資意向・ハードル等

- 投資教育経験率は全体の3割弱で、『学校』と『YouTube等のコンテンツ』が上位。投資にネガティブイメージのみ持つ人では教育経験率が低い。
- ふだんの情報源はテレビ・YouTube・X（旧Twitter）。信頼できる投資の情報源はテレビ・YouTube・ポータルサイトで、投資関心層（現在非投資者）ではテレビに次いで政府・団体の公式ホームページも高い。
- 投資を始めるハードルは、資金不足を除くと『理解への自信のなさ』『情報の少なさ』が上位で、投資の『幅広い基本情報』が必要とされている。女性ではシミュレーションを求める声も高い。また、平均的な生活を送りたい人では、基本情報、シミュレーション、投資の始め方、人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい人ではこれらに加えて100円からの少額投資やゲームによる投資体験のニーズも高い。

	Z世代全体の傾向	投資状況・金融リテラシー等による傾向
③ 投資教育状況、投資意向・ハードル等 Z世代の投資に関する考え方・行動の特徴 〔Q23～Q26・Q28〕	◇投資教育経験者は28.7%にとどまる。「学校での授業」「YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ」が主要な教育チャネル。今後の意向ではこれらに加え、金融機関や勤務先でのセミナー等も1割程度ある。(p73)	◇投資イメージで『ポジティブなイメージのみ』回答者は、「金融機関の会場参加型(リアル)セミナー」の受講経験率がやや高く、『ネガティブなイメージのみ』回答した人は全般的に教育経験率が低い。(p74-75)
	◇「学校での授業」よりも「YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ」の方が、投資を始めたい気持ちになる割合が高い。(p73)	◇今後の教育意向について、お金の振り回されない程度に平均的な生活を送りたい人ではYouTube等のSNSコンテンツが中心。人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい人はこれに加えてセミナー等の意向もある。(p78-79)
	◇普段の主要情報源は「テレビ」「YouTube」「X(旧Twitter)」(各4割以上)、信頼できる投資の情報源の上位は「テレビ」「YouTube」「Webのポータルサイト」だがいずれも2割未満。カテゴリー別では『SNS』『既存メディア』『ポータルサイト・公式HP』が上位。(p80)	投資関心層(現在非投資者) ◇普段の情報源は「テレビ」「YouTube」「Instagram」のほか、「新聞・雑誌」「企業の公式ホームページ」「政府・団体の公式ホームページ」も高め。信頼できる投資の情報源では「政府・団体の公式ホームページ」がテレビに次いで2位。(p81-84)
◇投資を始めるハードルは『お金がない』『理解できていない』『自信がない』『情報が少ない』で、女性の方が高く、年齢による差も男性より小さい。(p86)	投資関心層(現在非投資者) ◇『理解できていない』『自信がない』『情報が少ない』の他、『相談できる人がいない』も高い。(p86-87)	
◇(18歳以上 現在非投資者のみ) 投資を始めるにあたり『幅広い基本情報』が必要事項の1位。シミュレーションやプラン、会社・商品の選び方、100円からの低額投資等も上位。シミュレーションは女性で高い。(p88)	◇投資イメージで『ネガティブなイメージのみ』回答者は「投資にあてるお金がない(余裕がない)」「お金が減ることがこわい」が特に高い。(p86-87)	
◇投資信託の購入意向率は17.0%。株式に次いで2位。家庭を持つ人の購入意向が高い。(p96-97)	◇お金の振り回されない程度に平均的な生活を送りたい人では、投資を始めるにあたり、基本情報、シミュレーション、投資の始め方(証券会社・商品の選び方)がわかるものへのニーズが高い。一方、人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい人はこれらに加えて100円からの少額投資やゲームによる投資体験も高い。(p88-89)	

2. 調査結果の要約と考察

(4) Z世代の投資意識向上に向けた対応策

(1)～(3)でみたZ世代の価値観・行動等の特徴を踏まえ、Z世代への投資信託等の認知・浸透に向けて、有効と考えられる対応策についてまとめた。

	Z世代での特徴	対応策の具体例等
Z世代の投資意識向上に向けた対応策	<p>◆「失敗」「信用できない」イメージの払拭 人生上の『失敗』はできるだけ避けたいという心理は、投資非関心層や投資拒否層での投機イメージ、お金が大きく減りそうといったネガティブイメージ等の背景にもある価値観と推察される。また、これらの層では投資への信頼性も低く、ネガティブイメージの払拭が必要。一方で、投資信託・ETF・リートの認知度が低い特徴もみられることから、投機的な商品によるイメージが先行している可能性も考えられる。(p25-26、48-49、61-62)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・投資≠投機であることの訴求 ・長期・積立・分散投資等のリスク分散に適したツールとしての投資信託等の認知度向上 ・投資信託等は運用を専門家に任せられることから、「お金の管理」に振り回されにくい点や、難しくない点の訴求 ・投資の運用益だけではなく、将来に備えて行動することで得られる「精神的なゆとり」(「Chill:チル」に近い、お金の振り回されず、行動したことによって余裕を持てる心理状況)のアピール 等
	<p>◆自己判断・行動力と安心感の醸成 失敗への恐怖感、先行き不安感等もあってか、コアZ世代を中心に『自己判断・行動力』をつけたいとの意欲が強く、「お金の振り回されない程度に平均的な生活を送りたい」といった安定志向がみられる。この人たちは、ストレス回避性向もみられるため、お金の面でも先行き不安とともにストレスの少ない環境が必要。(p25-27)</p>	
	<p>◆ライフイベント時期にある女性への訴求 夫婦で投資の話は一定程度されており、家庭を持つ人では「出産・育児」「結婚」の資金を「株式・投資信託などによる運用」という人もいるが、女性は男性より比率が低い。また、投資実施率、商品認知率や基本知識等のリテラシーも女性の方が低く、投資へのネガティブイメージは高い。一方で、『ポイ活』『コスパのよいものを選択』する割合は女性の方が高く、投資を始める条件として『シミュレーション』ニーズも高い。(p27、34-37、48、50、58-59、61、88)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女性のライフイベントと関連付けた投資情報、シミュレーションの提供 ・ポイント投資等を入口とした投資体験 ・パートナーとともに学べる投資コンテンツの提供 等
	<p>◆子ども時代からの投資教育の必要性 投資については早いうちから触れさせるべきとの意見が2割以上みられるが、現状の投資教育経験率は3割弱にとどまる。また、親と投資の話をする人では金融リテラシーが高い。2022年には高校で金融教育が拡充されたが、学校・家庭等問わずさらなる教育機会の拡大が必要。(p59-60、64、73)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のみならず家庭でも使える親子で投資を学ぶツールの提供 等
	<p>◆SNS動画の有効活用 投資教育や情報源では、YouTube等のSNS動画の利用率・意向率が高く、重要なツールの一つ。ただし、『タイパ』意識の高い層では視聴許容時間が短い点、1分以内の動画を好む層が1割程度いる点等を踏まえる必要がある。また、信頼できる投資に関する情報源には、既存メディアやHP等も選ばれている点や、SNSの情報の信用性を見分けている人も一定割合いることから、『信用・信頼』視点も不可欠である。(p22-23、25、74、78、83)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ショート動画等の活用 ・ライトな訴求はSNS、詳細な解説はHP等のように使い分けした上で、それらをつなげる導線の整備 ・信頼できる組織（政府・団体等）からの発信 等
	<p>◆ポイント投資の留意点 ポイント投資のみ実施者の投資を始めたきっかけは、インターネットの情報やポイント投資／運用ができることを知ったことで、資産形成の重要性や制度のメリット等には反応が薄い。ポイント投資は投資の入口としては機能しているとみられるが、本格的な投資への後押しが必要。(p54-55)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お金を使った投資との違い、メリット等の情報提供 ・投資信託の低額購入等、ハードルの低い投資の訴求 等

3. 回答者のプロフィール

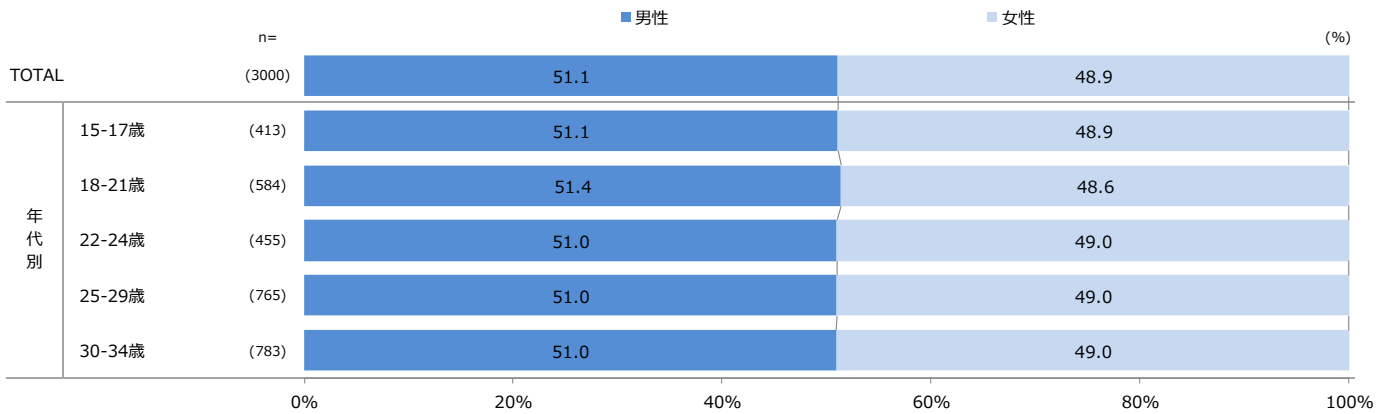


3. 回答者のプロフィール

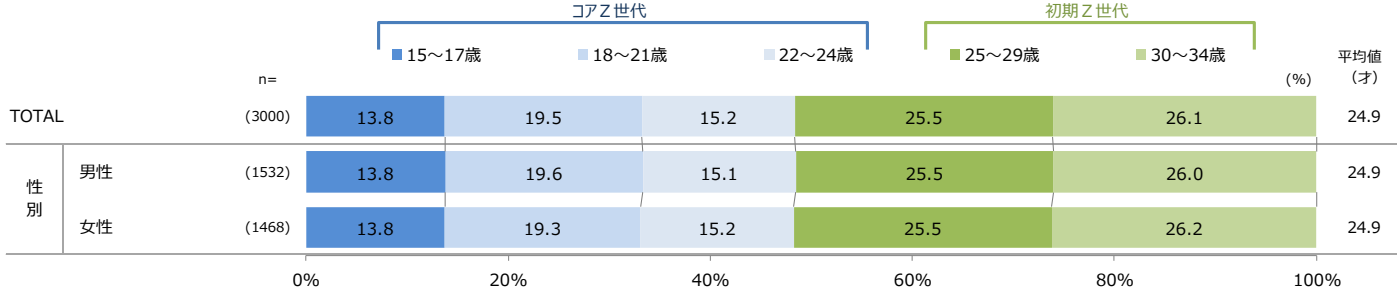
(1) 性別・年齢〔F1:単数回答・F2:数値回答〕

- 回答者の性別は「男性」が51.1%、「女性」が48.9%。年齢区分での男女差はほとんどない。〔図3-1〕
- 年齢構成は、「コアZ世代(15-24歳計)」「初期Z世代(25-34歳計)」がそれぞれ半数。性別での年齢構成の差はなく、平均年齢は全体、男性、女性ともに24.9歳。〔図3-2〕

〔図 3-1〕



〔図 3-2〕

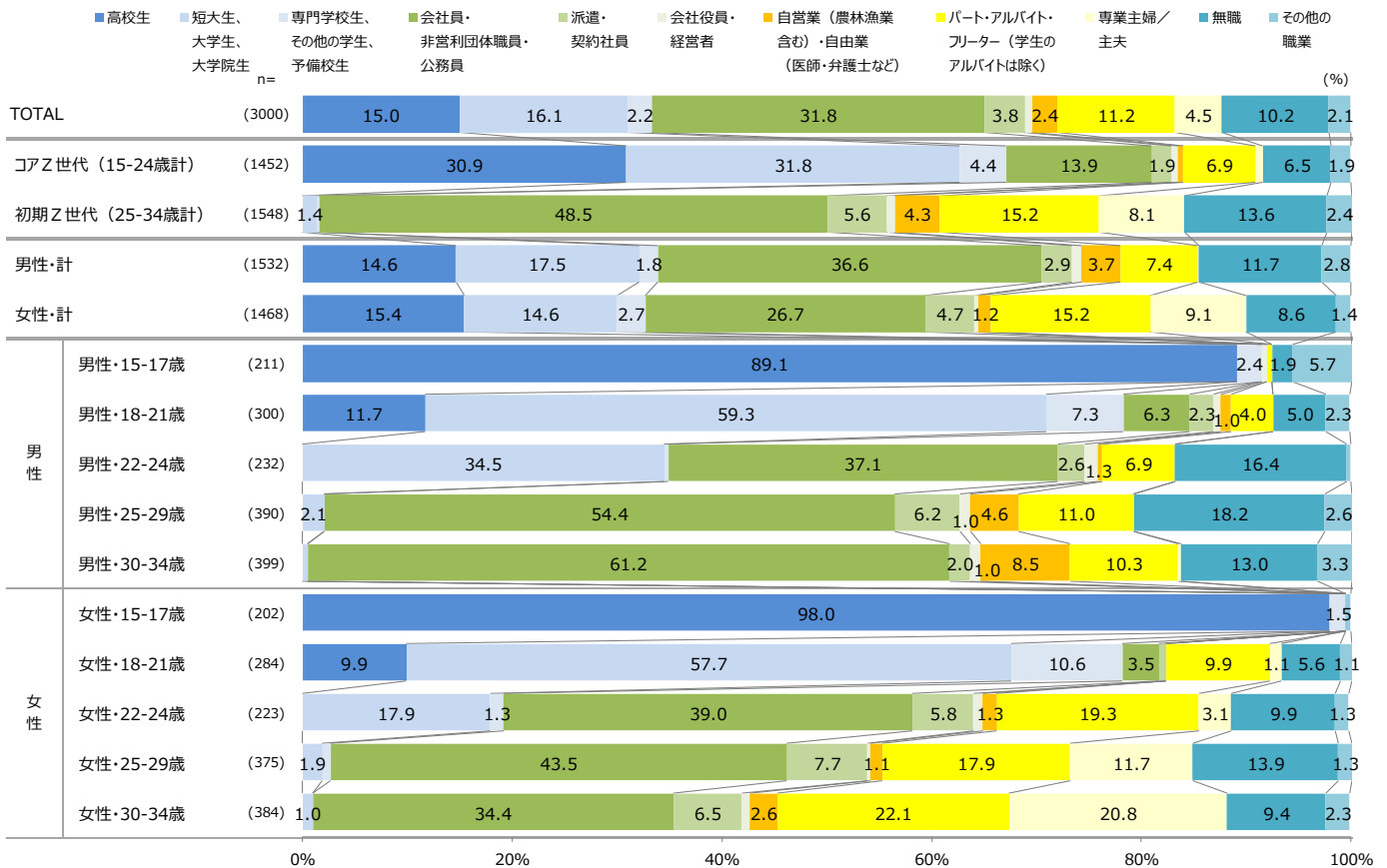


3. 回答者のプロフィール

(2) 職業〔Q1:単数回答〕

- 回答者の職業は、全体としては「会社員・非営利団体職員・公務員」(31.8%)が最も高い。〔図3-3〕
- 年齢区分で大きく傾向が異なり、男女ともに15-17歳は「高校生」が、18-21歳は「短大生、大学生、大学院生」が多くを占める。22-24歳は、男性で「会社員・非営利団体職員・公務員」「短大生、大学生、大学院生」が30%台だが、女性は「会社員・非営利団体職員・公務員」(39.0%)が最も高い。25-29歳と30-34歳では男性は半数以上が「会社員・非営利団体職員・公務員」だが、女性は30~40%台にとどまり、「パート・アルバイト・フリーター」「専業主婦」の比率が増加する。〔図3-3〕

〔図 3-3〕



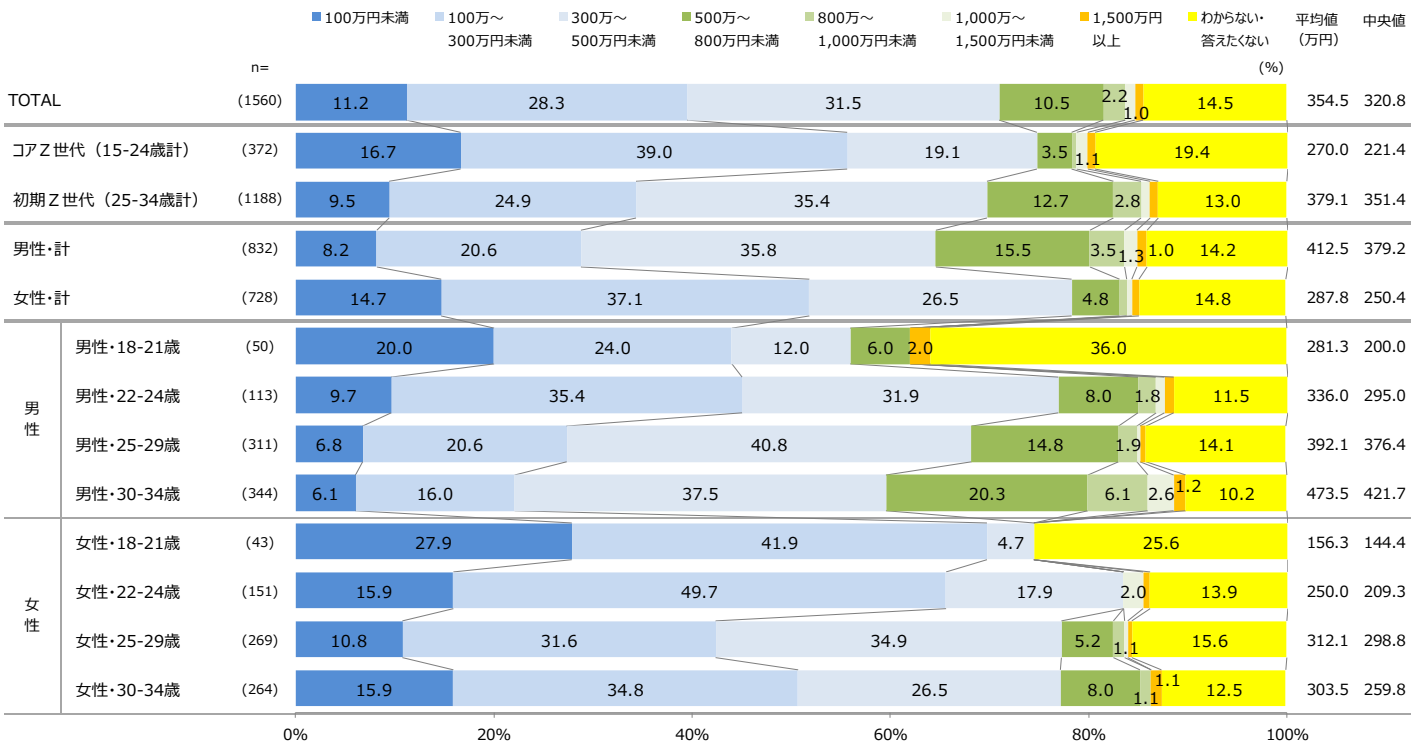
※1%未満は非表示

3. 回答者のプロフィール

(3) 個人年収〔Q2:単数回答〕（有職者）

- 回答者の個人年収の平均値は354.5万円。中央値は320.8万円。〔図3-4〕
- 性別では、男性が412.5万円、女性が287.8万円と男性の方が124.7万円上回る。性×年齢別では、男性は年齢が上がるにつれ、平均値が増加し、30-34歳では473.5万円となる。一方、女性の平均値は25-29歳が312.1万円で最も高くなり、30-34歳では303.5万円と8.6万円減少。また、男性では18-21歳とピークにあたる30-34歳にかけては192.2万円増加するが、女性では18-21歳とピークの25-29歳では155.8万円の差がある。〔図3-4〕

〔図 3-4〕



※性×年齢別は、有職者が一定数いる18歳以上のみ掲載（他の集計区分には15-17歳も含む）

※1%未満は非表示

※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り
 100万円未満：50万円 / 100～300万円未満：200万円 / 300～500万円未満：400万円 / 500～800万円未満：650万円
 800万円～1000万円未満：900万円 / 1000～1500万円未満：1250万円 / 1500万円以上：1750万円

※ 中央値は上記のウエイト値を使用して、以下の計算式で算出

中央値 = $A + B \times \{ (n/2 - \Sigma x) / C \}$

A = 回答サンプルの50%にあたる人が属する選択肢の下限値（例：「300～500万円未満」は300万）

B = 回答サンプルの50%にあたる人が属する選択肢の数値幅（例：「300～500万円未満」は200万）

n = 全体のサンプル数（分析軸の場合は、その区分のn数）

Σx = 回答サンプルの50%にあたる人が属する選択肢の直前までの選択肢の回答サンプル数の和

C = 回答サンプルの50%にあたる人が属する選択肢のサンプル数

3. 回答者のプロフィール

(4) 家族構成〔Q3:複数回答〕

- 回答者の家族構成は、「親」(84.1%)、「兄弟・姉妹」(56.6%)、「祖父母」(24.1%)が中心。〔図3-5〕
- 自分自身が家庭を持つ人(配偶者、パートナー・婚約者、自分の子のいずれかあり)は回答者全体の21.8%。初期Z世代での比率が高い。〔図3-5〕

〔図 3-5〕

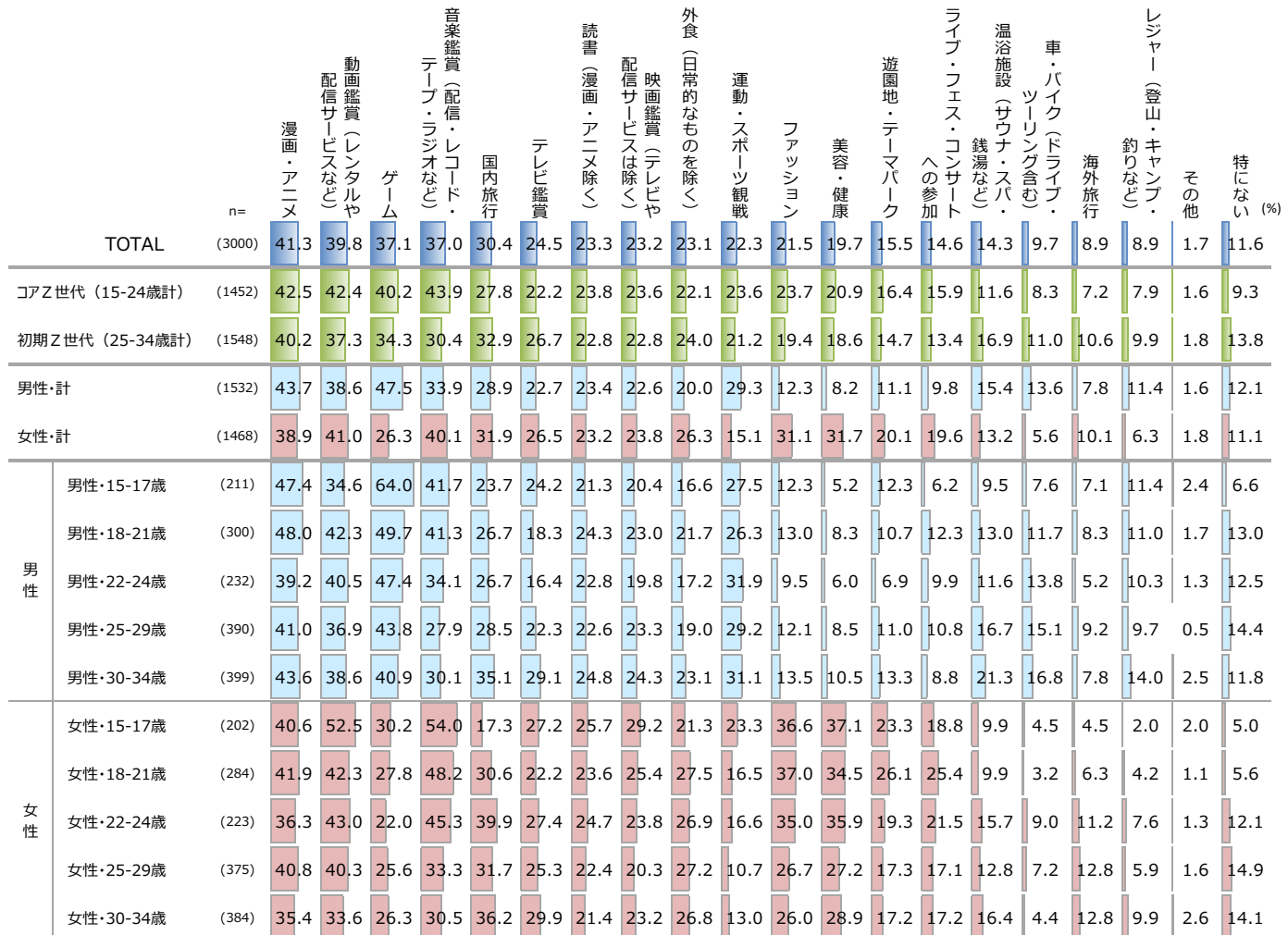


3. 回答者のプロフィール

(5) 趣味・関心ごと〔Q4:複数回答〕

- 回答者の趣味・関心ごとについては、「漫画・アニメ」(41.3%)が最も高く、「動画鑑賞」(39.8%)、「ゲーム」(37.1%)、「音楽鑑賞」(37.0%)が上位となっている。〔図3-6〕
- 世代別では、「音楽鑑賞」はコアZ世代が、初期Z世代を13.5ポイント上回る。「ゲーム」は5.9ポイント、「動画鑑賞」は5.1ポイント、コアZ世代の方が上回る。〔図3-6〕
- 投資経験別では、現在投資者は、現在非投資者に比べて、「国内旅行」「運動・スポーツ観戦」「温泉施設」「海外旅行」「レジャー」等の外出を伴う趣味の比率が高い。投資関心別（現在非投資者）では関心層、金融リテラシー別ではリテラシーが高い層ほど、多くの項目で20%以上となっており、趣味・関心範囲の広さがうかがえる。一方、非関心層（現在非投資者）や金融リテラシーの低い層では、「漫画・アニメ」「動画鑑賞」「ゲーム」「音楽鑑賞」等の上位項目に比較的回答が集まっており、それ以外では全体に比べて比率が低い傾向。〔図3-7〕
- 投信等保有状況別では、投資信託・ETF・リート保有者で「動画鑑賞」「読書」のほか、「国内旅行」「外食」「温泉施設」「車・バイク」「レジャー」等が他層に比べて高い。〔図3-7〕

〔図 3-6〕



3. 回答者のプロフィール

(5) 趣味・関心ごと〔Q4:複数回答〕

〔図 3-7〕

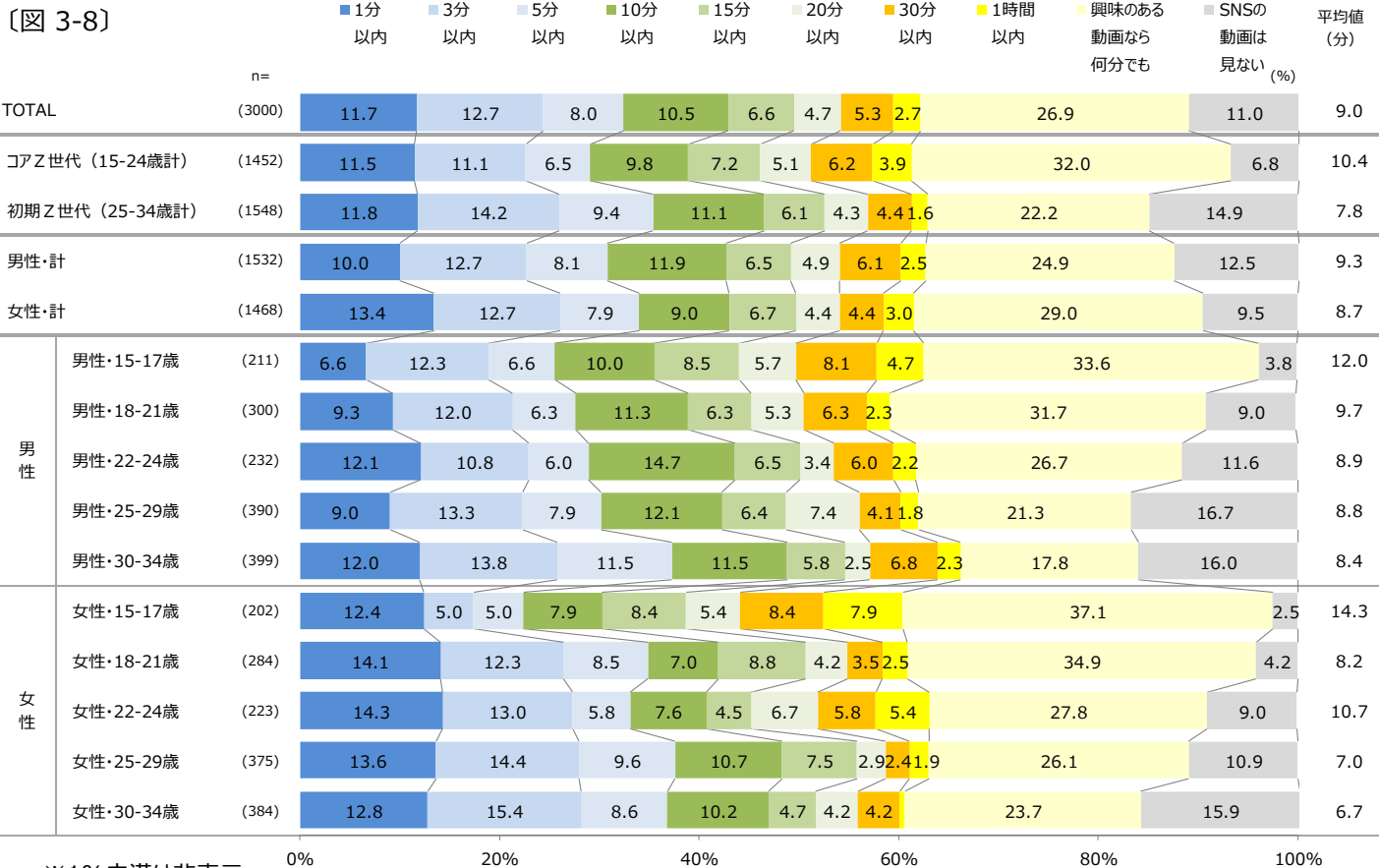
		n=	漫画・アニメ	動画鑑賞(レンタルや配信サービスなど)	ゲーム	音楽鑑賞(配信・レコード・テープ・ラジオなど)	国内旅行	テレビ鑑賞	読書(漫画・アニメ除く)	映画鑑賞(テレビや配信サービスは除く)	外食(日常的なものを除く)	運動・スポーツ観戦	ファッション	美容・健康	遊園地・テーマパークへの参加	ライブ・フェス・コンサート	銭湯など	温浴施設(サウナ・スパ・ツリーング含む)	車・バイク(ドライブ・ツーリング含む)	海外旅行	レジャー(登山・キャンプ・釣りなど)	その他	特にない (%)
TOTAL		(3000)	41.3	39.8	37.1	37.0	30.4	24.5	23.3	23.2	23.1	22.3	21.5	19.7	15.5	14.6	14.3	9.7	8.9	8.9	1.7	11.6	
投資経歴別	投資商品認知者・計(18-34歳)	(1712)	47.3	46.3	41.3	41.7	38.0	28.2	29.4	27.2	28.7	26.6	24.1	22.1	18.1	17.3	19.0	12.7	12.3	12.2	1.9	3.7	
	現在投資者	(838)	45.8	45.0	38.7	36.6	45.6	29.4	29.5	31.0	32.3	30.7	25.3	23.3	20.8	19.2	25.8	17.9	17.2	17.5	1.1	3.8	
	現在非投資者	(874)	48.6	47.6	43.8	46.6	30.8	27.1	29.4	23.6	25.3	22.8	22.9	21.1	15.6	15.4	12.6	7.8	7.6	7.1	2.6	3.5	
	投資商品非認知者・計(18-34歳)	(875)	28.5	25.4	24.1	22.6	20.1	16.8	11.1	14.5	13.9	12.5	15.2	14.4	9.4	10.4	7.3	5.5	3.9	3.5	1.1	29.8	
	投資商品認知者・計(15-17歳)	(268)	47.8	48.9	54.5	51.9	25.0	29.5	28.4	25.4	21.6	26.1	24.6	18.3	18.3	12.3	10.4	7.1	7.1	9.7	2.2	2.2	
	投資商品非認知者・計(15-17歳)	(145)	37.2	33.1	34.5	40.0	12.4	18.6	14.5	23.4	13.8	24.1	23.4	25.5	16.6	12.4	8.3	4.1	3.4	1.4	2.1	12.4	
(現在非投資者)	関心層	(568)	51.8	50.5	49.3	52.6	35.6	28.2	33.1	29.6	27.8	29.2	27.5	25.7	18.3	17.6	14.1	9.9	10.2	9.5	3.5	2.3	
	中間層	(206)	43.7	45.6	39.3	39.8	24.3	24.8	21.8	20.4	23.8	22.3	14.6	14.1	13.6	11.7	12.1	6.8	5.8	5.8	1.0	6.3	
	非関心層	(513)	43.5	41.7	42.5	43.5	19.9	25.7	23.6	19.1	17.9	17.9	22.2	18.5	15.0	12.1	8.8	4.5	3.9	4.7	1.9	5.7	
金融リテラシー別	高リテラシー層	(538)	47.4	47.2	43.1	41.8	44.6	26.2	33.3	27.7	28.1	30.1	20.3	17.3	17.8	14.3	21.4	13.4	13.0	14.9	2.6	4.3	
	中間層	(1129)	47.8	46.1	44.3	42.2	32.6	27.9	27.5	26.8	27.6	25.5	24.2	22.9	17.7	17.7	17.0	12.3	11.2	10.4	1.8	4.6	
	低リテラシー層	(1333)	33.4	31.5	28.7	30.5	22.8	21.0	15.7	18.2	17.2	16.5	19.7	17.9	12.7	12.1	9.2	6.0	5.4	5.3	1.3	20.5	
投資意識別	積極投資・短期投資意向層	(753)	30.0	29.1	28.7	27.0	28.2	17.9	17.9	19.7	20.8	19.8	18.3	17.9	12.5	11.8	13.9	10.4	8.2	10.6	1.6	22.8	
	長期投資意向層	(1312)	47.0	45.6	40.6	39.9	36.7	26.7	27.3	26.8	26.8	27.1	23.1	22.1	17.8	15.9	17.1	11.4	12.4	11.0	1.7	5.4	
	投資拒否層	(935)	42.6	40.3	39.0	41.0	23.3	26.8	21.9	20.9	19.6	17.6	21.8	17.8	14.7	15.0	10.8	6.7	4.6	4.7	1.8	11.2	
投信等保有状況	投資信託・ETF・リートいずれか1つ以上回答あり	(396)	47.5	48.2	38.1	37.6	50.8	30.3	34.6	33.3	35.9	32.6	24.7	23.7	23.5	21.0	31.6	21.5	18.9	21.0	2.0	4.3	
	ポイント投資のみ実施者	(86)	46.5	40.7	32.6	43.0	40.7	33.7	23.3	24.4	25.6	31.4	25.6	25.6	15.1	29.1	22.1	11.6	11.6	12.8	0.0	4.7	
	上記以外の投資商品保有者	(356)	43.8	42.4	40.7	34.0	41.0	27.2	25.3	30.1	30.1	28.4	25.8	22.2	19.1	14.9	20.2	15.4	16.6	14.9	0.3	3.1	

3. 回答者のプロフィール

(6) SNSの動画の許容視聴時間〔Q5:単数回答〕

- SNSの動画を1本あたりどのくらいまでなら最後まで視聴するかについては、「興味のある動画なら何分でも」(26.9%)が最も高い。時間を回答した人では、「3分以内」(12.7%)、「1分以内」(11.7%)、「10分以内」(10.5%)が上位。「SNSの動画は見ない」は11.0%。平均は9.0分〔図3-8〕
- 世代別では、コアZ世代で平均10.4分、初期Z世代で7.8分。「SNSの動画は見ない」は初期Z世代の方がコアZ世代より8.1ポイント高い。
性×年齢別では男性は年齢が低いほど平均時間が長く、男性・15-17歳では平均12.0分。女性は15-17歳と22-24歳で平均が10分を超える。〔図3-8〕
- 投資経験別では、現在投資者の平均時間は8.9分と、現在非投資者(8.0分)に比べて上回るが、「興味のある動画なら何分でも」は現在非投資者が32.8%と現在投資者を大きく上回る。また、投資商品非認知者(18-34歳)では「SNSの動画は見ない」が24.6%と他層に比べて高い。投資関心別(現在非投資者)では、関心層と中間層で平均10.5分となっている。〔図3-9〕
- タイパ意識では、『できるだけ簡単に手早く済ませたい』人は他層と比べて平均7.8分と許容時間が短く、「1分以内」が15.9%となっている。〔図3-9〕

〔図3-8〕



※1%未満は非表示

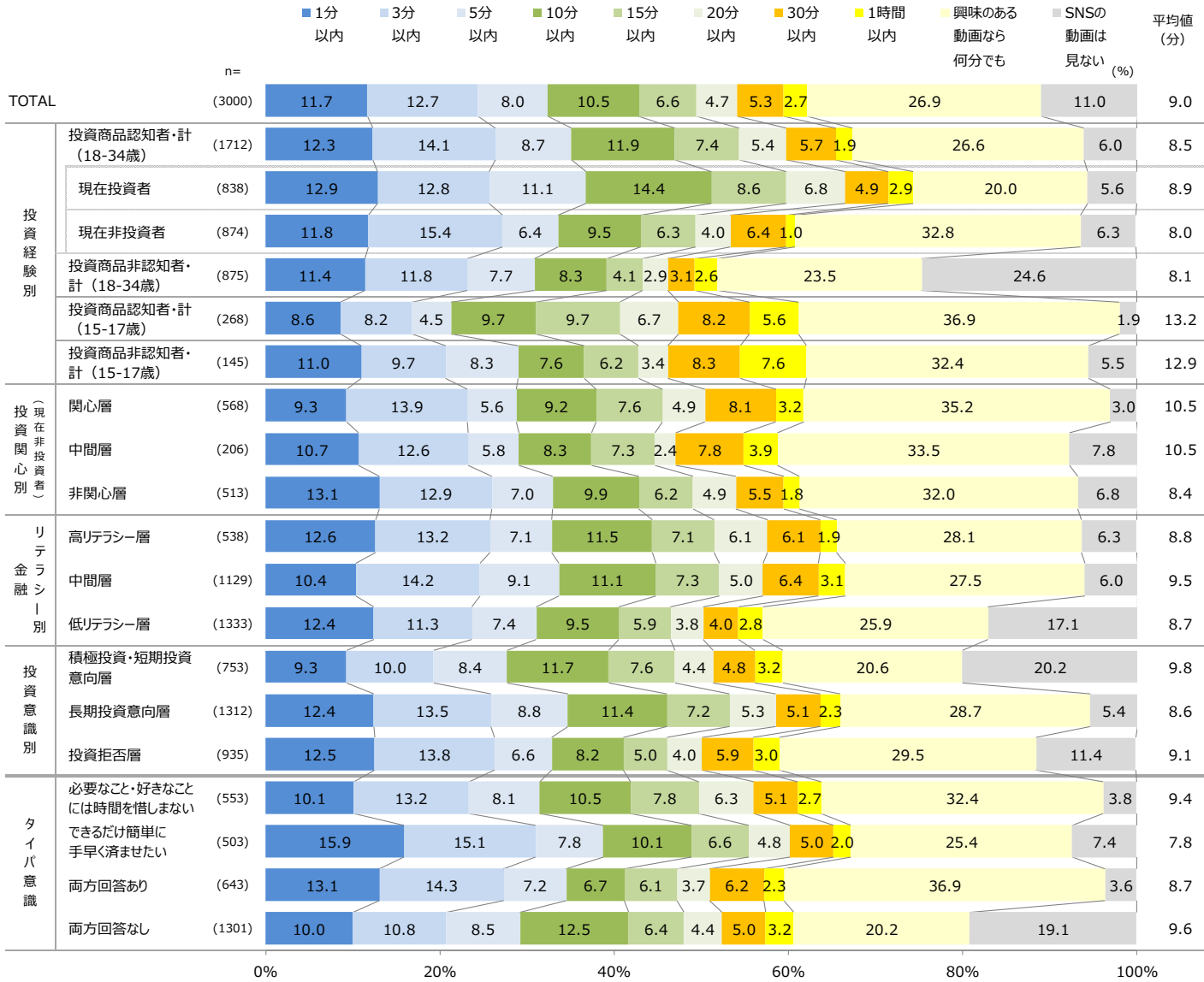
※ 平均値は「1分以内」～「1時間以内」までを対象に算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

1分以内：0.5分 / 3分以内：2分 / 5分以内：4分 / 10分以内：7.5分 / 15分以内：12.5分 / 20分以内：17.5分 / 30分以内：25分 / 1時間以内：45分

3. 回答者のプロフィール

(6) SNSの動画の許容視聴時間〔Q5:単数回答〕

〔図 3-9〕



4. 生活やお金に関する価値観・意識

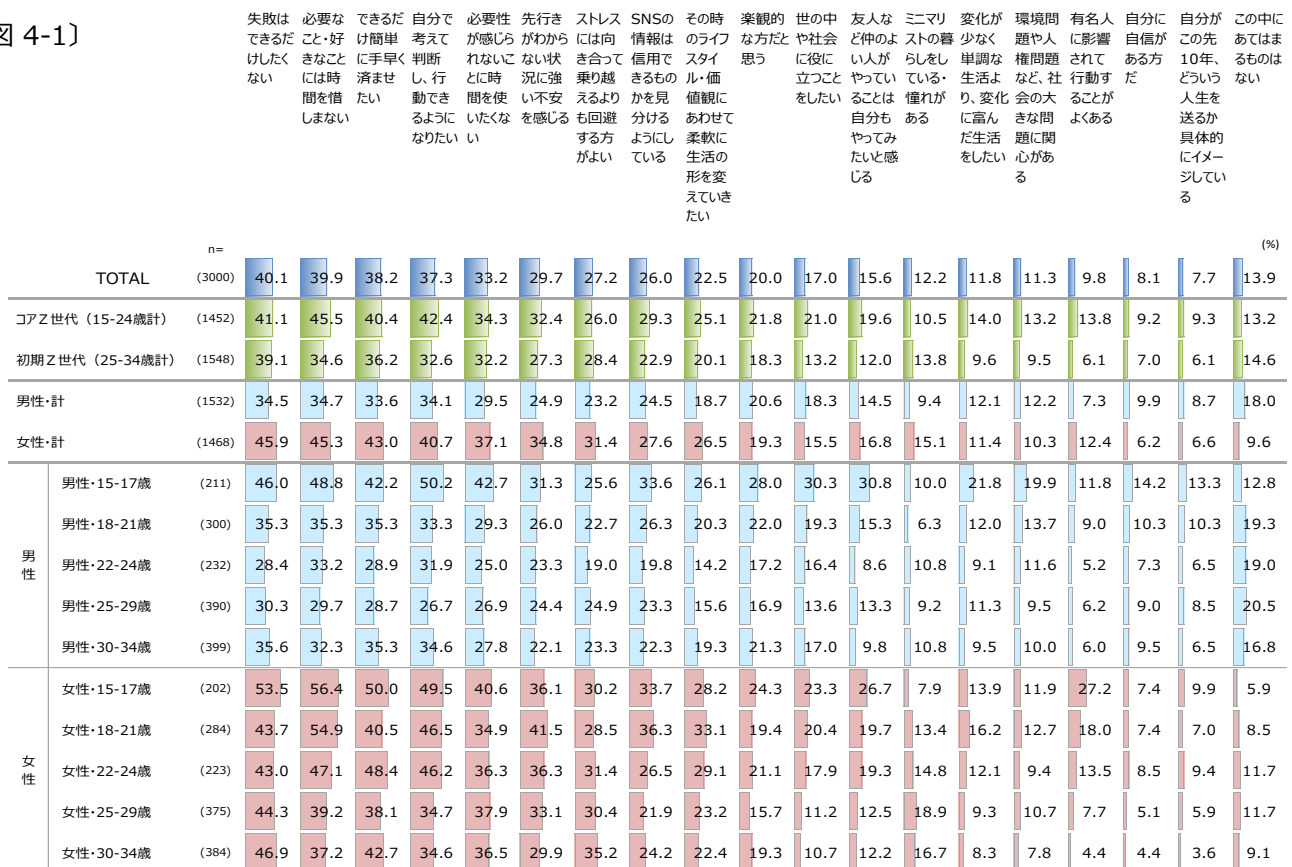


4. 生活やお金に関する価値観・意識

(1) 生活や人生における価値観〔Q6:複数回答〕

- 生活や人生上の価値観を尋ねたところ、「失敗はできるだけしたくない」(40.1%)、「必要なこと・好きなことには時間を惜しまない」(39.9%)、「できるだけ簡単に手早く済ませたい」(38.2%)、「自分で考えて判断し、行動できるようになりたい」(37.3%)が上位となった。また、「SNSの情報は信用できるものかを見分けるようにしている」(26.0%)も全体の1/4ほどみられる。〔図4-1〕
- 世代別では、「必要なこと・好きなことには時間を惜しまない」「自分で考えて判断し、行動できるようになりたい」で、初期Z世代をコアZ世代が10ポイント前後上回る。〔図4-1〕
- 性×年齢別でみると、上位項目は男女とも15-17歳で高い傾向にある。また、「有名人に影響されて行動することがよくある」は女性で年齢が低いほど高い傾向。〔図4-1〕
- 投資経験別では、現在投資者は現在非投資者に比べて、「ミニマリストの暮らしをしている・憧れがある」が9.2ポイント高い。一方、現在非投資者は、「失敗はできるだけしたくない」「必要なこと・好きなことには時間を惜しまない」「先行きがわからない状況に強い不安を感じる」が、いずれも10ポイント以上高い。投資商品非認知者では総じて比率が低い。また、投資関心別（現在非投資者）では、「失敗はできるだけしたくない」には差がないものの、他の項目は総じて関心層で高く、特に「自分で考えて判断し、行動できるようになりたい」は他層に比べて高い。〔図4-2〕
- お金と生活の価値観では、『お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい』人で「先行きがわからない状況に強い不安を感じる」「ストレスには向き合って乗り越えるよりも回避する方がよい」、『人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい』人で「友人など仲のよい人がやっていることは自分もやってみたく感じる」「変化が少なく単調な生活より、変化に富んだ生活をしたい」「自分に自信がある方だ」の比率が他層より高い。〔図4-2〕

〔図 4-1〕



4. 生活やお金に関する価値観・意識

(1) 生活や人生における価値観〔Q6:複数回答〕

〔図 4-2〕

失敗は 必要な できるだ 自分で 必要性 先行き ストレス SNSの その時 楽観的 世の中 友人な ミニマリ 変化が 環境問 有名人 自分に 自分が この中に
 できるだ こと・好 け簡単 考えて を感じら がわから には向 SNSの のライフ 的な方だ とや社会 どのよ ミニマリ 変化が 環境問 有名人 自分に 自分が この中に
 けしたく きなこ に手早 判断 れないこ ない状 乗り越 情報は ののフ スタの 思 役に 人が やって 少 単調な 題や人 影響 自信が 先 であ
 ない 間は惜 たい 動でき し、行 間を使 不安 えるよ 回避 かるもの ル・価 観に 柔軟に 生活の 変えたい
 しまない ならない たい 動でき し、行 間を使 不安 えるよ 回避 かるもの ル・価 観に 柔軟に 生活の 変えたい

		n=																				(%)
TOTAL		(3000)	40.1	39.9	38.2	37.3	33.2	29.7	27.2	26.0	22.5	20.0	17.0	15.6	12.2	11.8	11.3	9.8	8.1	7.7	13.9	
投資経験別	投資商品認知者・計 (18-34歳)	(1712)	44.6	45.2	42.9	42.8	38.1	34.3	32.9	31.5	27.1	22.8	19.2	16.6	15.5	13.6	13.7	9.3	9.4	8.7	3.5	
	現在投資者	(838)	37.4	38.9	39.1	38.7	35.6	28.9	31.3	29.7	28.4	24.3	19.2	18.6	20.2	15.2	15.8	9.8	11.6	11.3	3.1	
	現在非投資者	(874)	51.5	51.3	46.5	46.8	40.6	39.5	34.6	33.2	25.9	21.4	19.2	14.6	11.0	12.1	11.8	8.8	7.3	6.2	3.9	
	投資商品非認知者・計 (18-34歳)	(875)	26.9	23.4	25.4	20.7	19.5	19.0	15.8	11.8	11.4	11.5	7.9	7.5	7.3	5.3	4.2	6.3	4.1	3.8	36.3	
	投資商品認知者・計 (15-17歳)	(268)	54.5	58.2	50.7	56.3	47.8	37.7	32.8	39.6	32.1	30.2	31.0	33.2	10.4	23.9	17.9	19.8	12.7	13.4	4.5	
	投資商品非認知者・計 (15-17歳)	(145)	40.7	42.1	37.2	37.9	30.3	26.2	18.6	22.8	17.9	18.6	19.3	20.7	6.2	6.9	12.4	18.6	7.6	8.3	18.6	
投資関心別 (現在非投資者)	関心層	(568)	51.2	57.6	51.9	55.3	45.2	41.0	34.0	38.9	33.3	27.6	27.8	24.1	13.7	20.6	18.7	13.9	12.7	10.6	3.0	
	中間層	(206)	48.1	44.2	40.8	40.8	35.4	34.0	29.1	29.6	23.8	22.3	17.0	16.5	6.8	11.2	9.7	11.2	6.3	8.7	8.3	
	非関心層	(513)	51.7	48.1	42.3	42.3	38.4	35.3	32.0	28.7	19.5	17.9	16.8	14.8	8.0	7.8	8.4	10.7	4.7	4.7	7.6	
金融 リテラシー別	高リテラシー層	(538)	47.8	46.3	47.4	51.9	42.0	34.0	34.2	35.1	31.2	28.4	24.5	19.5	19.0	17.1	17.3	8.6	12.5	10.6	3.0	
	中間層	(1129)	47.5	48.3	45.4	45.3	40.3	37.8	33.6	33.7	29.8	24.1	21.7	19.2	13.9	14.9	15.4	13.0	10.5	9.5	4.7	
	低リテラシー層	(1333)	30.8	30.2	28.4	24.7	23.6	21.2	19.1	15.9	12.9	13.1	9.9	11.0	8.0	7.0	5.3	7.6	4.2	5.0	26.1	
お金と生活の 価値観	人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい	(360)	50.8	51.4	46.7	46.4	39.2	33.1	27.8	32.8	28.6	27.5	24.2	23.9	10.6	17.2	15.0	13.3	14.4	13.3	1.9	
	お金の振り回されない程度に平均的な生活を送りたい	(468)	53.6	50.9	49.8	51.7	43.8	42.9	42.3	36.1	28.2	19.7	18.8	16.0	14.3	9.4	12.2	9.8	6.2	6.4	2.1	
	お金は生活に困らない程度に最低限確保できればよい	(179)	32.4	34.1	34.1	25.7	29.1	22.9	24.0	17.3	18.4	17.3	12.3	10.6	11.7	8.9	5.0	7.8	6.7	6.1	7.3	
お金に関する 短期・長期 進好	先のことよりも、今のためにお金を使いたい	(261)	43.3	54.0	44.1	42.1	37.9	28.4	36.4	33.3	28.0	33.7	19.5	21.1	11.5	16.1	16.9	13.0	13.8	8.4	1.9	
	将来を考えてお金を着実に準備しておきたい	(889)	58.8	54.2	53.3	57.6	51.9	47.8	38.8	38.9	35.1	23.4	26.8	21.5	18.1	15.6	16.6	12.0	8.3	12.3	0.9	
	両方回答あり	(160)	62.5	66.3	63.8	72.5	55.6	52.5	51.9	53.8	51.9	45.0	37.5	36.3	23.8	30.0	27.5	30.0	25.0	23.1	0.0	
	両方回答なし	(1690)	27.6	27.6	26.9	22.6	20.5	18.3	17.4	15.5	12.3	13.7	9.5	9.8	8.1	7.3	6.0	6.2	5.4	3.7	23.9	

4. 生活やお金に関する価値観・意識

(2) お金についての考え方〔Q7:複数回答〕

- お金の考え方について尋ねたところ、「ポイントを集めたり、増やしたりするのが好き」(50.6%)、「コスパがよいものを選ぶ」(46.2%)が半数前後で上位となった。次いで「将来を考えてお金を着実に準備しておきたい」(35.0%)、「お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい」(33.6%)が30%以上となっている。〔図4-3〕
- 世代別では、上位項目は大きな差はみられないが、「人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい」はコアZ世代が初期Z世代より14.2ポイント高い。〔図4-3〕
- 性別では、「ポイントを集めたり、増やしたりするのが好き」「コスパがよいものを選ぶ」「将来を考えてお金を着実に準備しておきたい」「お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい」等は男性より女性が高い。「高齢者になったとき、どのくらいお金が必要かが心配」は、男性では15-17歳、女性では22~34歳が3割を超えて高い。また、男女ともに15-17歳では、「人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい」「多少値段が高くても自分が納得するものを買う」も他の年齢層に比べて高い。〔図4-3〕
- 金融リテラシー別では、「ポイントを集めたり、増やしたりするのが好き」「コスパがよいものを選ぶ」「将来を考えてお金を着実に準備しておきたい」「節約することが好き」等は、リテラシーが高いほど比率が高い。〔図4-4〕
- お金と生活の価値観では、『人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい』人は「多少値段が高くても自分が納得するものを買う」、『お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい』人は「コスパがよいものを選ぶ」「高齢者になったとき、どのくらいお金が必要かが心配」が他層に比べて高い。〔図4-4〕

〔図 4-3〕

ポイントを集めたり、増やしたりするのが好き
 コスパがよいものを選ぶ
 将来を考えてお金を着実に準備しておきたい
 お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい
 節約することが好き
 高齢者になったとき、どのくらいお金が必要かが心配
 人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい
 多少値段が高くても自分が納得するものを買う
 お金は生活に困らない程度に最低限確保できればよい
 お金を高価なものに使うより、貴重な経験や題にする
 仲の良い友達とお金を使うことがある
 短い時間にお金を使うためにお金を使いたい
 先のことよ、今の金を使いた
 お金は自分以外の人の助けになる
 この中であてはまらないものは

	n=	50.6	46.2	35.0	33.6	29.5	25.7	24.7	24.0	16.6	15.6	15.1	14.5	14.0	12.0	13.2	
TOTAL	(3000)																
コアZ世代 (15-24歳計)	(1452)	51.6	48.1	35.4	35.4	30.9	26.2	32.0	27.3	18.0	17.6	15.0	13.3	16.3	12.9	11.8	
初期Z世代 (25-34歳計)	(1548)	49.7	44.5	34.6	31.8	28.3	25.3	17.8	20.8	15.3	13.8	15.2	15.6	12.0	11.2	14.5	
男性・計	(1532)	41.8	39.4	30.8	28.9	27.2	20.3	25.7	23.9	17.2	14.6	12.5	13.6	14.5	13.0	17.5	
女性・計	(1468)	59.8	53.3	39.3	38.5	31.9	31.4	23.6	24.0	16.0	16.8	17.8	15.3	13.6	11.0	8.7	
男性	男性・15-17歳	(211)	46.9	44.1	35.5	35.1	31.3	30.8	40.8	38.4	20.9	14.2	15.2	15.2	19.4	16.1	9.5
	男性・18-21歳	(300)	41.3	38.7	29.7	30.3	28.3	20.0	26.7	22.0	17.0	16.7	9.7	14.0	16.7	13.3	21.0
	男性・22-24歳	(232)	39.7	37.9	25.4	26.3	29.3	19.8	23.7	24.6	16.8	15.9	13.8	12.1	14.7	11.2	16.4
	男性・25-29歳	(390)	38.5	37.9	28.7	24.9	25.4	16.4	20.5	19.5	15.6	13.3	10.3	11.5	13.3	11.3	20.8
	男性・30-34歳	(399)	44.1	39.8	34.3	29.8	24.8	19.0	23.3	21.6	17.0	13.5	14.5	15.5	11.3	13.8	16.5
女性	女性・15-17歳	(202)	60.4	61.4	45.5	38.1	32.2	27.7	42.6	33.7	18.8	19.3	16.3	10.4	18.3	13.4	4.0
	女性・18-21歳	(284)	59.9	54.6	41.2	40.8	29.9	28.2	36.3	26.1	16.9	17.6	16.5	12.3	14.1	10.6	7.4
	女性・22-24歳	(223)	63.7	54.7	36.8	42.6	35.4	33.2	24.7	22.9	18.4	22.0	20.2	15.7	15.2	13.5	9.4
	女性・25-29歳	(375)	52.8	46.9	35.7	35.7	33.6	32.5	13.3	21.3	14.9	12.0	16.5	17.1	12.5	10.1	12.5
	女性・30-34歳	(384)	64.1	53.6	39.6	37.2	29.7	33.6	13.8	20.8	13.5	16.4	19.5	18.2	10.7	9.6	8.1

4. 生活やお金に関する価値観・意識

(2) お金についての考え方〔Q7:複数回答〕

〔図 4-4〕

		ポイントを集めたり、増やしたりするのが好き	コストがよくなるものを選びたい	将来を考えてお金を着実に準備しておきたい	お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい	節約することが好き	高齢者になつたとき、どのくらいお金が必要かが心配	人よりもお金をできるだけ稼ぎたい	多少値段が高くても自分が納得するものを買う	お金は生活に困らない程度に最低限確保できればよい	お金を高価なモノに使うより、貴重な経験のために使いたい	仲のよい友達でも、お金のことを話題にするのは気が引ける	時短のためにお金を使うことがある	先のことよりも、今のためにお金を使いたい	お金は自分以外の人の助けになる	この中であてはまるものはない
TOTAL (n=3000)		50.6	46.2	35.0	33.6	29.5	25.7	24.7	24.0	16.6	15.6	15.1	14.5	14.0	12.0	13.2
投資経験別	投資商品認知者・計 (18-34歳) (n=1712)	61.2	53.1	42.5	40.3	34.5	31.0	26.3	27.2	18.6	19.3	18.1	17.9	15.9	14.6	3.2
	現在投資者 (n=838)	58.0	50.7	43.4	36.9	36.2	29.2	29.4	26.7	18.3	21.8	17.5	21.2	15.4	17.1	2.6
	現在非投資者 (n=874)	64.3	55.4	41.5	43.6	33.0	32.7	23.3	27.6	19.0	16.9	18.6	14.8	16.4	12.2	3.7
	投資商品非認知者・計 (18-34歳) (n=875)	28.6	29.8	17.7	19.0	18.7	13.7	13.6	12.0	11.1	7.9	8.9	8.5	8.1	5.7	35.9
	投資商品認知者・計 (15-17歳) (n=268)	60.4	56.0	47.0	41.4	33.6	34.7	47.0	42.5	19.8	17.9	16.4	14.2	20.5	15.3	2.6
投資商品非認知者・計 (15-17歳) (n=145)	40.7	46.2	28.3	27.6	28.3	19.3	31.7	24.1	20.0	14.5	14.5	10.3	15.9	13.8	14.5	
投資関心別 (現在非投資者)	関心層 (n=568)	68.8	58.8	49.5	44.5	38.0	38.7	37.1	37.9	18.3	21.3	20.1	21.1	19.7	17.8	2.8
	中間層 (n=206)	58.3	50.5	39.3	40.8	30.6	30.1	27.2	22.8	20.4	16.0	19.4	9.7	18.0	9.7	5.8
	非関心層 (n=513)	53.0	51.3	32.7	38.0	27.3	24.4	21.2	25.0	19.9	12.3	14.4	8.2	14.0	9.2	6.2
リテラシー別 (金融)	高リテラシー層 (n=538)	66.0	58.0	51.5	40.5	41.3	31.8	30.1	31.6	19.3	23.0	15.2	21.4	15.2	17.8	2.6
	中間層 (n=1129)	57.8	53.2	43.0	43.1	34.0	32.8	31.8	30.3	19.8	19.6	20.2	17.8	18.2	14.1	4.8
	低リテラシー層 (n=1333)	38.4	35.6	21.5	22.7	21.0	17.3	16.5	15.5	12.8	9.3	10.7	8.9	10.0	8.0	24.6
投資意識別	積極投資・短期投資意向層 (n=753)	34.5	30.1	25.0	19.7	25.0	16.1	23.4	18.2	11.0	13.3	9.3	12.7	11.4	11.4	26.6
	長期投資意向層 (n=1312)	60.2	53.6	43.8	39.6	33.7	30.8	28.5	28.9	18.1	19.8	17.6	18.8	15.2	14.2	5.3
	投資拒否層 (n=935)	50.2	48.9	30.6	36.4	27.4	26.4	20.4	21.7	18.9	11.7	16.3	9.7	14.4	9.5	13.6
お金と生活の価値観	人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい (n=360)	65.0	50.8	45.3	0.0	32.8	23.9	100.0	36.4	0.0	18.6	12.2	15.8	15.3	15.8	0.0
	お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい (n=468)	66.0	59.8	49.4	100.0	32.5	40.8	0.0	26.5	0.0	19.4	19.9	19.2	12.2	12.8	0.0
	お金は生活に困らない程度に最低限確保できればよい (n=179)	40.2	37.4	20.1	0.0	25.1	17.9	0.0	9.5	100.0	13.4	12.3	6.7	11.2	10.1	0.0
お金に関する短期・長期選好	先のことよりも、今のためにお金を使いたい (n=261)	50.2	43.7	0.0	37.2	21.1	19.5	28.4	37.2	25.3	17.6	19.5	20.7	100.0	10.7	0.0
	将来を考えてお金を着実に準備しておきたい (n=889)	71.0	66.1	100.0	50.8	46.7	44.5	35.8	31.5	17.8	23.8	21.4	18.0	0.0	19.0	0.0
	両方回答あり (n=160)	81.9	66.9	100.0	68.1	48.1	49.4	57.5	58.8	37.5	43.1	28.1	38.8	100.0	36.9	0.0
	両方回答なし (n=1690)	37.0	34.2	0.0	20.7	20.1	14.6	15.2	14.7	12.7	8.4	9.9	9.3	0.0	6.2	23.4

4. 生活やお金に関する価値観・意識

(3) 「自分の将来に必要なお金」について考えるタイミング〔Q8:複数回答〕

- 「自分の将来に必要なお金」を考えるタイミングを尋ねたところ、「ふだんから考えている」(39.5%)が最も高く、「仕事(就職・転職)について考えるとき」(24.9%)、「一人暮らしを始めたとき」(19.9%)、「結婚や出産について考えるとき」(19.6%)が20%前後で続く。また、「わからない・考えたことがない」(21.1%)が2割強となっている。〔図4-5〕
- 性別では、「結婚や出産について考えるとき」が女性で24.7%と、男性の14.7%より10.0ポイント高く、「家族の仕事やライフスタイルに変化があったとき」も女性で20.8%、男性で13.3%と女性が7.5ポイント高い。また、どちらも女性は年齢が上がるにつれて比率が高くなる。〔図4-5〕
- 投資経験別では、投資商品非認知者(18-34歳)の44.7%が「わからない・考えたことがない」と回答しており、投資商品非認知者(15-17歳)(30.3%)に比べても高い。投資意識別では、長期投資意向層が他の2層に比べていずれの項目でも最も高く、「わからない・考えたことがない」(11.4%)は他の2層を大きく下回る。〔図4-6〕
- 職業別では、「ふだんから考えている」は高校生が43.9%と最も高い。〔図4-6〕
- お金と生活の価値観では、『人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい』人は「ふだんから考えている」が半数以上を占める。『お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい』人は「結婚や出産について考えるとき」「家族の仕事やライフスタイルに変化があったとき」「自分が病気やケガをしたとき」等が他層に比べて高い。〔図4-6〕

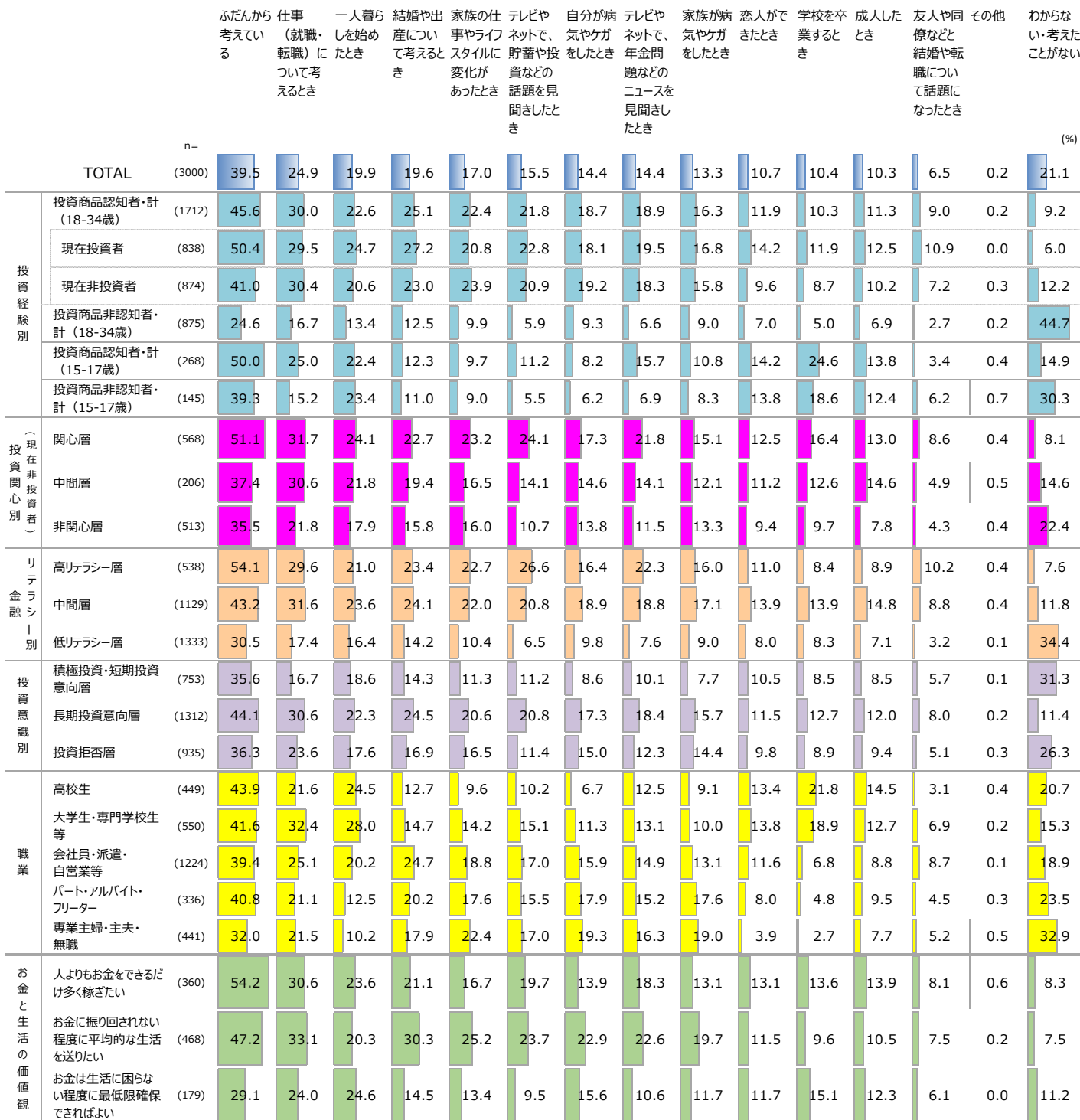
〔図4-5〕

	n=	ふだんから考えている	仕事(就職・転職)について考えるとき	一人暮らしを始めたとき	結婚や出産について考えるとき	家族の仕事やライフスタイルに変化があったとき	テレビやネット、貯蓄や投資などの話題を見聞きしたとき	自分が病気やケガをしたとき	テレビやネット、年金問題などのニュースを見聞きしたとき	家族が病気やケガをしたとき	恋人ができたとき	学校を卒業するとき	成人したとき	友人や同僚など結婚や転職について話題になったとき	その他	わからない・考えたことがない	(%)	
TOTAL	(3000)	39.5	24.9	19.9	19.6	17.0	15.5	14.4	14.4	13.3	10.7	10.4	10.3	6.5	0.2	21.1		
コアZ世代(15-24歳計)	(1452)	40.8	27.4	25.0	14.5	13.6	13.3	10.5	12.3	10.5	13.4	16.2	12.4	5.5	0.3	20.5		
初期Z世代(25-34歳計)	(1548)	38.3	22.6	15.2	24.3	20.2	17.5	18.1	16.5	16.0	8.3	5.0	8.3	7.5	0.1	21.6		
男性・計	(1532)	37.8	22.7	20.0	14.7	13.3	13.5	12.4	13.0	10.6	11.8	11.9	10.8	6.1	0.2	24.9		
女性・計	(1468)	41.3	27.2	19.9	24.7	20.8	17.5	16.5	15.9	16.1	9.6	8.9	9.8	6.9	0.3	17.0		
男性	男性・15-17歳	(211)	47.9	23.7	21.3	11.8	10.4	10.0	6.6	12.8	9.0	16.6	21.3	14.7	5.2	0.0	19.4	
	男性・18-21歳	(300)	35.7	22.0	25.3	9.3	11.7	16.0	11.0	11.0	8.3	12.3	18.7	16.3	5.7	0.7	26.0	
	男性・22-24歳	(232)	33.6	26.3	22.8	11.2	10.3	10.8	9.5	11.2	9.5	13.4	11.6	6.5	6.5	0.0	25.9	
	男性・25-29歳	(390)	36.4	21.8	18.7	17.4	13.3	12.6	13.1	13.1	8.7	11.5	7.4	9.5	6.4	0.0	26.7	
	男性・30-34歳	(399)	37.8	21.6	14.8	19.5	17.8	16.0	17.5	15.5	15.8	8.3	6.5	8.3	6.5	0.3	24.8	
女性	女性・15-17歳	(202)	44.6	19.3	24.3	11.9	8.4	8.4	8.4	12.4	10.9	11.4	23.8	11.9	3.5	1.0	21.3	
	女性・18-21歳	(284)	44.0	35.9	29.2	17.6	16.5	14.8	9.5	11.3	9.5	12.3	13.7	13.4	4.6	0.4	13.7	
	女性・22-24歳	(223)	41.3	35.9	25.6	26.0	23.3	17.9	17.5	15.7	16.6	14.8	9.0	10.3	7.6	0.0	16.6	
	女性・25-29歳	(375)	41.3	24.5	18.7	26.4	23.2	19.7	18.1	18.4	16.0	8.0	3.7	9.1	10.4	0.3	18.4	
	女性・30-34歳	(384)	37.8	22.7	8.6	34.1	26.6	21.9	23.7	19.0	23.4	5.2	2.3	6.5	6.8	0.0	16.1	

4. 生活やお金に関する価値観・意識

(3) 「自分の将来に必要なお金」について考えるタイミング〔Q8:複数回答〕

〔図 4-6〕



4. 生活やお金に関する価値観・意識

(4) 特にお金がかかりそうなライフイベント〔Q9:複数回答・3つまで〕

- 今後経験すると思う・予定しているライフイベントで、特にお金がかかりそうなものを尋ねたところ、「出産・育児」(20.0%)、「結婚」(17.6%)、「住宅の購入」(17.5%)が上位。一方、「わからない・特にない」(23.6%)も2割強みられる。〔図4-7〕
- 世代別では、コアZ世代で「専門学校・大学・大学院への進学」(25.5%)、「結婚」(23.5%)、「就職(新卒での)」(19.2%)が上位で、初期Z世代よりも10ポイント以上上回る。〔図4-7〕
- 性別では、男性より女性の方が高い項目が多く、「出産・育児」(26.4%)は12.5ポイント、「自分の子どもの教育」(16.8%)は7.7ポイント、男性より高い。また、「美容に関する費用」(9.8%)も男性より8.0ポイント高い。性×年齢別では、男女ともに15~29歳までは、年齢が上がるにつれて「わからない・特にない」が高くなる。〔図4-7〕
- 将来のお金を考えるタイミングで『外部からの影響』項目を回答した人では、他層で上位の「出産・育児」「結婚」「住宅の購入」等は低く、「旅行費用」「自分の子どもの教育」「自分自身の病気やケガ」「家具・家電の購入」等が上位となっている。〔図4-8〕

〔図 4-7〕

	n=	出産・育児	結婚	住宅の購入(賃貸は除く)	自家用車の購入	専門学校・大学・大学院への進学	旅行費用	自分の子どもの教育	家具・家電の購入(パソコンやスマホ含む)	自分自身の病気・ケガ	就職(新卒での)	転職	老後のゆとりある暮らし(海外移住など)	美容に関する費用(整形費用・エステ・脱毛費用など)	介護を受ける	高齢者施設への入居	自分自身のリスクリング(学び直し)や資格取得	海外留学	起業	ジュエリー・バッグなど	装飾品の購入(腕時計・その他)	わからない・特にない (%)
TOTAL	(3000)	20.0	17.6	17.5	14.3	13.5	13.1	12.8	12.3	11.9	10.4	7.5	6.9	5.7	4.6	4.2	4.1	4.0	1.7	0.6	23.6	
コアZ世代(15-24歳計)	(1452)	20.0	23.5	17.6	12.9	25.5	12.3	7.9	12.1	8.9	19.2	6.0	4.5	8.2	2.8	4.0	6.3	4.4	1.7	0.8	18.4	
初期Z世代(25-34歳計)	(1548)	20.0	12.1	17.3	15.6	2.2	14.0	17.4	12.6	14.7	2.1	8.9	9.2	3.4	6.3	4.4	2.0	3.6	1.7	0.4	28.6	
男性・計	(1532)	13.9	16.5	16.4	15.1	12.8	11.2	9.1	12.9	10.9	11.0	8.0	5.6	1.8	3.5	4.2	3.2	5.4	1.4	0.6	29.1	
女性・計	(1468)	26.4	18.7	18.5	13.4	14.2	15.1	16.8	11.8	12.9	9.7	6.9	8.3	9.8	5.8	4.2	5.0	2.5	2.0	0.5	17.9	
男性	男性・15-17歳	(211)	14.7	19.9	20.4	14.7	51.2	8.5	5.7	12.3	7.6	20.4	1.9	1.9	2.4	0.5	3.3	7.6	6.6	1.9	0.9	15.6
	男性・18-21歳	(300)	12.7	19.7	15.0	13.3	18.3	11.7	5.7	13.7	8.7	24.3	5.3	4.7	1.7	3.0	5.0	6.0	7.3	1.0	1.0	25.0
	男性・22-24歳	(232)	12.5	18.5	12.5	14.2	6.9	9.9	4.7	15.9	10.8	13.4	9.1	5.2	3.0	2.6	4.7	1.7	5.2	1.3	0.4	31.0
	男性・25-29歳	(390)	13.6	16.9	14.1	13.8	2.6	11.3	7.9	12.3	11.5	4.1	11.0	4.1	2.3	3.6	5.1	1.3	4.9	1.5	0.3	37.4
	男性・30-34歳	(399)	15.5	10.8	20.1	18.5	1.8	13.0	17.0	11.3	13.8	1.5	9.8	10.0	0.5	5.8	3.0	1.5	3.8	1.5	0.5	30.1
女性	女性・15-17歳	(202)	24.8	19.8	23.3	10.9	65.3	7.4	10.9	8.4	7.4	16.3	2.5	3.5	15.3	3.5	1.5	10.9	1.5	1.5	1.0	6.4
	女性・18-21歳	(284)	25.7	29.6	18.0	12.0	16.9	16.5	12.3	10.6	7.7	26.8	6.7	3.9	14.1	2.1	3.9	8.1	2.5	1.8	1.1	12.7
	女性・22-24歳	(223)	30.9	32.7	18.4	12.1	4.9	17.9	8.1	10.8	11.2	10.3	9.9	7.6	13.9	5.4	4.9	3.6	2.7	2.7	0.0	17.0
	女性・25-29歳	(375)	27.7	13.6	21.1	11.2	2.1	17.6	16.3	12.8	14.4	1.9	10.1	10.9	6.9	5.3	4.5	3.2	3.2	2.7	0.3	24.0
	女性・30-34歳	(384)	23.7	7.0	14.1	18.5	2.3	14.1	28.6	14.1	19.3	0.8	4.4	12.0	4.2	10.4	4.9	2.1	2.3	1.3	0.5	22.4

4. 生活やお金に関する価値観・意識

(4) 特にお金がかかりそうなライフイベント〔Q9:複数回答・3つまで〕

〔図 4-8〕

		n=	出産・育児	結婚	住宅の購入（賃貸は除く）	自家用車の購入	専門学校・大学・大学院への進学	旅行費用	自分の子どもの教育	家具・家電の購入（パソコンやスマホ含む）	自分自身の病気・ケガ	就職（新卒での）	転職	老後のゆとりある暮らし（海外移住など）	美容に関する費用（整形費用・エステ・脱毛費用など）	高齢者施設への入居・介護を受ける	自分自身のリスケリング（学び直し）や資格取得	海外留学	起業	装飾品の購入（腕時計・ジュエリー・バッグなど）	その他	わからない・特にならない (%)
TOTAL		(3000)	20.0	17.6	17.5	14.3	13.5	13.1	12.8	12.3	11.9	10.4	7.5	6.9	5.7	4.6	4.2	4.1	4.0	1.7	0.6	23.6
投資経験別	投資商品認知者・計（18-34歳）	(1712)	22.5	20.0	20.5	17.8	7.0	16.8	15.9	16.0	14.5	11.1	10.2	9.5	5.6	6.2	5.9	3.7	5.2	2.2	0.7	13.3
	現在投資者	(838)	24.6	21.7	22.8	18.0	6.0	17.9	17.9	13.1	11.7	9.7	11.5	11.7	4.1	5.8	6.1	4.2	7.6	1.9	0.2	10.5
	現在非投資者	(874)	20.5	18.3	18.3	17.6	8.0	15.7	14.0	18.8	17.3	12.5	8.9	7.4	7.1	6.5	5.7	3.2	2.9	2.5	1.1	15.9
	投資商品非認知者・計（18-34歳）	(875)	15.3	11.9	9.5	8.0	5.0	8.5	9.0	6.1	8.8	5.1	4.7	3.9	4.6	2.7	1.7	2.4	1.5	0.7	0.1	49.8
	投資商品認知者・計（15-17歳）	(268)	20.9	19.0	23.5	13.4	61.2	8.6	9.3	12.7	7.8	19.4	2.6	3.4	9.7	2.6	2.6	10.1	5.6	1.9	0.7	7.5
	投資商品非認知者・計（15-17歳）	(145)	17.2	21.4	18.6	11.7	52.4	6.9	6.2	6.2	6.9	16.6	1.4	1.4	6.9	0.7	2.1	7.6	1.4	1.4	1.4	17.9
投資関心別（現在非投資者）	関心層	(568)	20.4	23.6	22.4	17.4	26.2	15.3	13.9	16.7	14.6	16.9	9.0	6.7	7.7	6.2	5.5	7.0	4.2	2.3	1.1	8.3
	中間層	(206)	21.8	16.5	23.3	13.6	21.8	14.6	12.1	13.6	11.7	12.6	6.8	6.3	7.3	3.4	4.4	5.3	3.4	1.9	1.0	15.0
	非関心層	(513)	19.3	14.4	14.6	15.6	22.6	10.3	10.1	16.4	14.6	12.3	4.3	4.9	7.6	4.5	3.9	2.9	2.1	2.3	1.2	20.9
金融リテラシー別	高リテラシー層	(538)	24.5	21.2	23.2	20.1	11.7	20.3	16.9	19.9	14.9	9.3	8.7	12.5	4.1	6.7	6.7	3.5	5.4	1.3	0.9	9.5
	中間層	(1129)	22.2	19.1	20.7	16.5	16.8	14.1	15.0	15.1	13.5	13.5	8.9	7.6	6.5	5.9	5.2	5.1	5.2	2.2	0.5	13.3
	低リテラシー層	(1333)	16.3	14.9	12.4	10.1	11.3	9.5	9.4	6.9	9.4	8.2	5.7	4.1	5.8	2.6	2.3	3.4	2.3	1.4	0.5	38.1
投資意識別	積極投資・短期投資意向層	(753)	13.5	16.6	15.3	10.6	10.0	10.0	8.1	7.4	6.5	8.5	7.0	6.8	4.1	2.9	4.4	4.2	4.9	1.2	0.4	35.9
	長期投資意向層	(1312)	24.7	19.7	22.2	17.3	14.4	15.8	16.9	13.9	13.8	11.3	9.8	7.9	5.8	5.1	4.8	4.9	5.1	1.7	0.4	13.8
	投資拒否層	(935)	18.6	15.5	12.6	12.9	15.0	12.0	10.9	14.0	13.6	10.6	4.5	5.8	7.0	5.2	3.2	2.8	1.6	2.1	1.0	27.6
職業	高校生	(449)	20.3	20.0	19.2	13.4	57.9	8.2	8.2	10.7	7.3	18.9	2.2	2.9	8.5	1.8	2.0	9.1	4.0	1.3	0.7	11.1
	大学生・専門学校生等	(550)	20.7	27.3	18.0	14.5	16.9	14.9	9.5	13.3	8.5	31.1	3.6	4.5	7.8	4.0	5.1	7.3	5.6	1.8	0.7	13.1
	会社員・派遣・自営業等	(1224)	22.4	18.5	20.5	16.2	2.5	15.8	14.8	11.4	12.3	3.2	11.1	9.3	4.6	5.9	4.1	2.2	4.6	1.9	0.3	23.0
	パート・アルバイト・フリーター	(336)	15.2	12.2	10.7	11.9	3.0	13.4	11.3	13.4	14.6	2.7	8.3	7.4	6.0	4.8	6.3	2.1	1.5	1.8	0.9	36.3
	専業主婦・主夫・無職	(441)	15.9	4.5	11.8	11.3	2.3	8.4	17.5	14.7	17.5	1.6	6.8	7.0	3.4	4.5	4.1	1.6	2.0	1.4	0.7	41.5
将来のお金を考える	ふだんから	(1186)	23.5	19.7	22.6	19.0	17.3	16.1	16.4	15.9	13.7	10.5	7.5	9.4	7.5	5.8	6.0	5.2	4.0	2.1	0.8	11.3
	自分のライフステージに際して	(1044)	26.1	24.2	19.8	15.5	12.9	14.9	13.5	12.9	13.2	14.7	11.6	6.5	6.1	4.9	3.8	4.1	6.1	2.0	0.5	8.9
	外部からの影響（家族・友人・テレビ・ネット等）	(138)	11.6	6.5	9.4	11.6	8.0	22.5	20.3	17.4	20.3	3.6	4.3	13.0	4.3	8.0	5.8	2.2	1.4	1.4	0.7	21.7
	わからない	(632)	5.2	5.1	5.7	4.0	8.4	2.5	3.3	3.5	4.6	4.6	1.3	1.7	2.1	1.1	1.1	2.2	0.8	0.5	0.3	71.5

4. 生活やお金に関する価値観・意識

(5) どのような方法でお金を用意しようと思うか〔Q10:複数回答・3つまで〕 (Q9のライフイベントの各回答者)

- 前問 (Q9) で「特にお金がかかりそう」と回答したライフイベントについて、どのような方法でお金を用意しようと思うかを尋ねた。多くの項目では「貯蓄 (預貯金)」が最も高く、各項目で50~70%台が中心となっている。「株や投資信託などでの運用 (NISA・iDeCo含む)」では、『老後のゆとりある暮らし』『高齢者施設への入居・介護を受ける』『自分の子どもの教育』が各項目回答者の30%以上と比較的高い。『専門学校・大学・大学院への進学』と『起業』では「貯蓄 (預貯金)」が低い点は共通しているが、前者は「親の支援」「奨学金、ローン・借入金」が高く、後者は「株や投資信託などでの運用 (NISA・iDeCo含む)」が比較的高い。また、前問での上位3項目のうち、「出産・育児」「結婚」では「貯蓄 (預貯金)」に次いで「株や投資信託などでの運用 (NISA・iDeCo含む)」が2割前後で2番目に高く、「住宅の購入」では「ローン・借入金」に続き、3番目に高い。〔図4-9〕

〔図 4-9〕

	n=	貯蓄 (預貯金)	株や投資信託 などでの運用 (NISA・ iDeCo含む)	親の支援	奨学金、 ローン・借入金	財形貯蓄 (勤務先で 給与から天引 きして貯蓄を行 う制度)	保険・共済	退職金	親からの相続	わからない・ この中にはない	(%)
専門学校・大学・ 大学院への進学	(404)	35.9	5.0	37.6	26.0	0.5	0.7	1.0	5.9	22.0	
海外留学	(122)	48.4	9.8	20.5	19.7	3.3	2.5	0.0	2.5	23.0	
就職 (新卒での)	(311)	55.3	10.6	20.6	7.7	2.9	1.3	1.6	0.6	25.4	
転職	(224)	56.7	14.7	5.8	6.3	2.2	2.7	6.7	1.3	24.6	
起業	(119)	36.1	26.9	6.7	16.0	6.7	6.7	2.5	0.8	20.2	
② 結婚	(528)	66.5	18.2	7.2	4.4	2.8	3.0	0.9	0.9	20.8	
① 出産・育児	(600)	71.0	21.5	7.0	3.7	1.8	6.7	0.5	1.3	18.2	
③ 住宅の購入	(524)	61.8	21.6	5.0	25.6	2.9	3.4	1.0	2.1	16.4	
自家用車の購入	(428)	69.9	13.8	4.4	13.1	2.3	1.2	0.0	0.7	17.8	
家具・家電の購入	(370)	76.2	12.7	7.8	1.6	1.6	0.8	0.3	1.6	15.9	
美容に関する費用	(172)	59.9	11.6	2.3	2.3	2.3	1.2	0.0	0.6	31.4	
装飾品の購入	(51)	68.6	17.6	13.7	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	19.6	
旅行費用	(394)	73.1	15.0	3.6	1.8	1.8	1.8	0.3	0.3	19.3	
自分の子どもの教育	(385)	71.9	30.1	2.3	7.0	2.1	11.2	0.3	0.8	15.3	
自分自身のリスキング や資格取得	(126)	60.3	18.3	7.9	7.9	1.6	1.6	0.0	0.8	25.4	
自分自身の病気・ケガ	(357)	61.3	13.4	6.2	2.5	1.7	20.2	0.3	2.2	21.8	
高齢者施設への入居・ 介護を受ける	(138)	59.4	38.4	1.4	1.4	2.9	9.4	13.8	4.3	19.6	
老後のゆとりある暮らし	(208)	66.8	43.3	1.4	1.4	1.9	7.2	10.1	2.4	15.9	

※①~③はQ9での回答数の多い順。また、「奨学金、ローン・借入金」は、他のライフイベント (進学、留学等) の項目にも共通で聴取しているため、「住宅の購入」のコメントでは、「ローン・借入金」と読み替えている。

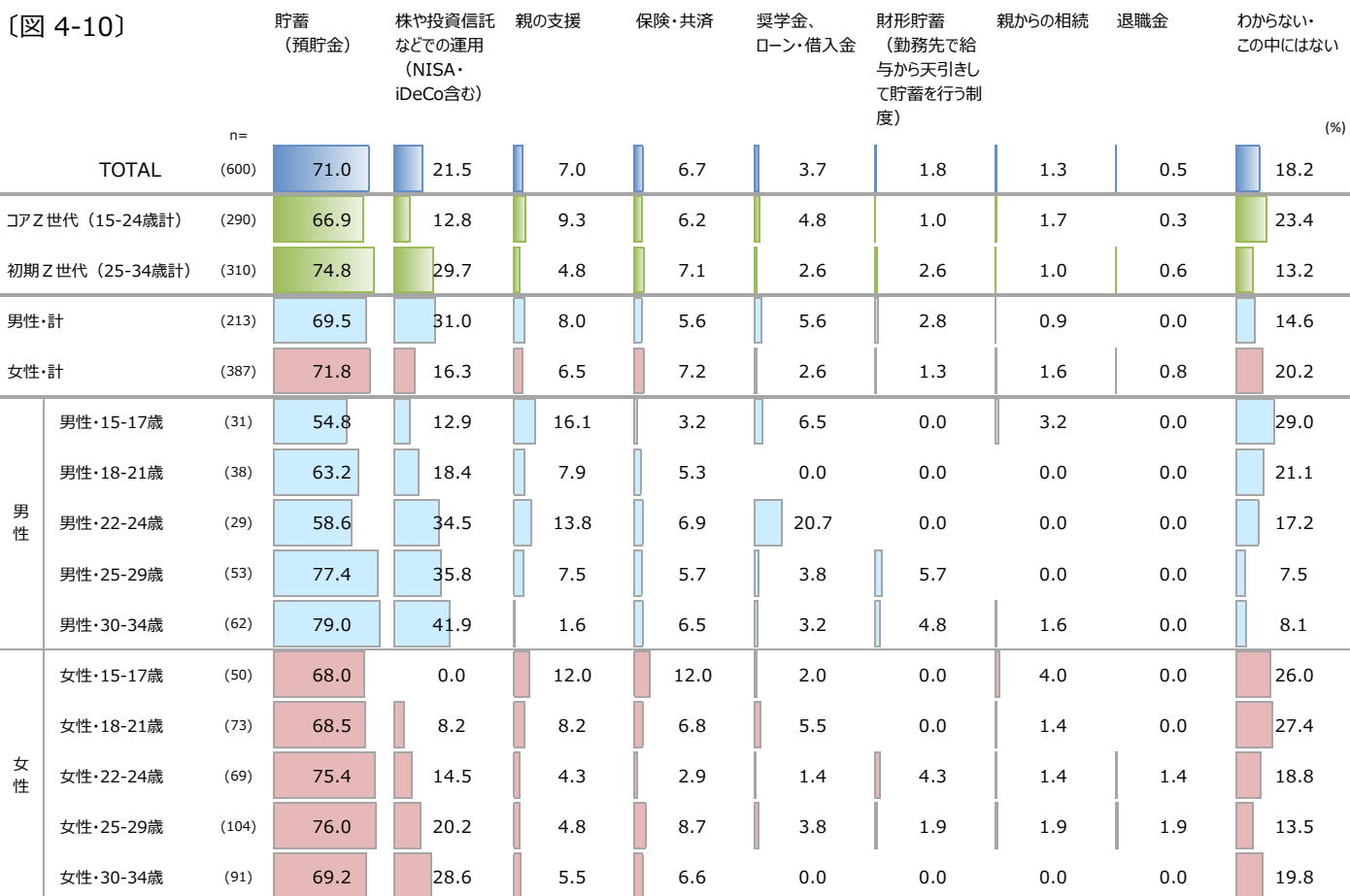
4. 生活やお金に関する価値観・意識

(5) どのような方法でお金を用意しようと思うか〔Q10:複数回答・3つまで〕

① 出産・育児 (Q9回答者)

- 特にお金がかかりそうなライフイベントの第1位『出産・育児』について、お金を用意する方法を属性別で見ると、世代別では、初期Z世代はコアZ世代に比べて「貯蓄（預貯金）」で7.9ポイント、「株や投資信託などでの運用（NISA・iDeCo含む）」は16.9ポイント高い。一方、コアZ世代は初期Z世代に比べて「わからない・この中にはない」が10.2ポイント高い。〔図4-10〕
- 性別では、男性の方が「株や投資信託などでの運用（NISA・iDeCo含む）」が女性より14.7ポイント高い。また、女性では「わからない・この中にはない」が男性より5.6ポイント高い。〔図4-10〕
- 投資経験別では、現在投資者の「株や投資信託などでの運用（NISA・iDeCo含む）」が高い。金融リテラシー別では、リテラシーが高いほど、「貯蓄（預貯金）」「株や投資信託などでの運用（NISA・iDeCo含む）」の比率が高くなる。低リテラシー層では「貯蓄（預貯金）」「株や投資信託などでの運用（NISA・iDeCo含む）」ともに他層に比べて低く、「わからない・この中にはない」が高い。〔図4-11〕
- 自身の家庭の有無で『配偶者、パートナー・婚約者、自分の子あり』の人では、「株や投資信託などでの運用（NISA・iDeCo含む）」がそれ以外の層より大きく上回り、「貯蓄（預貯金）」もやや高い。〔図4-11〕

〔図4-10〕



4. 生活やお金に関する価値観・意識

(5) どのような方法でお金を用意しようと思うか〔Q10:複数回答・3つまで〕

① 出産・育児 (Q9回答者)

〔図 4-11〕

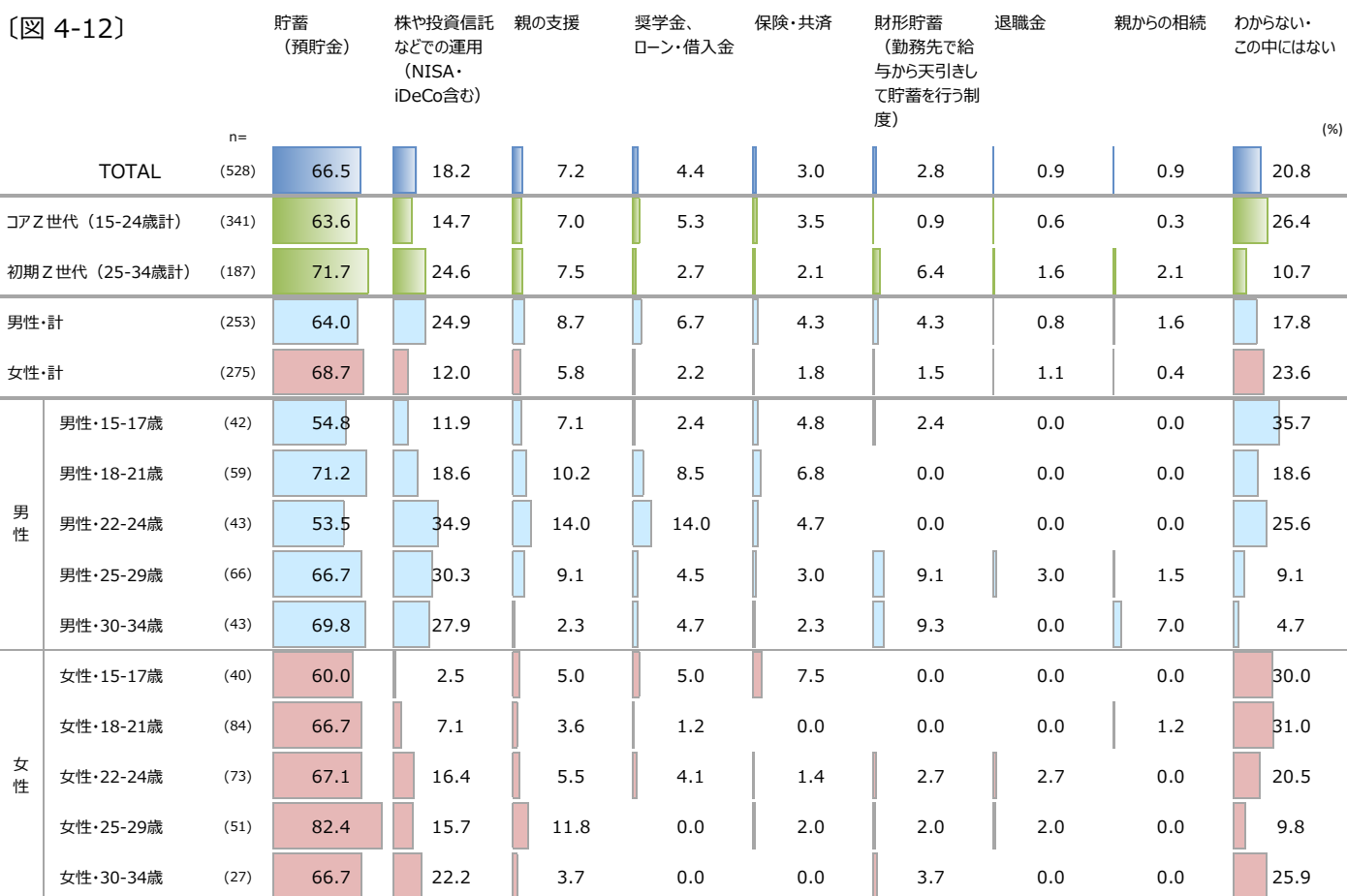
		貯蓄 (預貯金)	株や投資信託 などでの運用 (NISA・ iDeCo含む)	親の支援	保険・共済	奨学金、 ローン・借入金	財形貯蓄 (勤務先で給 与から天引きし て貯蓄を行う制 度)	親からの相続	退職金	わからない・ この中にはない	(%)
TOTAL		n= (600) 71.0	21.5	7.0	6.7	3.7	1.8	1.3	0.5	18.2	
投資 経験 別	投資商品認知者・計 (18-34歳)	(385) 78.4	30.9	7.0	7.5	3.9	2.1	0.8	0.8	8.8	
	現在投資者	(206) 75.7	47.1	7.3	8.3	5.3	2.4	0.5	1.0	4.4	
	現在非投資者	(179) 81.6	12.3	6.7	6.7	2.2	1.7	1.1	0.6	14.0	
	投資商品非認知者・計 (18-34歳)	(134) 54.5	4.5	3.0	3.0	3.0	2.2	1.5	0.0	39.6	
	投資商品認知者・計 (15-17歳)	(56) 66.1	7.1	16.1	10.7	3.6	0.0	3.6	0.0	23.2	
	投資商品非認知者・計 (15-17歳)	(25) 56.0	0.0	8.0	4.0	4.0	0.0	4.0	0.0	36.0	
投資 関心 別 (現在非投資者)	関心層	(116) 74.1	12.9	11.2	6.0	4.3	1.7	3.4	0.0	18.1	
	中間層	(45) 80.0	4.4	4.4	13.3	0.0	2.2	0.0	2.2	17.8	
	非関心層	(99) 75.8	9.1	8.1	6.1	2.0	0.0	1.0	0.0	18.2	
金融 リテ ラシー 別	高リテラシー層	(132) 76.5	46.2	8.3	8.3	3.8	0.8	1.5	0.0	7.6	
	中間層	(251) 76.5	20.7	8.4	6.8	4.8	3.6	1.6	0.8	10.8	
	低リテラシー層	(217) 61.3	7.4	4.6	5.5	2.3	0.5	0.9	0.5	33.2	
自身 の有 無 家庭	配偶者、パートナー・ 婚約者、自分の子あり	(229) 75.1	29.7	3.1	9.2	4.4	0.4	0.4	0.9	13.1	
	上記以外	(371) 68.5	16.4	9.4	5.1	3.2	2.7	1.9	0.3	21.3	

4. 生活やお金に関する価値観・意識

(5) どのような方法でお金を用意しようと思うか〔Q10:複数回答・3つまで〕 ②結婚 (Q9回答者)

- 特にお金がかかりそうなライフイベントの第2位『結婚』について、お金を用意する方法を属性別で見ると、世代別では、初期Z世代はコアZ世代に比べて「貯蓄（預貯金）」で8.1ポイント、「株や投資信託などでの運用（NISA・iDeCo含む）」は9.9ポイント高い。一方、コアZ世代は初期Z世代に比べて「わからない・この中にはない」が15.7ポイント高い。〔図4-12〕
- 性別では、男性の方が「株や投資信託などでの運用（NISA・iDeCo含む）」が女性より12.9ポイント高い。また、女性では「わからない・この中にはない」が男性より5.8ポイント高い。〔図4-12〕
- 投資経験別では、現在投資者の「株や投資信託などでの運用（NISA・iDeCo含む）」が高い。投資関心別（現在非投資者）では、関心層で「株や投資信託などでの運用（NISA・iDeCo含む）」が他層に比べて高い。金融リテラシー別では、リテラシーが高いほど、「貯蓄（預貯金）」「株や投資信託などでの運用（NISA・iDeCo含む）」の比率が高くなり、「わからない・この中にはない」は低くなる。〔図4-13〕
- 自身の家庭の有無で『配偶者、パートナー・婚約者、自分の子あり』の人では、「株や投資信託などでの運用（NISA・iDeCo含む）」がそれ以外の層に比べて高い。〔図4-13〕

〔図4-12〕



4. 生活やお金に関する価値観・意識

(5) どのような方法でお金を用意しようと思うか〔Q10:複数回答・3つまで〕 ②結婚 (Q9回答者)

〔図 4-13〕

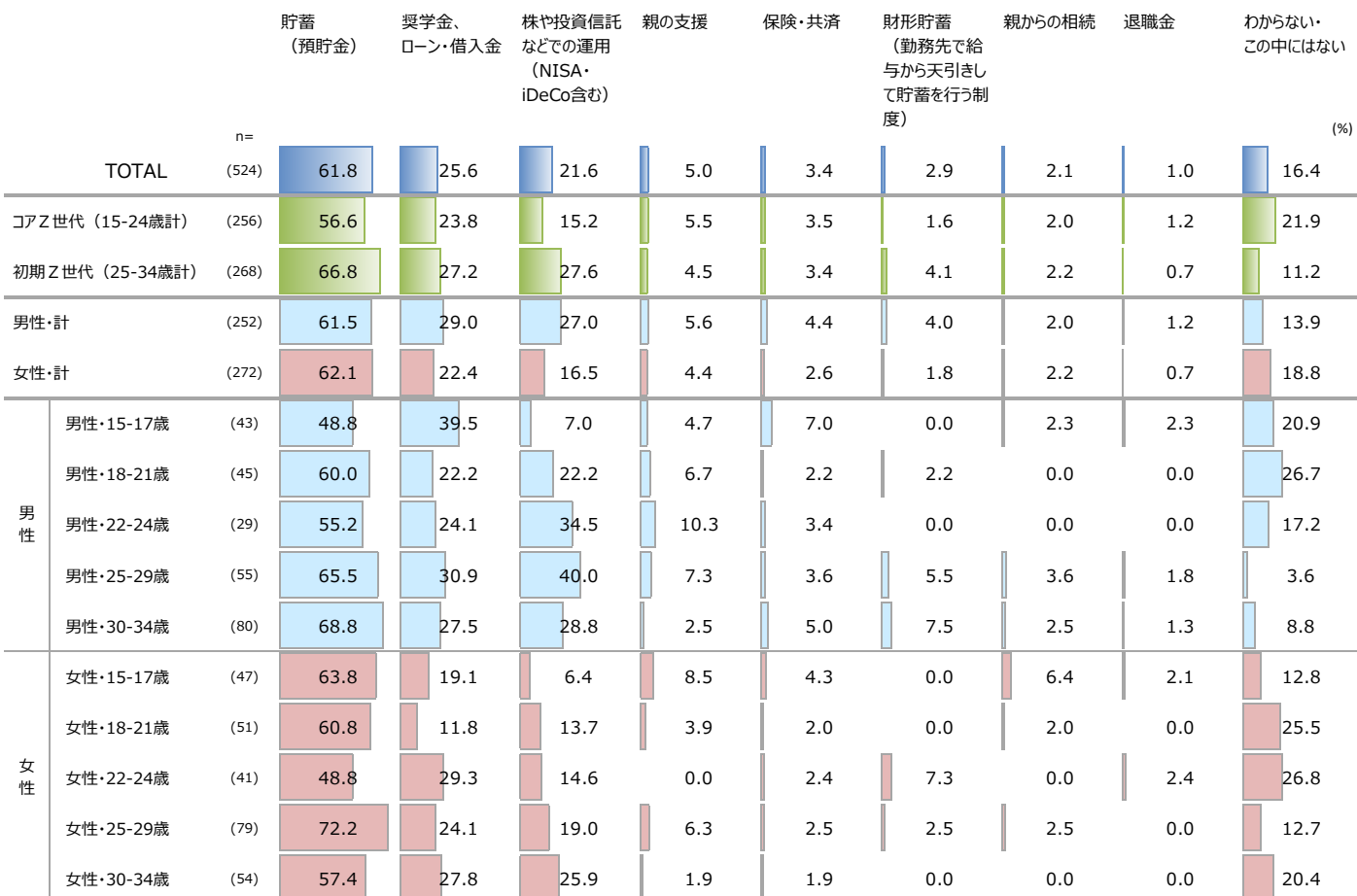
		貯蓄 (預貯金)	株や投資信託 などでの運用 (NISA・ iDeCo含む)	親の支援	奨学金、 ローン・借入金	保険・共済	財形貯蓄 (勤務先で給 与から天引きし て貯蓄を行う制 度)	退職金	親からの相続	わからない・ この中にはない	(%)
TOTAL		n= (528) 66.5	18.2	7.2	4.4	3.0	2.8	0.9	0.9	20.8	
投資 経験 別	投資商品認知者・計 (18-34歳)	(342) 72.5	25.1	9.4	5.0	2.3	3.5	1.5	1.2	11.7	
	現在投資者	(182) 70.9	40.1	9.9	8.2	2.7	4.4	2.7	1.6	4.4	
	現在非投資者	(160) 74.4	8.1	8.8	1.3	1.9	2.5	0.0	0.6	20.0	
	投資商品非認知者・計 (18-34歳)	(104) 53.8	3.8	1.0	2.9	2.9	1.9	0.0	1.0	41.3	
	投資商品認知者・計 (15-17歳)	(51) 58.8	11.8	9.8	0.0	5.9	2.0	0.0	0.0	31.4	
	投資商品非認知者・計 (15-17歳)	(31) 54.8	0.0	0.0	9.7	6.5	0.0	0.0	0.0	35.5	
投資 関心 別 (現在非投資者)	関心層	(134) 72.4	12.7	9.0	1.5	3.7	1.5	0.0	0.7	21.6	
	中間層	(34) 64.7	2.9	8.8	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	29.4	
	非関心層	(74) 63.5	1.4	5.4	2.7	2.7	4.1	0.0	0.0	27.0	
金融 リテ ラシー 別	高リテラシー層	(114) 77.2	35.1	11.4	2.6	2.6	1.8	0.0	1.8	7.0	
	中間層	(216) 69.0	19.9	9.3	6.0	4.2	4.6	1.9	0.5	15.7	
	低リテラシー層	(198) 57.6	6.6	2.5	3.5	2.0	1.5	0.5	1.0	34.3	
自身 の有 無 家庭	配偶者、パートナー・ 婚約者、自分の子あり	(52) 65.4	32.7	1.9	5.8	0.0	9.6	3.8	0.0	11.5	
	上記以外	(476) 66.6	16.6	7.8	4.2	3.4	2.1	0.6	1.1	21.8	

4. 生活やお金に関する価値観・意識

(5) どのような方法でお金を用意しようと思うか〔Q10:複数回答・3つまで〕 ③住宅の購入 (Q9回答者)

- 特にお金がかかりそうなライフイベントの第3位『住宅の購入』について、お金を用意する方法を属性別で見ると、世代別では、初期Z世代はコアZ世代に比べて「貯蓄（預貯金）」で10.2ポイント、「株や投資信託などでの運用（NISA・iDeCo含む）」は12.4ポイント高い。一方、コアZ世代は初期Z世代に比べて「わからない・この中にはない」が10.7ポイント高い。〔図4-14〕
- 性別では、男性の方が「株や投資信託などでの運用（NISA・iDeCo含む）」が女性より10.5ポイント高い。〔図4-14〕
- 投資関心別（現在非投資者）では、関心層で「ローン・借入金」「株や投資信託などでの運用（NISA・iDeCo含む）」が他層に比べて高い。金融リテラシー別では、リテラシーが高いほど「ローン・借入金」「株や投資信託などでの運用（NISA・iDeCo含む）」の比率が高くなり、「わからない・この中にはない」は低くなる。〔図4-15〕
- 自身の家庭の有無で『配偶者、パートナー・婚約者、自分の子あり』の人では、「ローン・借入金」がそれ以外の層に比べて高い。〔図4-15〕

〔図 4-14〕



※「奨学金、ローン・借入金」は、他のライフイベント（進学、留学等）の項目にも共通で聴取しているため、この質問のコメントでは、「ローン・借入金」と読み替えている。

4. 生活やお金に関する価値観・意識

(5) どのような方法でお金を用意しようと思うか〔Q10:複数回答・3つまで〕 ③住宅の購入 (Q9回答者)

〔図 4-15〕

		貯蓄（預貯金）	奨学金、ローン・借入金	株や投資信託などの運用（NISA・iDeCo含む）	親の支援	保険・共済	財形貯蓄（勤務先で給与から天引きして貯蓄を行う制度）	親からの相続	退職金	わからない・この中にはない
TOTAL		n= (524) 61.8	25.6	21.6	5.0	3.4	2.9	2.1	1.0	16.4
投資経験別	投資商品認知者・計（18-34歳）	(351) 66.4	27.9	30.5	5.1	3.7	3.4	1.4	0.9	10.8
	現在投資者	(191) 65.4	28.8	45.0	3.7	5.8	5.8	1.6	1.6	6.8
	現在非投資者	(160) 67.5	26.9	13.1	6.9	1.3	0.6	1.3	0.0	15.6
	投資商品非認知者・計（18-34歳）	(83) 48.2	12.0	0.0	2.4	0.0	3.6	2.4	0.0	39.8
	投資商品認知者・計（15-17歳）	(63) 61.9	28.6	9.5	9.5	6.3	0.0	6.3	3.2	12.7
	投資商品非認知者・計（15-17歳）	(27) 44.4	29.6	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	25.9
（現在非投資者） 投資関心別	関心層	(127) 63.0	34.6	16.5	9.4	3.1	0.8	3.1	1.6	14.2
	中間層	(48) 68.8	18.8	6.3	2.1	2.1	0.0	2.1	0.0	12.5
	非関心層	(75) 61.3	21.3	4.0	5.3	2.7	0.0	1.3	0.0	21.3
金融リテラシー別	高リテラシー層	(125) 64.0	38.4	37.6	6.4	4.8	1.6	2.4	1.6	6.4
	中間層	(234) 64.5	26.5	22.6	6.4	2.6	5.6	1.7	1.3	13.2
	低リテラシー層	(165) 56.4	14.5	7.9	1.8	3.6	0.0	2.4	0.0	28.5
自身の有無 家庭	配偶者、パートナー・ 婚約者、自分の子あり	(173) 63.0	33.5	23.1	2.3	3.5	4.6	0.6	1.7	12.7
	上記以外	(351) 61.3	21.7	20.8	6.3	3.4	2.0	2.8	0.6	18.2

4. 生活やお金に関する価値観・意識

(6) お金について他者と話をすることがあるか／お金のどんな話をするか 〔Q11:複数回答〕(家族：Q3回答者／会社の同僚：有職者)

- お金について、誰とどのようなことを話すかを尋ねた。
『親(実父・実母)』では、「生活費について(お小遣いを除く)」(22.9%)、「お小遣いについて(金額、使い方など)」(22.8%)がほぼ同率で上位。「株や投資信託などの投資について(NISA・iDeCo含む)」(10.1%)は1割程度。また、「お金の話をすることはない」(49.1%)が約半数。
『兄弟・姉妹』『祖父母』では、「お金の話をすることはない」が7割以上と高い。〔図4-16〕
- 『夫・妻』は、「生活費について(お小遣いを除く)」(56.6%)が最も高く、これに「将来必要なお金について(進学、結婚、出産、教育など)」(44.9%)、「貯蓄について(預貯金、財形など)」(41.8%)が40%以上で続く。「株や投資信託などの投資について(NISA・iDeCo含む)」は、33.2%と3割以上。〔図4-16〕
- 『パートナー・婚約者』では、「生活費について(お小遣いを除く)」(44.4%)が最も高く、次いで「お小遣いについて(金額、使い方など)」(33.2%)が高い。「株や投資信託などの投資について(NISA・iDeCo含む)」は、22.4%となっている。〔図4-16〕
- 『友人』『会社の同僚』では、「お金の話をすることはない」が6～7割と高いが、『友人』では「お小遣いについて(金額、使い方など)」「生活費について(お小遣いを除く)」、『会社の同僚』では「株や投資信託などの投資について(NISA・iDeCo含む)」がそれぞれ1割強ほどみられる。〔図4-16〕

〔図 4-16〕

お小遣いにつ 生活費につ 将来必要な 貯蓄について 株や投資信 保険・共済に 奨学金・ロー FIRE(経済 それ以外のお お金の話をす
いて(金額、 いて(お小 にお金につい (預貯金、 託などの投資 ついて ン・借入金に 的な自立によ 金の話につい ことはない
使い方など) 遣いを除く) (進学、結 財形など) について について 早期リタイ て 金の話につい はない
婚、出産、教 育など) (NISA・ iDeCo含 む)

n=

(%)

関係者	n	お小遣いについて(金額、使い方など)	生活費について(お小遣いを除く)	将来必要なお金について(進学、結婚、出産、教育など)	貯蓄について(預貯金、財形など)	株や投資信託などの投資について(NISA・iDeCo含む)	保険・共済について	奨学金・ローン・借入金について	FIRE(経済的な自立による早期リタイア)について	それ以外のお金の話について	お金の話をすることはない
親(実父・実母)	(2523)	22.8	22.9	13.6	14.2	10.1	6.5	6.9	1.6	5.4	49.1
兄弟・姉妹	(1699)	10.9	7.5	5.2	5.1	6.2	1.5	2.4	1.5	3.1	72.7
祖父母	(724)	9.0	5.2	3.7	4.1	3.0	3.6	1.8	0.8	2.9	78.3
夫・妻	(419)	38.2	56.6	44.9	41.8	33.2	24.3	15.8	7.6	8.4	21.0
パートナー・婚約者	(205)	33.2	44.4	27.8	25.9	22.4	10.7	6.8	2.4	5.4	26.8
友人	(3000)	13.5	11.6	8.5	7.3	9.2	2.6	2.7	2.1	3.5	63.0
会社の同僚	(1560)	5.2	7.0	7.4	6.0	10.6	2.1	1.5	2.4	1.6	72.4

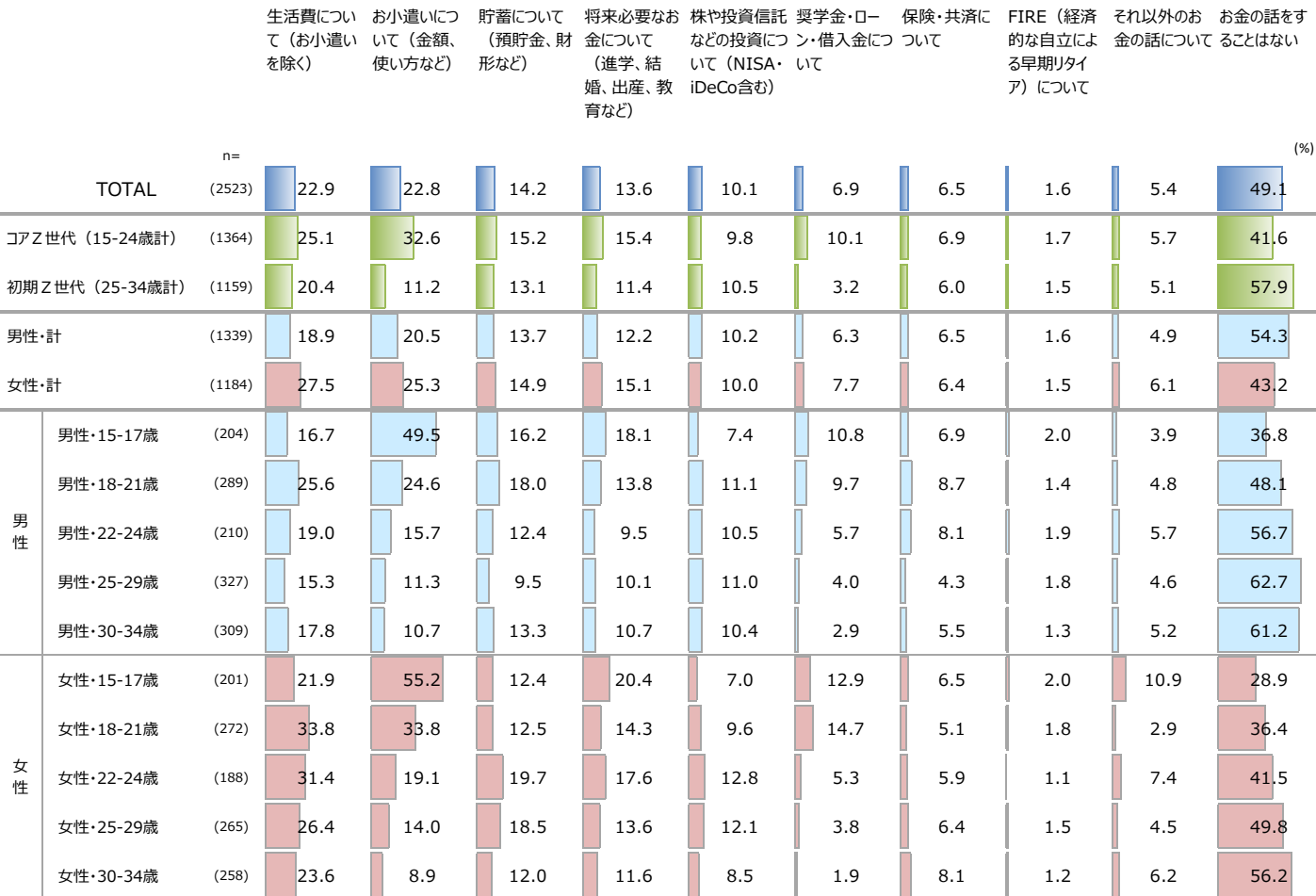
1～3位

4. 生活やお金に関する価値観・意識

(6) お金について他者と話をすることがあるか／お金のどんな話をするか 〔Q11:複数回答〕①親（実父・実母）（Q3回答者）

- 『親（実父・実母）』とするお金の話について属性別にみると、世代別ではコアZ世代で「お小遣いについて（金額、使い方など）」（32.6%）が最も高く、初期Z世代に比べても21.4ポイント高い。「奨学金、ローン・借入金について」（10.1%）もコアZ世代の方が6.9ポイント高い。一方、初期Z世代では「お金の話をすることはない」（57.9%）が6割弱を占め、コアZ世代と比べても16.3ポイント高い。〔図4-17〕
- 性別では、男性の方が女性より「お金の話をすることはない」（54.3%）が11.1ポイント上回る。また、男女ともに年齢が上がるにつれてこの比率が高くなる傾向。これと逆の形で、「お小遣いについて（金額、使い方など）」、「生活費について（お小遣いを除く）」（主に18歳以上）は、男女ともに年齢が上がるほど低くなる傾向。「株や投資信託などの投資について（NISA・iDeCo含む）」は、男性は18歳以上、女性は22-24歳、25-29歳で1割強となっている。〔図4-17〕
- 投資経験別では、「株や投資信託などの投資について（NISA・iDeCo含む）」は、現在投資者は現在非投資者に比べて比率が高く、投資商品認知者（15-17歳）でも1割程度みられる。〔図4-18〕

〔図 4-17〕

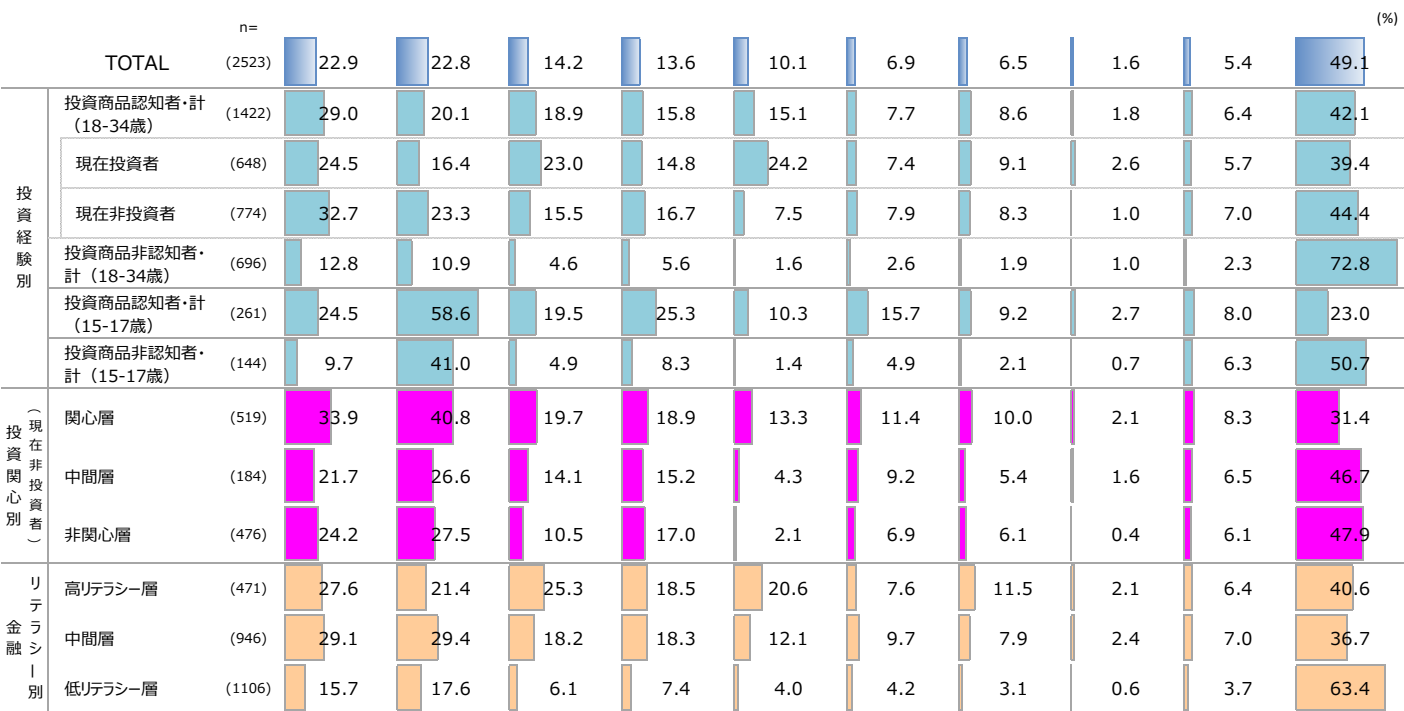


4. 生活やお金に関する価値観・意識

(6) お金について他者と話をすることがあるか／お金のどんな話をするか 〔Q11:複数回答〕①親（実父・実母）（Q3回答者）

〔図 4-18〕

生活費について（お小遣いを除く）
お小遣いについて（金額、使い方など）
貯蓄について（預貯金、財形など）
将来必要なお金について（進学、結婚、出産、教育など）
株や投資信託などの投資について（NISA・iDeCo含む）
奨学金・ローン・借入金について
保険・共済について
FIRE（経済的な自立による早期リタイア）について
それ以外のお金の話について
お金の話をすることはない

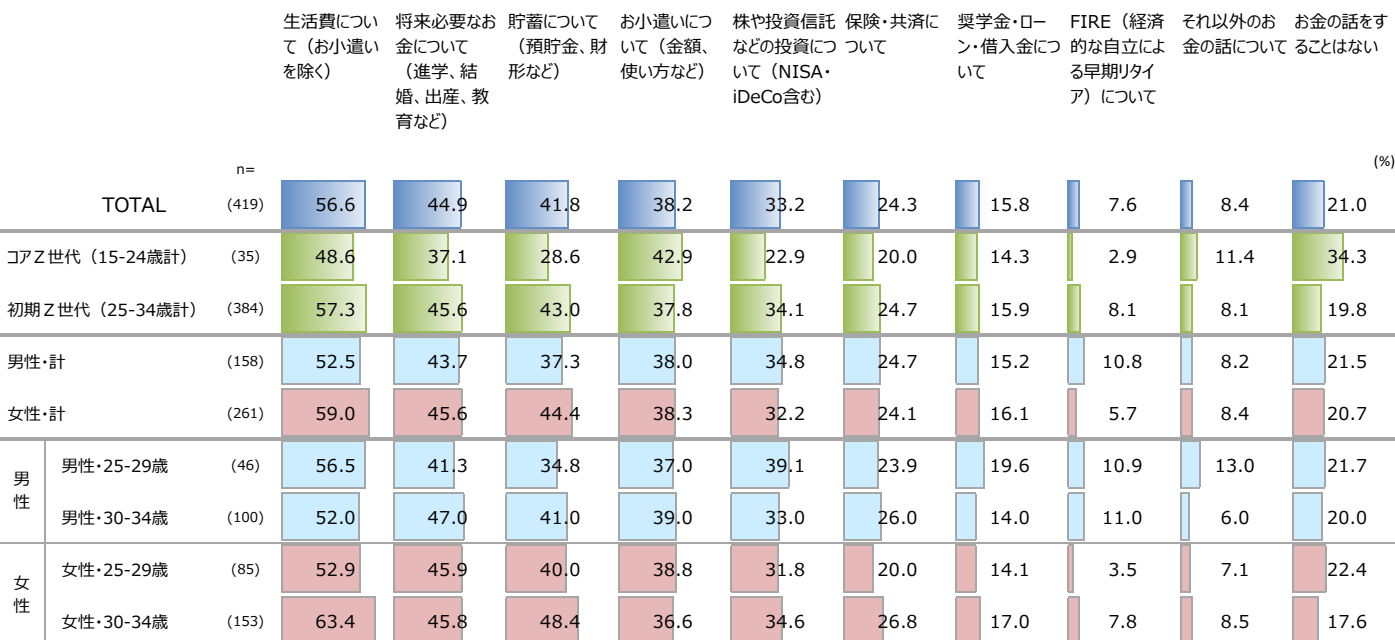


4. 生活やお金に関する価値観・意識

(6) お金について他者と話をすることがあるか／お金のどんな話をするか 〔Q11:複数回答〕②夫・妻 (Q3回答者)

- 『夫・妻』とするお金の話について、属性別にみると、性×年齢別では、女性・30-34歳は「生活費について（お小遣いを除く）」「貯蓄について（預貯金、財形など）」が特に高い。男性・25-29歳は「将来必要なお金について（進学、結婚、出産、教育など）」はやや低いが、「株や投資信託などの投資について（NISA・iDeCo含む）」は他層に比べてやや高い。（世代別はサンプル差が大きいためコメントを割愛）〔図4-19〕
- 投資経験別では、「株や投資信託などの投資について（NISA・iDeCo含む）」は現在投資者で高く、投資関心別（現在非投資者）の関心層や金融リテラシー別の高リテラシー層でも高い。高リテラシー層では、「FIRE（経済的な自立による早期リタイア）」についても他層に比べて高い。投資経験別、投資関心別（現在非投資者）、金融リテラシー別いずれでも、該当率が40～60%程度ある項目が多くみられる。〔図4-20〕

〔図 4-19〕

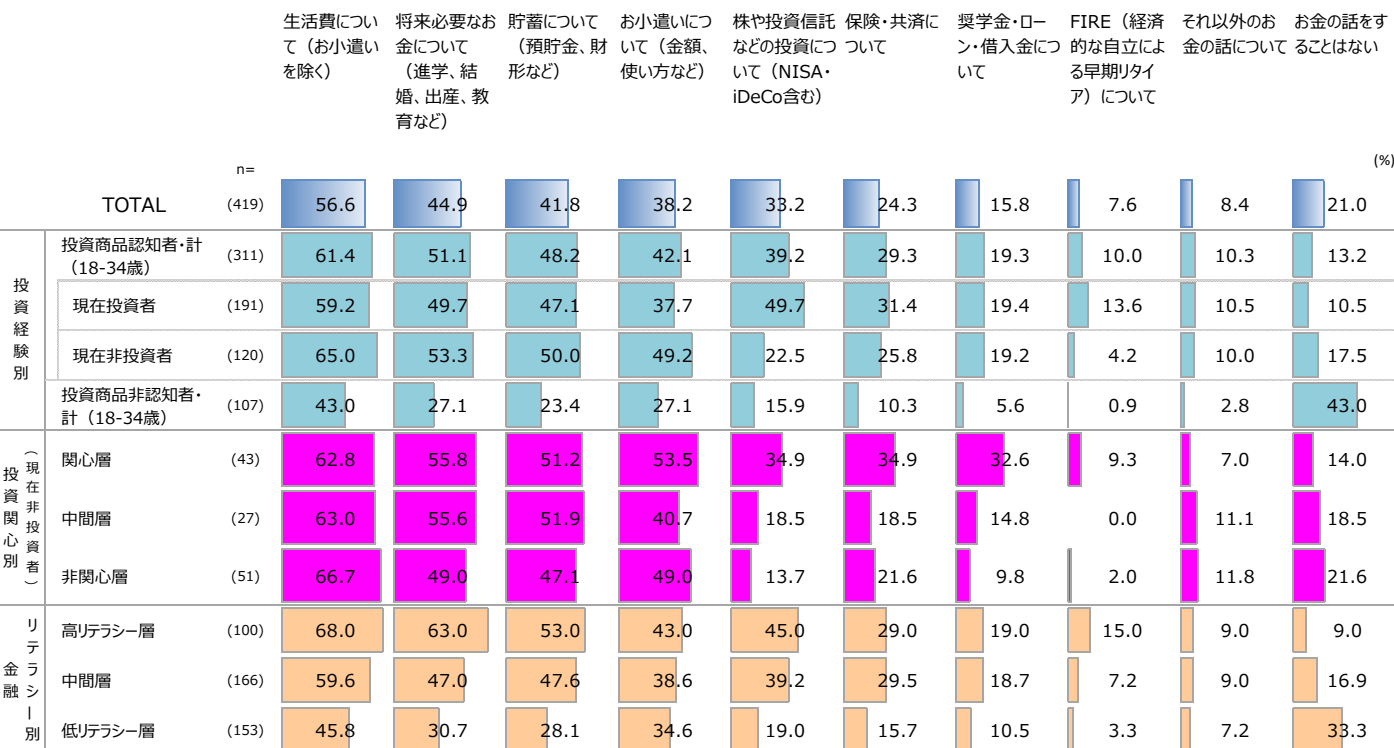


※ 24歳以下はサンプル数が少ないため表示を割愛

4. 生活やお金に関する価値観・意識

(6) お金について他者と話をすることがあるか／お金のどんな話をするか 〔Q11:複数回答〕②夫・妻 (Q3回答者)

〔図 4-20〕



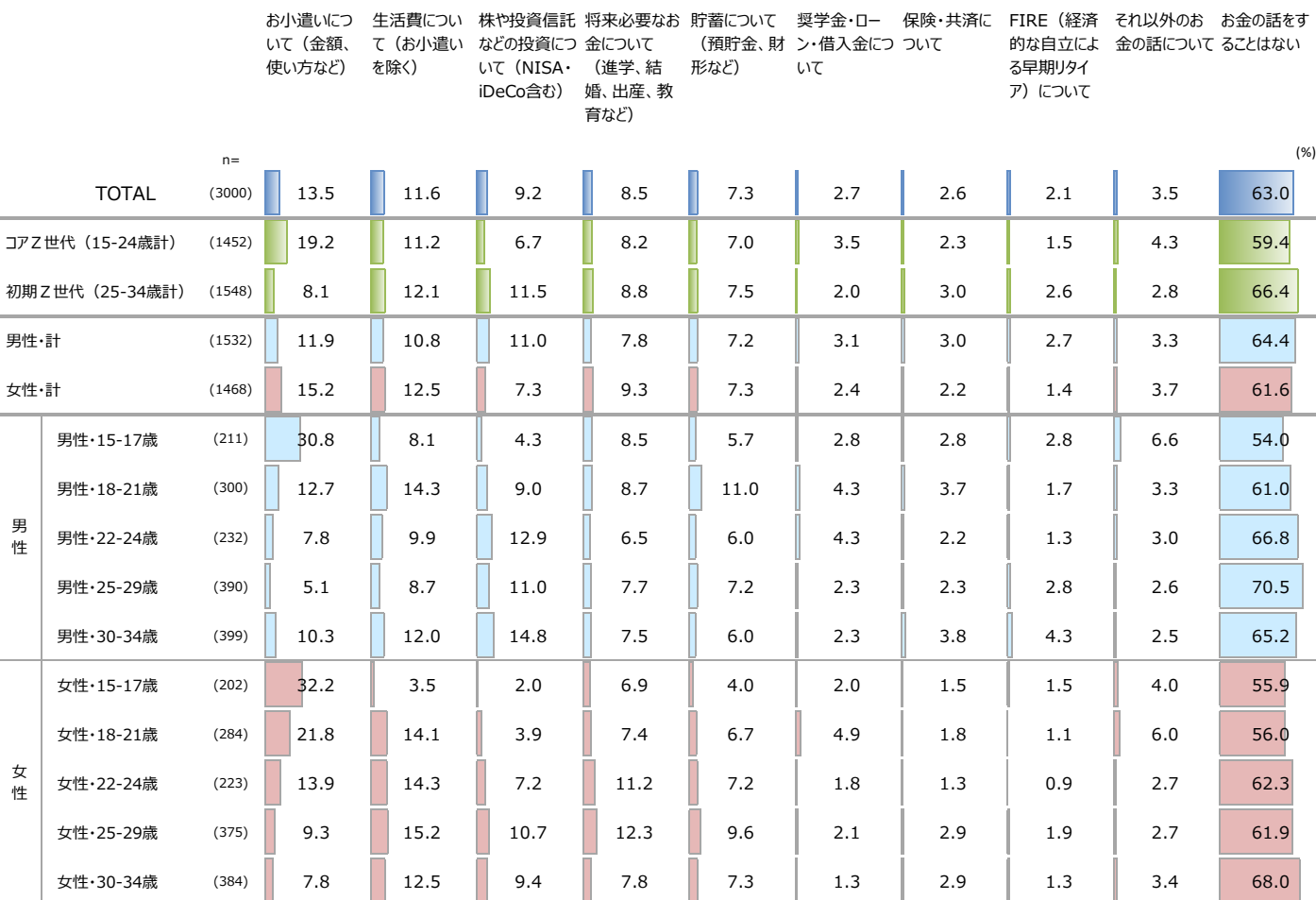
※ 投資経験別の17歳以下はサンプル数が少ないため表示を割愛

4. 生活やお金に関する価値観・意識

(6) お金について他者と話をすることがあるか／お金のどんな話をするか 〔Q11:複数回答〕③友人

- 『友人』とするお金の話について属性別にみると、世代別ではコアZ世代で「お小遣いについて（金額、使い方など）」（19.2%）が最も高く、初期Z世代に比べても11.1ポイント高い。一方、初期Z世代ではコアZ世代に比べて「お金の話をすることはしない」が7.0ポイント高い。〔図4-21〕
- 性×年齢別では、男女ともに15-17歳で「お小遣いについて（金額、使い方など）」が特に高く、「生活費について（お小遣いを除く）」は女性・22-24歳と25-29歳は男性の同年齢に比べてやや高い。「株や投資信託などの投資について（NISA・iDeCo含む）」は、男性は年齢が上がるにつれて比率が高くなる傾向で、30-34歳では14.8%となる。一方、女性は25-29歳の10.7%がピークでそれ以外の年齢では1割未満。〔図4-21〕
- 投資経験別では、「株や投資信託などの投資について（NISA・iDeCo含む）」は、現在投資者で高く、金融リテラシー別の高リテラシー層でも他層に比べて高い。〔図4-22〕

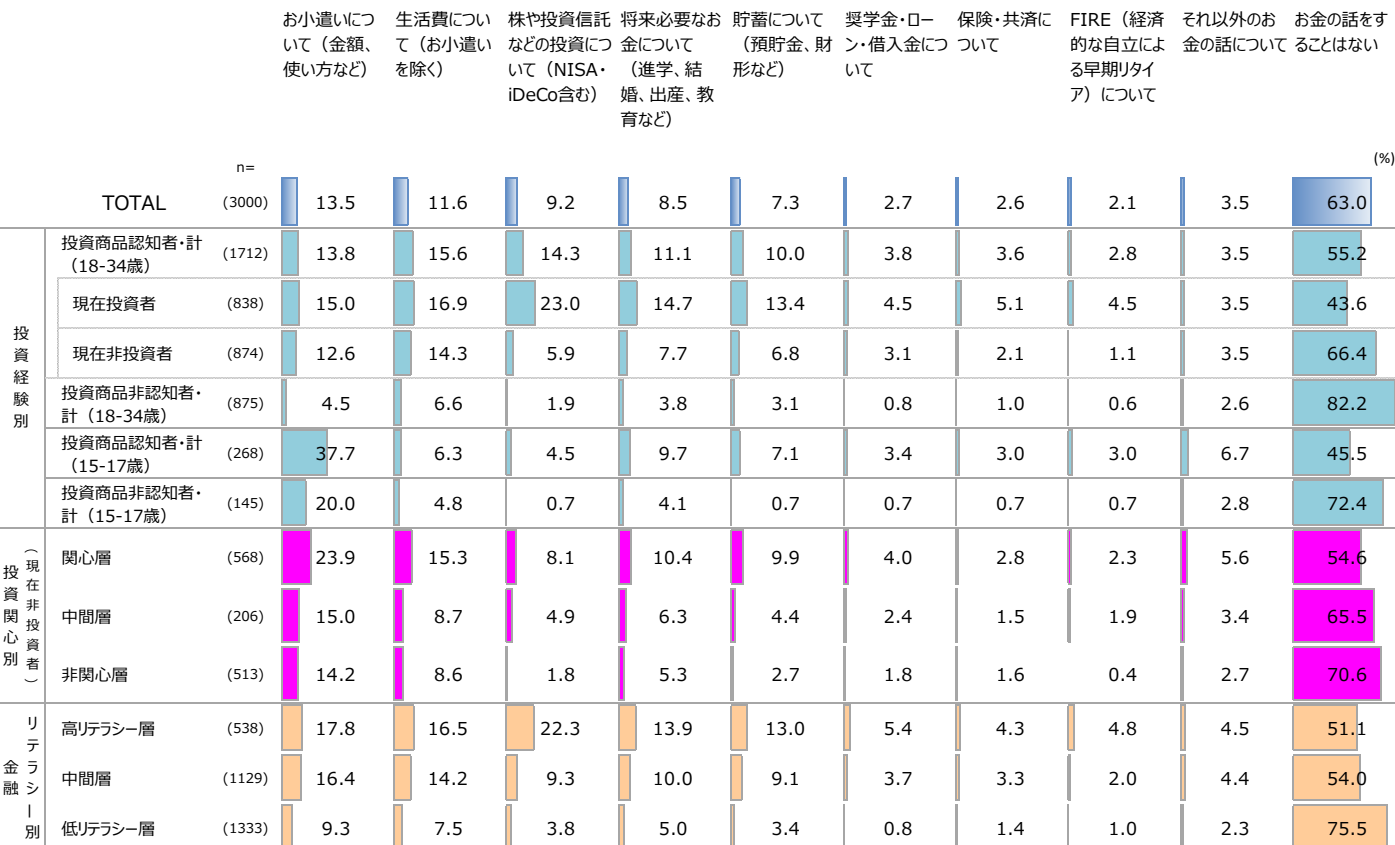
〔図 4-21〕



4. 生活やお金に関する価値観・意識

(6) お金について他者と話をすることがあるか／お金のどんな話をするか 〔Q11:複数回答〕③友人

〔図 4-22〕



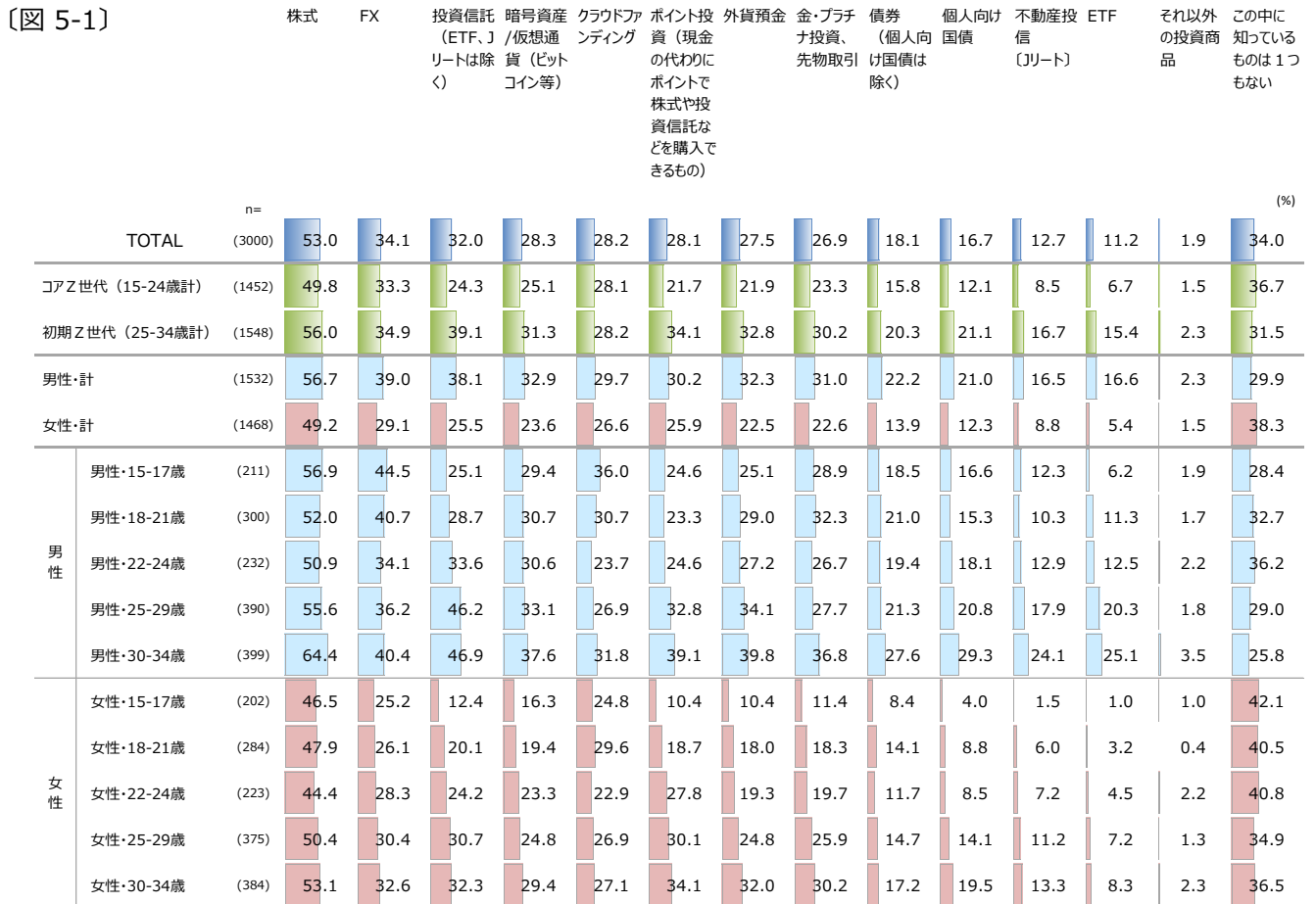
5. 投資に対する認識・知識



5. 投資に対する認識・知識

(1) 投資商品・方法認知〔Q12:複数回答〕

- 知っている投資商品・方法について、回答者全体では、「株式」(53.0%)、「FX」(34.1%)、「投資信託 (ETF、リートは除く)」(32.0%) が上位。これに、「暗号資産/仮想通貨 (ビットコイン等)」(28.3%)、「クラウドファンディング」(28.2%)、「ポイント投資 (現金の代わりにポイントで株式や投資信託などを購入できるもの)」(28.1%) がほぼ同率で続く。〔図5-1〕
- 世代別では、初期Z世代の方がコアZ世代より高いものが多く、「投資信託」「ポイント投資」「外貨預金」は、初期Z世代の方が10ポイント以上上回る。〔図5-1〕
- 性別では、全ての項目で男性の方が女性より認知率が高く、「この中に知っているものは1つもない」は女性が男性を8.4ポイント上回る。性×年齢別では、男性よりも女性の方が、「投資信託」をはじめ多くの商品項目で年齢が低いほど認知率が低くなる。〔図5-1〕
- 投資経験別では、現在投資者で「投資信託」「ETF」が他層より高い。一方、投資関心別 (現在非投資者) の非関心層では、「投資信託」が他層に比べて低い。さらに、投資意識別の投資拒否層では「投資信託」「ETF」「不動産投資 (リート)」が他層に比べて低い。〔図5-2〕
- ふだん親と『投資の話をする』人では、「株式」に次いで、2番目に「投資信託」が高い。また、お金と生活の価値観で『人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい』人、『お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい』人ともに「投資信託」の認知率は4割強。投資イメージで『ポジティブなイメージのみ』回答した人は「株式」「投資信託」の認知率が高いが、『ネガティブなイメージのみ』の人は「投資信託」「ETF」「不動産投資信託 (リート)」の認知率が特に低い。〔図5-2〕



5. 投資に対する認識・知識

(1) 投資商品・方法認知〔Q12:複数回答〕

〔図 5-2〕

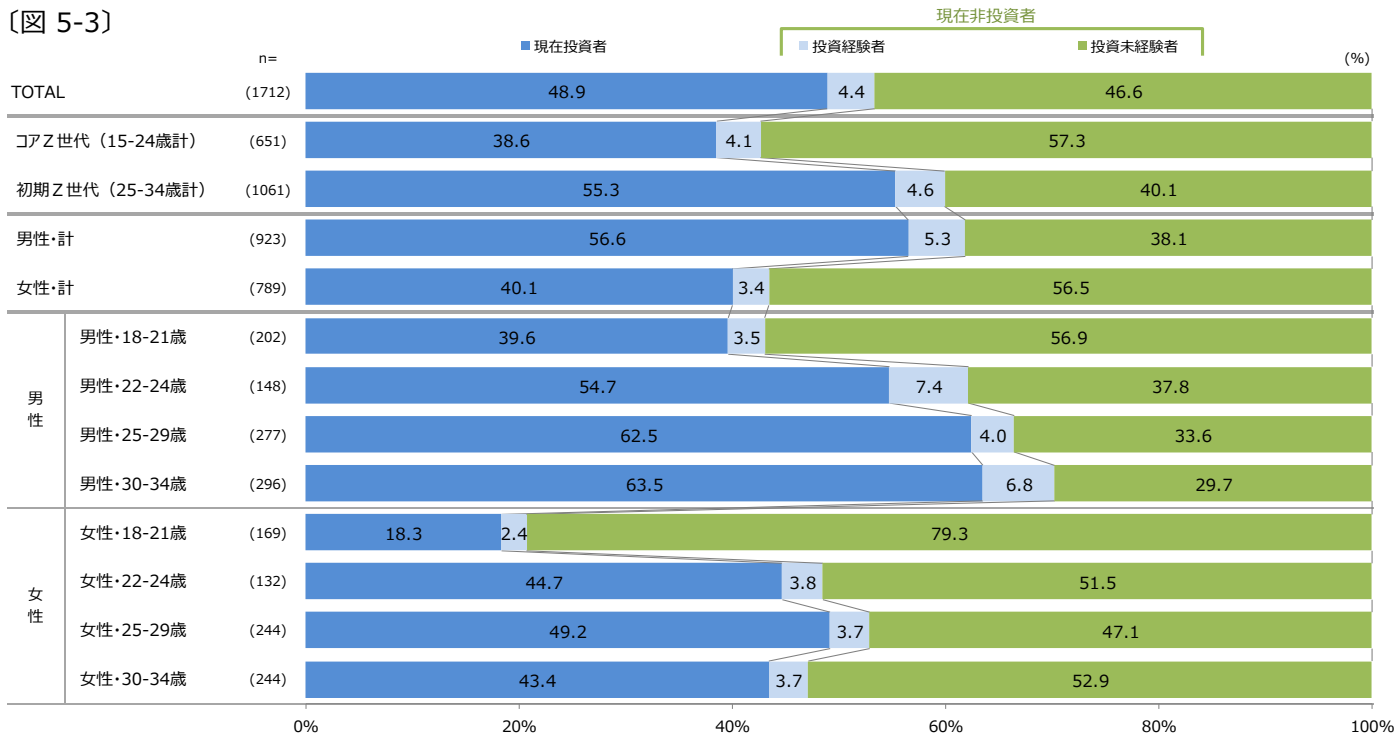
		株式	FX	投資信託 (ETF、J リートは除 く)	暗号資産 (仮想通貨 コイン等)	クラウドフ ンディング	ポイント投 資(現金 の代わりに ポイントで 株式や投 資信託な どを購入で きるもの)	外貨預金	金・プラチ ナ投資、 先物取引	債券 (個人向 け国債は 除く)	個人向け 国債	不動産投 信 (リート)	ETF	それ以外 の投資商 品	この中 に知って いるもの は1つ もない	
TOTAL		n= (3000)	53.0	34.1	32.0	28.3	28.2	28.1	27.5	26.9	18.1	16.7	12.7	11.2	1.9	34.0
投資 経 験 別	投資商品認知者・計 (18-34歳)	(1712)	80.4	51.3	51.5	44.1	42.0	45.0	43.9	42.2	28.5	26.8	20.6	18.7	3.0	0.0
	現在投資者	(838)	77.7	43.6	64.1	43.1	35.6	52.5	49.3	42.1	32.7	32.5	26.6	30.8	5.0	0.0
	現在非投資者	(874)	83.0	58.8	39.4	45.1	48.2	37.8	38.8	42.3	24.5	21.3	14.9	7.1	1.0	0.0
	投資商品非認知者・計 (15-17歳)	(875)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	投資商品認知者・計 (15-17歳)	(268)	79.9	54.1	29.1	35.4	47.0	27.2	27.6	31.3	20.9	16.0	10.8	5.6	2.2	0.0
	投資商品非認知者・計 (15-17歳)	(145)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
投資 関 心 別 (現在 非 投資 者)	関心層	(568)	80.3	56.0	42.8	43.8	47.5	39.6	41.2	42.8	26.1	23.8	16.0	6.9	1.6	6.3
	中間層	(206)	69.9	47.6	31.1	35.0	36.4	25.2	24.8	30.6	19.4	15.5	10.7	6.8	0.5	10.2
	非関心層	(513)	66.1	47.4	22.4	32.7	39.4	24.6	25.0	28.8	16.0	12.1	9.0	4.7	1.0	17.2
金融 シ ー 別	高リテラシー層	(538)	87.5	59.7	72.3	61.3	50.2	61.2	56.5	55.2	45.9	44.4	33.3	33.6	4.6	3.9
	中間層	(1129)	64.6	42.1	37.0	34.2	35.8	31.4	32.8	33.4	19.6	18.5	12.8	10.3	1.9	18.5
	低リテラシー層	(1333)	29.3	17.1	11.4	10.1	12.8	11.9	11.4	10.0	5.7	4.0	4.4	2.9	0.8	59.3
投資 意 識 別	積極投資・短期投資 意向層	(753)	41.7	24.7	30.7	22.3	19.4	24.0	24.2	20.7	16.7	15.4	12.7	15.9	2.7	44.6
	長期投資意向層	(1312)	68.1	44.4	44.4	37.0	36.3	38.6	37.5	36.4	24.4	23.2	17.3	14.2	2.2	17.2
	投資拒否層	(935)	41.0	27.3	15.6	21.0	23.9	16.7	16.3	18.6	10.5	8.6	6.3	3.1	0.9	49.0
ふ だ ん 親 と お 金 の 話 を す る か	投資の話をする	(255)	78.0	58.8	63.5	56.1	49.0	54.5	52.9	55.3	43.1	37.6	33.7	32.5	5.5	5.1
	将来のお金、貯蓄・保険・ 奨学金などの話をする	(583)	66.6	40.1	33.8	34.1	39.1	33.3	33.8	33.3	21.3	21.6	12.7	9.3	1.9	19.6
	おごつかい・生活費の 話をする	(446)	55.4	36.3	28.5	26.9	29.8	26.9	27.4	25.1	17.0	12.3	11.0	7.8	0.9	29.8
	お金の話をするこは ない	(1239)	44.3	30.3	27.0	23.2	21.8	22.3	20.7	21.4	13.9	13.2	9.2	8.3	1.0	46.8
生 活 の 備 え 観 念	人よりもお金をできる だけ多く稼ぎたい	(360)	65.6	42.2	42.2	38.3	36.1	35.6	35.8	34.7	25.8	20.8	18.9	16.4	3.9	23.1
	お金に振り回されない程度 に平均的な生活を送りたい	(468)	66.7	45.3	42.1	40.2	36.3	38.5	35.3	38.7	25.0	23.1	17.1	12.4	3.0	20.1
	お金は生活に困らない程度 に最低限確保できればよい	(179)	49.7	29.6	24.0	21.2	22.9	22.9	27.4	19.6	14.0	16.2	10.6	10.6	1.1	30.7
投 資 イ メ ー ジ	ポジティブなイメージ のみ	(516)	57.9	28.9	45.7	27.5	23.4	30.8	30.8	26.4	21.1	20.9	17.2	21.5	3.9	20.0
	ネガティブなイメージ のみ	(940)	49.0	32.7	22.3	23.6	24.3	22.3	22.9	23.1	14.3	12.2	9.0	5.6	1.0	37.2
	ポジ・ネガ両方あり	(1044)	73.0	50.9	46.1	44.3	45.0	42.6	40.2	40.8	27.2	24.9	18.4	14.8	2.2	14.8

5. 投資に対する認識・知識

(2) 投資実施有無と投資している商品〔Q13:複数回答〕

①投資実施有無（18歳以上の投資商品認知者）

- 18-34歳の投資商品認知者での投資実施状況は、「現在投資者」が48.9%。「投資経験者」(4.4%)と「投資未経験者」(46.6%)を合わせた『現在非投資者』は、投資商品認知者のうち51.0%。〔図5-3〕
- 世代別では、「現在投資者」は初期Z世代がコアZ世代を16.7ポイント上回る。〔図5-3〕
- 性別では、「現在投資者」は男性が女性を16.5ポイント上回る。男性は年齢が上がるごとに「現在投資者」の比率が増加するが、女性では25-29歳が49.2%で最も高く、30-34歳では低下。〔図5-3〕
- 投資意識別では、積極投資・短期投資意向層での「現在投資者」比率が高い。〔図5-4〕
- ふだん親と『投資の話をする』人でもそれ以外の層と比べて「現在投資者」比率が高い。また、『人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい』人は「現在投資者」が半数超である一方、『お金の振り回されない程度に平均的な生活を送りたい』人は『現在非投資者』が約6割と高い。投資イメージで『ポジティブなイメージのみ』と『ネガティブなイメージのみ』回答した人では、「現在投資者」比率に2倍以上の開きがある。〔図5-4〕

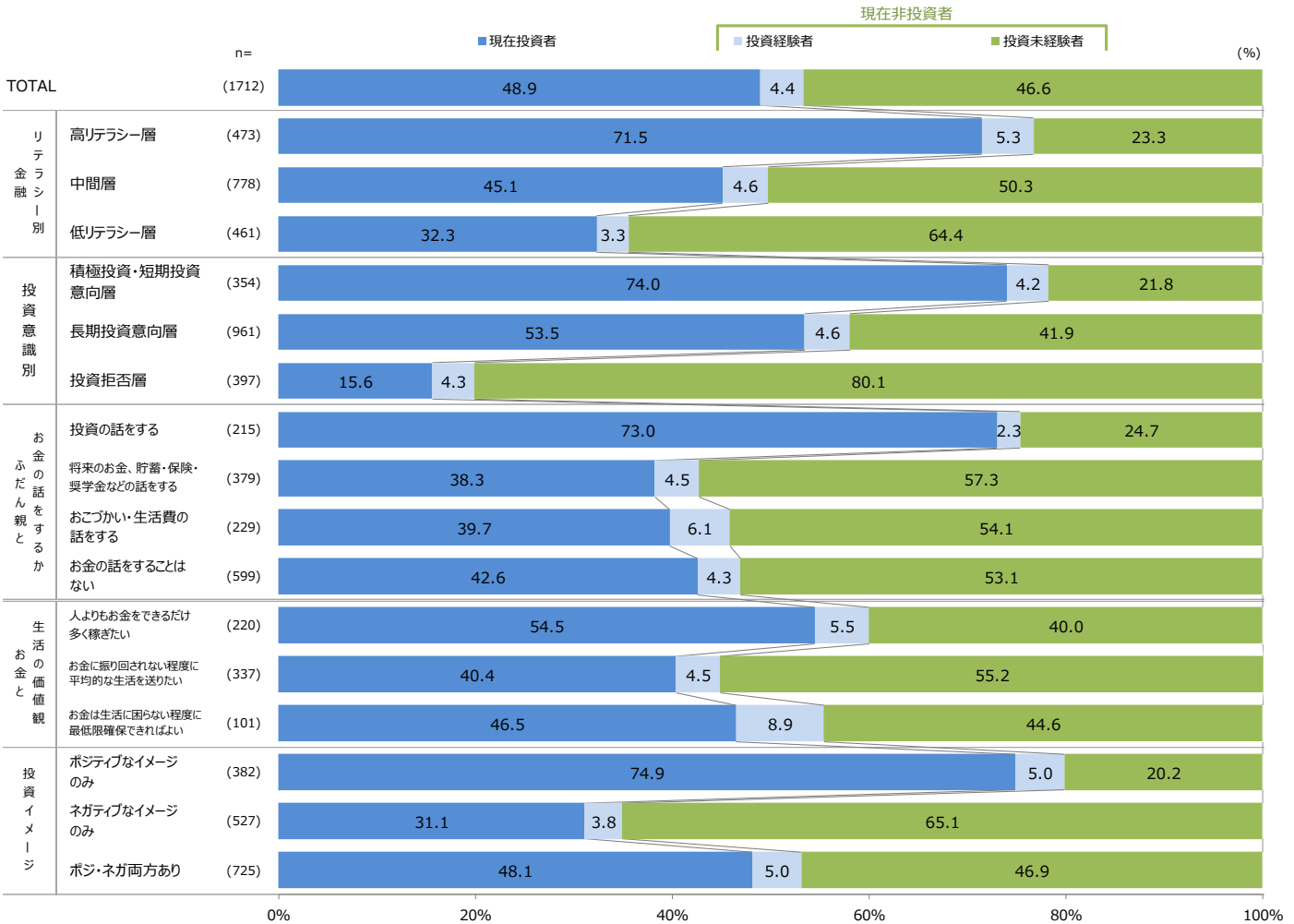


5. 投資に対する認識・知識

(2) 投資実施有無と投資している商品〔Q13:複数回答〕

①投資実施有無（18歳以上の投資商品認知者）

〔図 5-4〕



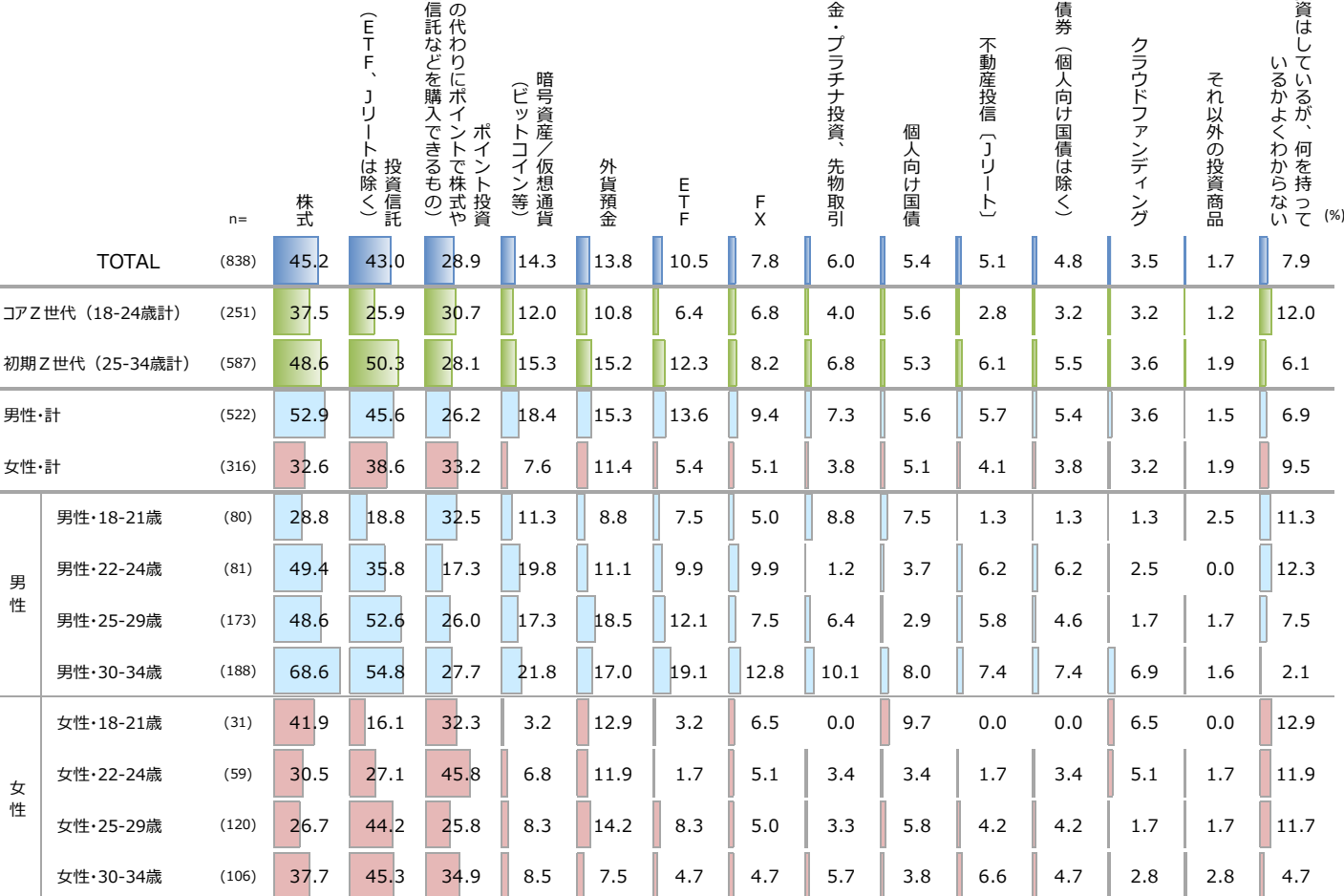
5. 投資に対する認識・知識

(2) 投資実施有無と投資している商品〔Q13:複数回答〕

②投資している商品（18歳以上の現在投資者）

- 現在投資者の投資商品は、「株式」（45.2%）、「投資信託（ETF、Jリートは除く）」（43.0%）が中心だが、これに「ポイント投資（現金の代わりにポイントで株式や投資信託などを購入できるもの）」（28.9%）が続く。〔図5-5〕
- 世代別では、初期Z世代は「投資信託」（50.3%）が最も高く、コアZ世代の約2倍の比率である。また、「株式」（48.6%）も初期Z世代の方が11.1ポイント高い。〔図5-5〕
- 性別では、男性は「株式」「投資信託」をはじめとして多くの商品で保有率が女性より高いが、「ポイント投資」は女性の方が7.0ポイント高く、特に22-24歳で高い。「投資信託」は男女ともに年齢が上がるほど保有率が高くなる。〔図5-5〕
- 金融リテラシー別では、高リテラシー層の投資実施率が多くの商品において高いが、中でも「投資信託」が高い。「ポイント投資」は他の商品と比べて、リテラシーによる差が小さい。〔図5-6〕
- ふだん親と『投資の話をする』人では、「株式」「投資信託」「FX」の比率が他層に比べて高い。また、『人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい』人、『お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい』人ともに「投資信託」の投資実施率は4割台で同程度。投資イメージで『ポジティブなイメージのみ』回答した人では「株式」「投資信託」の投資実施率が高く、『ポジ・ネガ両方あり』の人では「ポイント投資」が他層に比べて高い。〔図5-6〕

〔図5-5〕



5. 投資に対する認識・知識

(2) 投資実施有無と投資している商品〔Q13:複数回答〕

②投資している商品（18歳以上の現在投資者）

〔図 5-6〕

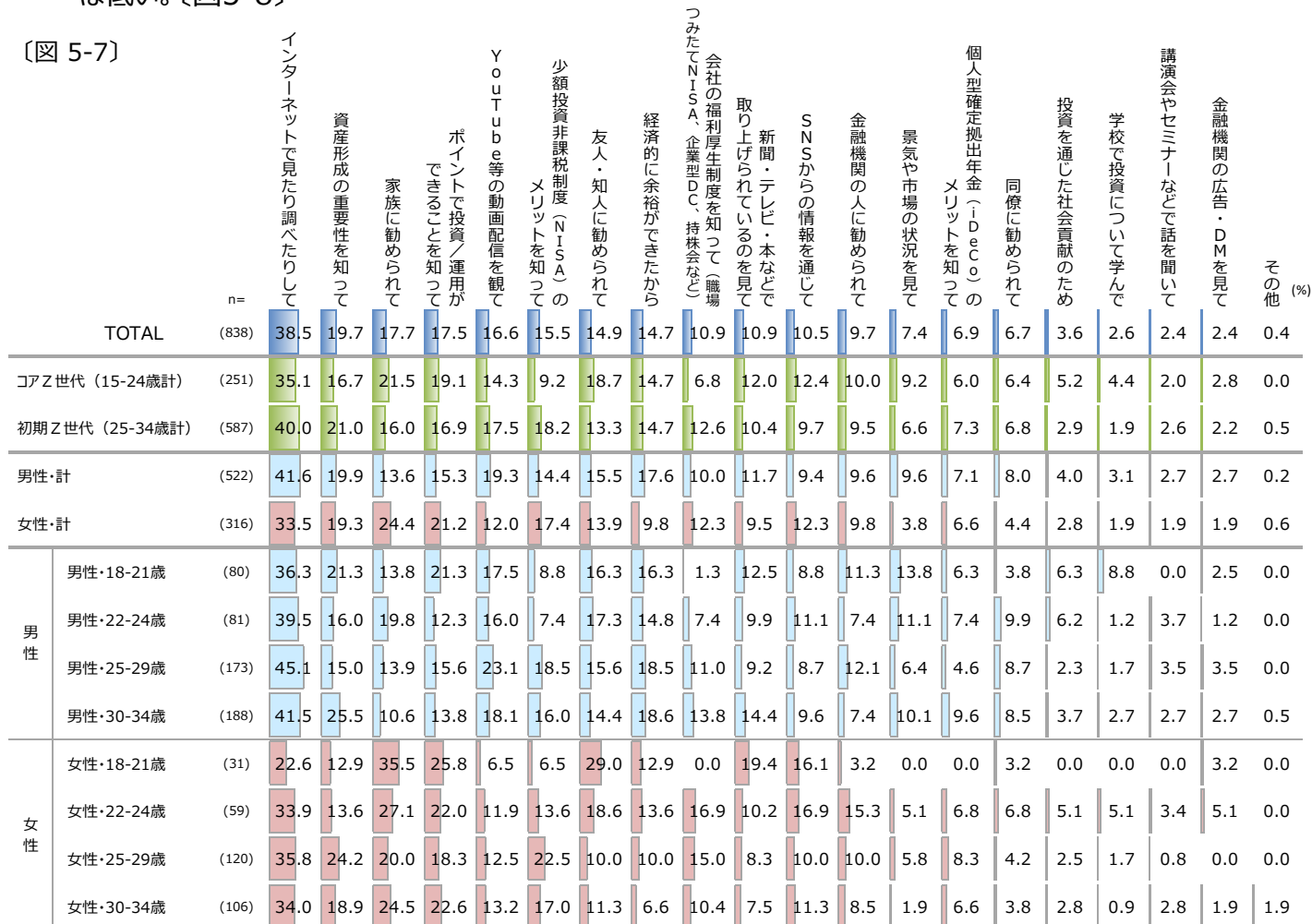
		n=	株式	投資信託 (ETF、Jリートは除く)	ポイント投資 (現金の代わりにポイントで株式や 投資信託などを購入できるもの)	暗号資産／仮想通貨 (ビットコイン等)	外貨預金	ETF	FX	金・プラチナ投資、先物取引	個人向け国債	不動産投信（Jリート）	債券 (個人向け国債は除く)	クラウドファンディング	それ以外の投資商品	投資はしているが、何を持って いるかよくわからない (%)
TOTAL		(838)	45.2	43.0	28.9	14.3	13.8	10.5	7.8	6.0	5.4	5.1	4.8	3.5	1.7	7.9
金融 リテラシー別	高リテラシー層	(338)	53.8	61.8	34.0	20.4	13.0	17.2	9.8	7.7	6.5	6.5	7.1	3.8	1.5	3.3
	中間層	(351)	42.7	32.8	25.9	12.3	16.0	7.1	7.4	5.1	6.0	4.6	4.0	4.3	1.7	9.7
	低リテラシー層	(149)	31.5	24.2	24.2	5.4	10.7	3.4	4.0	4.0	1.3	3.4	1.3	0.7	2.0	14.1
投資意識別	積極投資・短期投資意向層	(262)	56.1	54.6	28.6	18.3	16.8	15.3	9.2	8.0	6.5	4.6	5.3	3.8	1.5	6.9
	長期投資意向層	(514)	42.4	40.7	28.6	12.5	11.9	8.6	7.2	4.9	4.5	4.9	4.5	2.9	1.6	7.8
	投資拒否層	(62)	22.6	12.9	32.3	12.9	17.7	6.5	6.5	6.5	8.1	9.7	4.8	6.5	3.2	12.9
お金の話を ふだん親と するかどうか	投資の話をする	(157)	54.1	49.7	33.1	16.6	15.9	10.8	13.4	8.3	7.0	5.1	6.4	5.1	1.3	4.5
	将来のお金、貯蓄・保険・奨学金などの話をする	(145)	41.4	39.3	31.0	10.3	20.0	4.8	6.2	6.9	6.2	4.1	6.2	4.8	3.4	9.0
	おこづかい・生活費の話をする	(91)	46.2	37.4	33.0	11.0	18.7	7.7	7.7	3.3	4.4	6.6	4.4	2.2	0.0	7.7
	お金の話をすることは ない	(255)	46.3	46.7	27.1	14.9	7.1	10.6	6.3	2.7	3.5	3.1	0.8	1.6	1.2	7.1
お金の 価値観	人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい	(120)	53.3	45.8	30.8	26.7	15.8	11.7	15.0	10.0	5.8	8.3	6.7	5.0	2.5	8.3
	お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい	(136)	34.6	46.3	30.9	14.0	4.4	6.6	5.9	2.9	2.9	5.1	2.9	1.5	2.2	8.8
	お金は生活に困らない程度に最低限確保できればよい	(47)	44.7	34.0	21.3	8.5	23.4	10.6	6.4	2.1	6.4	2.1	8.5	0.0	0.0	10.6
投資イメージ	ポジティブなイメージのみ	(286)	51.4	51.4	21.0	15.7	14.3	12.9	7.3	6.6	7.7	5.2	5.2	3.8	1.7	7.0
	ネガティブなイメージのみ	(164)	43.9	30.5	25.6	6.7	17.7	6.1	4.9	5.5	4.3	4.9	1.8	2.4	1.8	11.6
	ポジ・ネガ両方あり	(349)	39.8	43.6	39.0	16.9	12.6	10.6	9.2	6.3	4.3	5.2	6.0	4.0	1.4	6.9

5. 投資に対する認識・知識

(3) 投資を始めたきっかけ〔Q14:複数回答〕 (18歳以上の現在投資者)

- 現在投資者の投資を始めたきっかけは、「インターネットで見たり調べたりして」(38.5%)が最も高い。このほか、「資産形成の重要性を知って」(19.7%)、「家族に勧められて」(17.7%)、「ポイントで投資/運用ができることを知って」(17.5%)、「YouTube等の動画配信を観て」(16.6%)等が上位。〔図5-7〕
- 世代別では、コアZ世代は「家族に勧められて」(21.5%)は5.5ポイント、「友人・知人に勧められて」(18.7%)は5.4ポイント、初期Z世代より高い。一方、初期Z世代はコアZ世代と比べて「少額投資非課税制度(NISA)のメリットを知って」(18.2%)は9.0ポイント、「会社の福利厚生制度を知って(職場つみたてNISA、企業型DC、持株会など)」(12.6%)が5.8ポイント高い。〔図5-7〕
- 金融リテラシー別では、高リテラシー層は「インターネットで見たり調べたりして」「資産形成の重要性を知って」「YouTube等の動画配信を観て」「少額投資非課税制度(NISA)のメリットを知って」、中間層は「家族に勧められて」「友人・知人に勧められて」「同僚に勧められて」、低リテラシー層でも人からの勧めの項目が高い傾向。〔図5-8〕
- 投信等保有状況別では、『投資信託・ETF・リートいずれか1つ以上回答あり』の人は、「インターネットで見たり調べたりして」「資産形成の重要性を知って」がきっかけの上位。『ポイント投資のみ実施者』は「インターネットで見たり調べたりして」「ポイントで投資/運用ができることを知って」が高いがそれ以外では低い。〔図5-8〕

〔図5-7〕



5. 投資に対する認識・知識

(3) 投資を始めたきっかけ〔Q14:複数回答〕 (18歳以上の現在投資者)

〔図 5-8〕

		n=	インターネットで見たたり調べたりして	資産形成の重要性を知って	家族に勧められて	ポイントで投資/運用ができることを知って	YouTube等の動画配信を観て	少額投資非課税制度(NISA)のメリットを知って	友人・知人に勧められて	経済的に余裕ができたから	つみたてNISA、企業型DC、持株会など	会社の福利厚生制度を知って(職場)	取り上げられているのを見て	新聞・テレビ・本などで	SNSからの情報を通して	金融機関の人に勧められて	景気や市場の状況を見て	個人型確定拠出年金(iDeCo)のメリットを知って	同僚に勧められて	投資を通じた社会貢献のため	学校で投資について学んで	講演会やセミナーなどで話を聞いて	金融機関の広告・DMを見て	その他 (%)
TOTAL		(838)	38.5	19.7	17.7	17.5	16.6	15.5	14.9	14.7	10.9	10.9	10.5	9.7	7.4	6.9	6.7	3.6	2.6	2.4	2.4	0.4		
金融 リテラシー別	高リテラシー層	(338)	46.2	29.6	11.5	19.2	23.1	25.1	10.1	15.7	9.5	13.0	10.4	5.9	11.8	8.9	2.7	3.6	2.1	2.7	2.7	0.9		
	中間層	(351)	34.8	14.5	22.8	17.1	13.7	11.1	19.7	15.4	13.1	9.1	12.5	12.8	4.3	6.6	11.7	4.3	2.0	2.3	2.8	0.0		
	低リテラシー層	(149)	30.2	9.4	19.5	14.8	8.7	4.0	14.8	10.7	8.7	10.1	6.0	10.7	4.7	3.4	4.0	2.0	5.4	2.0	0.7	0.0		
投資意識別	積極投資・短期投資意向層	(262)	38.5	22.5	14.9	14.1	20.6	12.6	12.6	16.8	13.0	14.1	10.7	8.8	13.4	5.7	4.6	4.6	5.3	2.7	2.3	0.0		
	長期投資意向層	(514)	40.3	19.5	17.7	18.7	15.6	18.7	16.3	13.6	9.3	9.3	10.1	9.3	4.5	7.8	7.2	2.5	1.2	2.3	1.9	0.6		
	投資拒否層	(62)	24.2	9.7	29.0	22.6	8.1	1.6	12.9	14.5	14.5	9.7	12.9	16.1	6.5	4.8	11.3	8.1	3.2	1.6	6.5	0.0		
ふだん親とお金の話をするか	投資の話をする	(157)	35.7	25.5	33.1	20.4	17.8	22.9	15.9	15.9	14.6	15.9	12.7	14.0	10.2	8.9	7.0	7.0	1.9	2.5	4.5	0.0		
	将来のお金、貯蓄・保険・奨学金などの話をする	(145)	47.6	16.6	14.5	22.8	17.2	20.0	20.7	19.3	15.2	13.8	12.4	13.1	7.6	11.0	10.3	5.5	4.1	4.1	4.8	0.0		
	おこづかい・生活費の話をする	(91)	34.1	13.2	24.2	17.6	11.0	12.1	16.5	13.2	3.3	11.0	6.6	15.4	5.5	4.4	5.5	0.0	1.1	4.4	1.1	0.0		
	お金の話をすることはしない	(255)	40.0	20.4	5.5	13.7	15.3	9.8	10.2	12.2	7.1	6.7	5.9	2.7	6.7	2.4	2.7	0.0	2.4	1.6	0.4	0.8		
投信等保有状況	投資信託・ETF・リートいずれか1つ以上回答あり	(396)	43.2	30.6	14.6	14.9	23.7	24.5	13.1	20.5	12.6	12.9	14.9	11.1	10.9	10.6	6.8	5.6	2.5	3.0	4.0	0.3		
	ポイント投資のみ実施者	(86)	40.7	9.3	8.1	59.3	7.0	4.7	9.3	3.5	1.2	7.0	3.5	0.0	3.5	3.5	2.3	2.3	1.2	0.0	1.2	0.0		
	上記以外の投資商品保有者	(356)	32.9	10.1	23.3	10.4	11.0	8.1	18.3	11.0	11.2	9.6	7.3	10.4	4.5	3.7	7.6	1.7	3.1	2.2	0.8	0.6		

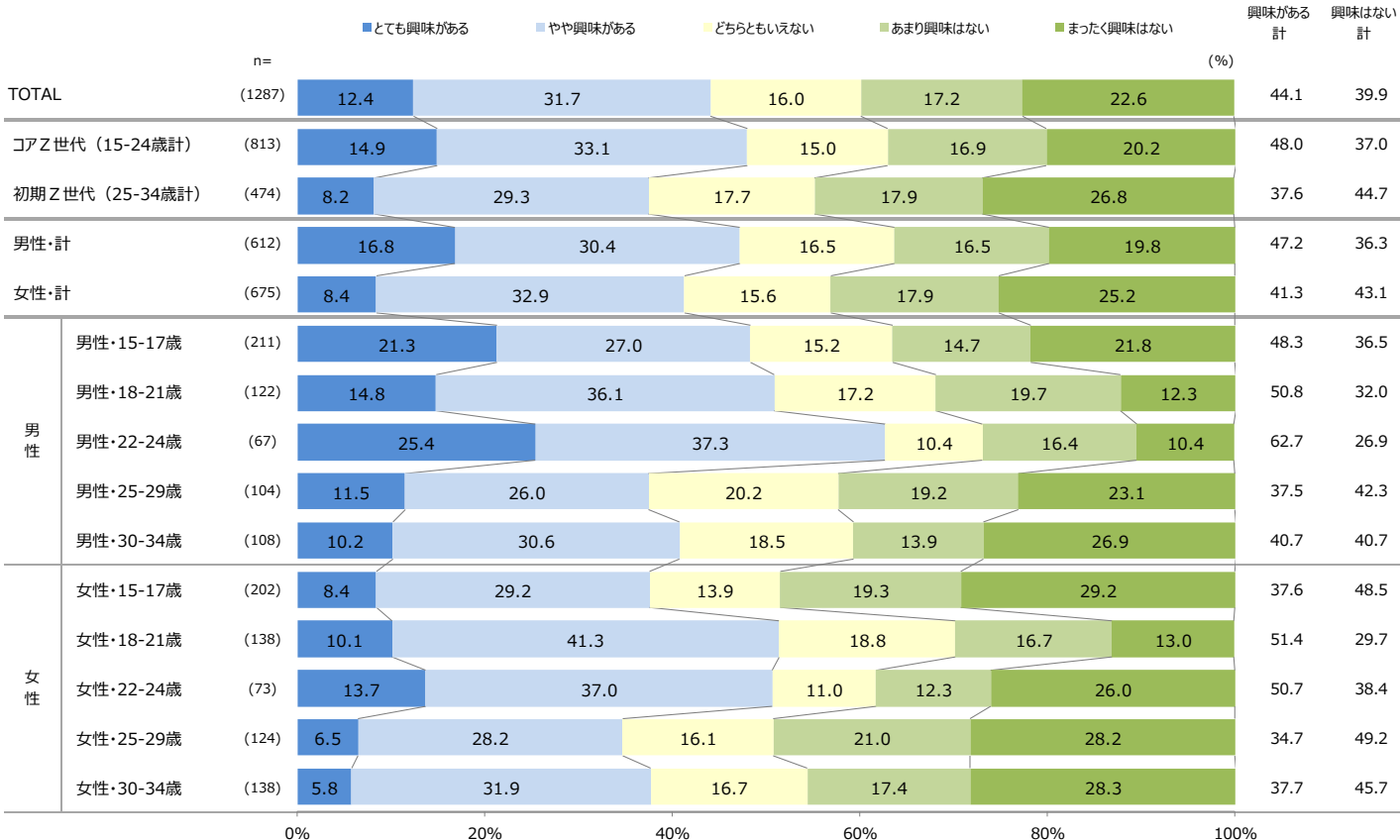
5. 投資に対する認識・知識

(4) 投資に対する興味・関心〔Q15:単数回答〕

(15-17歳全員・18歳以上の投資商品認知者のうち現在非投資者)

- 15-17歳（未成年）と18歳以上の現在非投資者に、投資に関する興味があるかを尋ねた。「とても興味がある」（12.4%）と「やや興味がある」（31.7%）を合わせた『興味がある計』は44.1%、「あまり興味はない」（17.2%）と「まったく興味はない」（22.6%）を合わせた『興味はない計』は39.9%と、やや『興味がある計』が上回った。〔図5-9〕
- 世代別では、コアZ世代は『興味がある計』が48.0%と、初期Z世代より10.4ポイント高い。〔図5-9〕
- 性×年齢別では、『興味がある計』が男性・22-24歳で62.7%と特に高く、「とても興味がある」も25.4%と他層に比べても高い。このほか、男女ともに18-21歳、女性・22-24歳も『興味がある計』が50%超と高い。〔図5-9〕
- 金融リテラシー別では、リテラシーが高い層ほど『興味がある計』が高くなる。投資意識別では、長期投資意向層で『興味がある計』が64.2%と他層に比べて高い。〔図5-10〕
- お金に関する選好について、『将来を考えてお金を着実に準備したい』人と『先のことよりも、今のためにお金を使いたい』人では、前者の方が興味度が高い。また、お金と生活の価値観では、『人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい』人は『興味がある計』が56.2%と他層に比べて高い。投資イメージでは、『ポジティブなイメージのみ』回答者の『興味がある計』は55.6%、『ネガティブなイメージのみ』回答者では28.6%と両者の差が大きい。〔図5-10〕

〔図 5-9〕

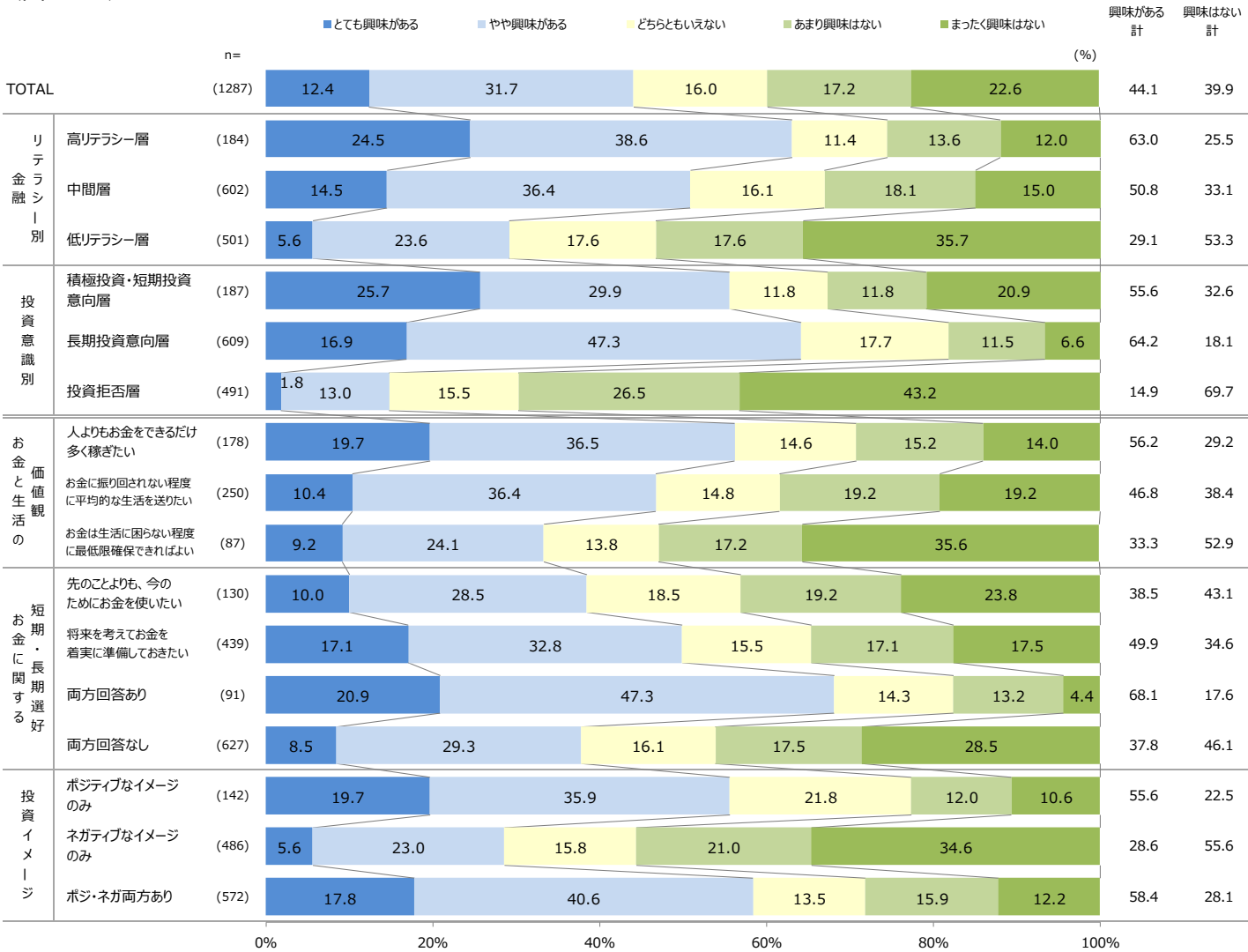


5. 投資に対する認識・知識

(4) 投資に対する興味・関心〔Q15:単数回答〕

(15-17歳全員・18歳以上の投資商品認知者のうち現在非投資者)

〔図 5-10〕



5. 投資に対する認識・知識

(5) 金融に関する基本的な知識〔Q16:単数回答〕

- 9つの質問で金融リテラシーを確認した。最も正解率が高かったものは「平均以上の高いリターンのある投資には、平均以上の高いリスクがあるものだ」(57.4%)。次いで「株式の価格は日々変動しているため、大きく得をすることもあれば、損をすることもある」(50.4%)、「1ドル100円であった場合、1ドル110円になることを円安という」(48.7%)となった。〔図5-11〕
- 9問(9点満点)中、全体での平均正解数は3.3点、世代別では大きな差はないが、性別では男性の方がやや高い。男性は年齢があがると平均正解数も上昇するが、女性は25-29歳が3.2点で最も高い。〔図5-12〕
- 投資経験別では現在投資者が5.3点と最も高く、投資関心別(現在非投資者)では関心層が4.2点、ふだん親と『投資の話をする』人では5.3点と平均を上回る。〔図5-12〕

〔図5-11〕

○ : 正解

■ ○ (合っている) ■ × (違っている) ■ わからない (%)

n=(3000)



〔図5-12〕

(平均正解数 9問中)

	n=	平均正解数 9問中
TOTAL	(3000)	3.3
コアZ世代 (15-24歳計)	(1452)	3.1
初期Z世代 (25-34歳計)	(1548)	3.5
男性・計	(1532)	3.8
女性・計	(1468)	2.9
15-17歳	(211)	3.5
18-21歳	(300)	3.5
22-24歳	(232)	3.7
25-29歳	(390)	3.8
30-34歳	(399)	4.1
15-17歳	(202)	2.5
18-21歳	(284)	2.5
22-24歳	(223)	2.8
25-29歳	(375)	3.2
30-34歳	(384)	3.0

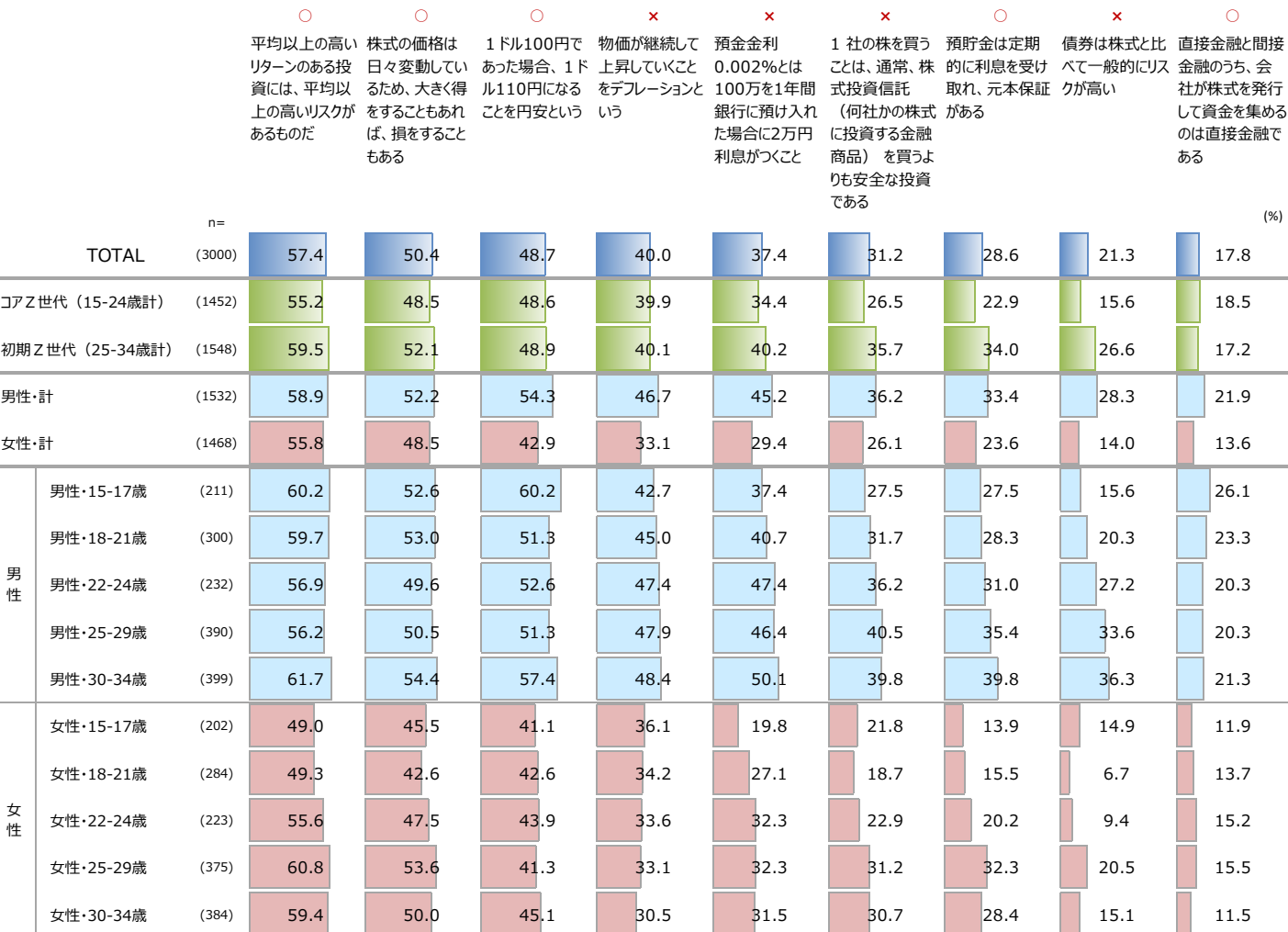
	n=	平均正解数 9問中
TOTAL	(3000)	3.3
投資商品認知者・計 (18-34歳)	(1712)	4.5
現在投資者	(838)	5.3
現在非投資者	(874)	3.6
投資商品非認知者・計 (18-34歳)	(875)	1.3
投資商品認知者・計 (15-17歳)	(268)	3.9
投資商品非認知者・計 (15-17歳)	(145)	1.5
関心層	(568)	4.2
中間層	(206)	3.1
非関心層	(513)	2.7
投資の話をする	(255)	5.3
将来のお金、貯蓄・保険・奨学金などの話をする	(583)	4.1
おこづかい・生活費の話をする	(446)	3.3
お金の話をすることは ない	(1239)	2.7

5. 投資に対する認識・知識

(5) 金融に関する基本的な知識〔Q16:単数回答〕

- 9つの質問の正解率を一覧化して属性別でみた。世代別では、上位項目の世代差は小さいものの、「預貯金は定期的に利息を受け取れ、元本保証がある」は11.1ポイント、「債券は株式と比べて一般的にリスクが高い」は11.0ポイント、コアZ世代の方が初期Z世代より低い。〔図5-13〕
- 性別では、女性の方が全ての項目で男性より正解率が低い。性×年齢別では、男性で「1社の株を買うことは、通常、株式投資信託(何社かの株式に投資する金融商品)を買うよりも安全な投資である」「債券は株式と比べて一般的にリスクが高い」は年齢が上がるにつれて正解率も高くなる傾向。女性は15～21歳で上位項目の正解率がやや低い。〔図5-13〕
- 投資経験別では、現在投資者で各項目の正解率が高い。投資関心別（現在非投資者）の関心層でも他層に比べて正解率が高い。ふだん親と『投資の話をする』人も各項目の正解率が高い。〔図5-14〕
- 投資イメージでは、『ポジ・ネガ両方あり』の人は、上位項目の正解率が6～7割台と高いが、『ポジティブなイメージのみ』の人では下位項目の正解率が他層に比べて高い。また、年収別では、年収が高いほど各項目の正解率が高くなる。〔図5-14〕

〔図5-13〕 (各項目とも正解率を表示)



5. 投資に対する認識・知識

(5) 金融に関する基本的な知識〔Q16:単数回答〕

〔図 5-14〕 (各項目とも正解率を表示)

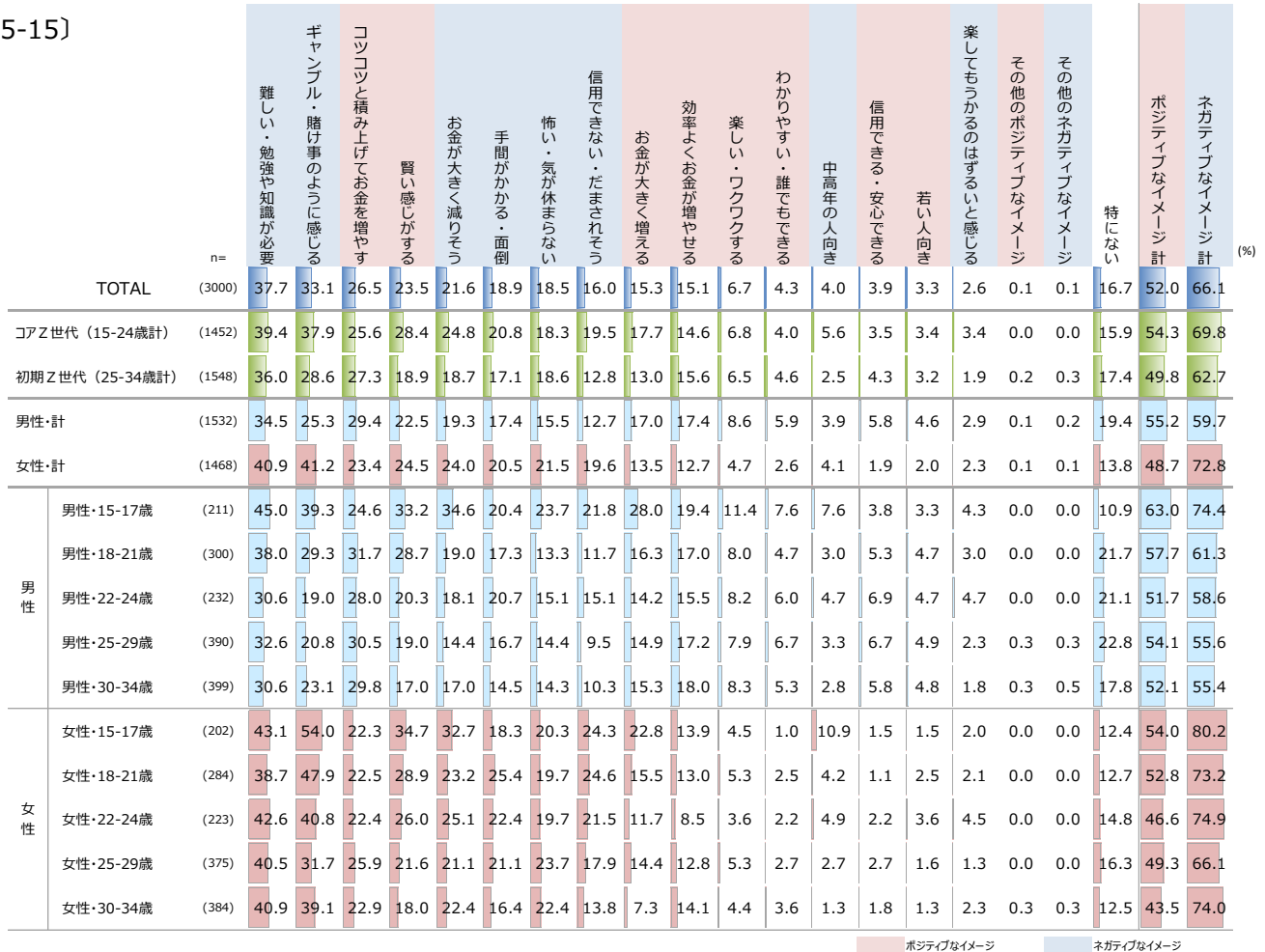
		○	○	○	×	×	×	○	×	○	
		平均以上の高いリターンのある投資には、平均以上の高いリスクがあるものだ	株式の価格は日々変動しているため、大きく得をすることもあれば、損をすることもあ	1ドル100円であった場合、1ドル110円になることを円安という	物価が継続して上昇していくことをデプレッションという	預金金利0.002%とは100万を1年間銀行に預け入れた場合に2万円利息がつくこと	1社の株を買うことは、通常、株式投資信託(何社かの株式商品)を買うよりも安全な投資である	預貯金は定期的に利息を受け取り、元本保証がある	債券は株式と比べて一般的にリスクが高い	直接金融と間接金融のうち、会社が株式を発行して資金を集めるのは直接金融である	
TOTAL		(3000)	57.4	50.4	48.7	40.0	37.4	31.2	28.6	21.3	17.8
投資経験別	投資商品認知者・計(18-34歳)	(1712)	74.7	67.4	62.8	52.3	50.8	43.5	40.7	29.8	23.3
	現在投資者	(838)	79.4	72.9	68.6	58.8	61.0	58.5	53.8	46.5	31.0
	現在非投資者	(874)	70.3	62.1	57.2	46.0	41.0	29.1	28.1	13.8	15.9
	投資商品非認知者・計(18-34歳)	(875)	24.8	17.6	20.2	16.3	15.4	10.4	8.7	7.3	6.5
	投資商品認知者・計(15-17歳)	(268)	67.9	62.7	63.4	51.1	37.7	32.1	27.2	19.4	23.1
	投資商品非認知者・計(15-17歳)	(145)	30.3	24.1	27.6	17.9	12.4	11.0	9.0	7.6	11.7
投資関心別(現在非投資者)	関心層	(568)	77.3	69.2	63.7	52.5	48.2	35.7	32.9	18.7	23.6
	中間層	(206)	57.8	52.4	56.3	38.8	32.5	22.3	22.3	11.7	13.6
	非関心層	(513)	55.0	47.8	45.2	36.5	26.5	20.9	19.3	10.5	10.9
ふだん親とお金の話をするか	投資の話をする	(255)	78.8	78.0	69.0	60.4	56.1	55.3	49.4	46.7	32.2
	将来のお金、貯蓄・保険・奨学金などの話をする	(583)	70.8	63.6	59.3	51.6	48.7	40.0	32.1	20.8	21.3
	おこづかい・生活費の話をする	(446)	61.4	51.3	50.9	39.5	35.7	27.8	28.5	16.1	22.2
	お金の話をすることはない	(1239)	46.6	40.4	40.5	33.3	29.6	24.1	22.7	17.7	12.0
投資イメージ	ポジティブなイメージのみ	(516)	61.4	53.3	54.8	48.3	47.3	45.5	39.3	38.6	27.9
	ネガティブなイメージのみ	(940)	56.3	44.5	46.2	34.5	30.3	23.9	24.0	14.7	13.2
	ポジ・ネガ両方あり	(1044)	78.1	73.9	65.3	54.3	52.1	41.6	38.5	24.3	23.9
個人年収者	～300万円未満	(616)	59.1	49.8	44.2	36.7	35.6	30.4	27.4	17.5	16.1
	～500万円未満	(491)	63.3	56.2	57.2	46.2	50.7	41.5	41.5	34.6	23.4
	500万円以上	(227)	70.0	64.3	61.7	55.9	57.7	56.4	49.3	47.6	30.0

5. 投資に対する認識・知識

(6) 投資に対するイメージ〔Q17:複数回答〕

- 「投資」のイメージは、「難しい・勉強や知識が必要」(37.7%) が最も高く、「ギャンブル・賭け事のように感じる」(33.1%) が3割台で続く。次いで「コツコツと積み上げてお金を増やす」(26.5%)、「賢い感じがする」(23.5%)、「お金が大きく減りそう」(21.6%) が2割台で上位。上位項目はネガティブなイメージが多く、『ポジティブなイメージ計』(52.0%)より、『ネガティブなイメージ計』(66.1%)が14.1ポイント上回る。〔図5-15〕
- 世代別では、コアZ世代では「賢い感じがする」(28.4%)が初期Z世代を9.5ポイント上回るのに対し、「ギャンブル・賭け事のように感じる」(37.9%)も9.3ポイント上回る。〔図5-15〕
- 性別では、男性より女性の方が『ネガティブなイメージ計』が13.1ポイント高い。男性では15～24歳までは『ネガティブなイメージ計』が『ポジティブなイメージ計』より高いが、25～34歳では両者にほぼ差がなくなる。〔図5-15〕
- 投資経験別では、現在投資者は「コツコツと積み上げてお金を増やす」(46.2%)がイメージの1位。一方、投資関心別(現在非投資者)の非関心層、投資意識別の投資拒否層では、「ギャンブル・賭け事のように感じる」「お金が大きく減りそう」「信用できない・だまされそう」が他層に比べて高い。〔図5-16〕
- お金と生活の価値観では『お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい』人は『ネガティブなイメージ計』が8割強で、「難しい・勉強や知識が必要」「ギャンブル・賭け事のように感じる」が4割以上。これに比べて『人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい』人のネガティブ項目は若干低め。〔図5-16〕

〔図 5-15〕



5. 投資に対する認識・知識

(6) 投資に対するイメージ〔Q17:複数回答〕

〔図 5-16〕

		n=	難しい・勉強や知識が必要	ギャンブル・賭け事のように感じる	コツコツと積み上げてお金を増やす	賢い感じがする	お金が大きく減りそう	手間がかかる・面倒	怖い・気が休まらない	信用できない・だまされそう	お金が大きく増える	効率よくお金が増やせる	楽しい・ワクワクする	わかりやすい・誰でもできる	中高年の人向き	信用できる・安心できる	若い人向き	楽しんでもうかるのはずいと感じる	その他のポジティブなイメージ	その他のネガティブなイメージ	特にない	ポジティブなイメージ計	ネガティブなイメージ計
TOTAL		(3000)	37.7	33.1	26.5	23.5	21.6	18.9	18.5	16.0	15.3	15.1	6.7	4.3	4.0	3.9	3.3	2.6	0.1	0.1	16.7	52.0	66.1
投資経験別	投資商品認知者・計 (18-34歳)	(1712)	45.6	33.9	36.3	27.8	21.5	22.5	20.0	15.7	17.2	19.9	8.4	5.7	3.8	5.4	4.3	3.0	0.2	0.2	4.6	64.7	73.1
	現在投資者	(838)	36.8	19.0	46.2	26.4	13.8	15.6	13.0	7.9	20.4	27.4	12.8	9.4	3.1	8.8	6.7	3.9	0.1	0.1	4.7	75.8	61.2
	現在非投資者	(874)	54.0	48.3	26.9	29.2	28.8	29.1	26.8	23.2	14.2	12.6	4.1	2.1	4.5	2.1	2.1	2.2	0.2	0.2	4.5	54.0	84.6
	投資商品非認知者・計 (18-34歳)	(875)	19.2	25.1	8.6	10.2	16.2	11.7	13.7	13.4	6.6	5.0	2.7	1.6	1.9	1.6	1.7	1.6	0.0	0.1	42.7	24.1	47.2
	投資商品認知者・計 (15-17歳)	(268)	54.9	54.1	30.2	43.3	35.8	23.1	25.7	23.5	30.6	21.3	10.4	6.0	10.8	3.7	3.0	3.7	0.0	0.0	3.4	73.1	85.1
	投資商品非認知者・計 (15-17歳)	(145)	24.1	32.4	11.0	16.6	29.7	12.4	15.2	22.1	15.9	8.3	3.4	1.4	6.2	0.7	1.4	2.1	0.0	0.0	26.9	31.7	62.8
投資関心別 (現在非投資者)	関心層	(568)	61.1	43.0	40.8	40.0	23.4	24.6	22.9	16.5	25.2	19.7	9.3	3.7	5.6	4.0	3.2	2.5	0.2	0.2	2.8	72.7	83.3
	中間層	(206)	42.2	45.6	18.9	27.2	29.1	24.3	22.3	22.3	13.1	12.1	2.4	4.9	4.9	0.5	2.4	3.4	0.0	0.0	10.2	52.4	74.8
	非関心層	(513)	42.9	53.8	11.9	21.8	38.6	28.1	29.0	30.8	11.5	8.2	2.1	1.0	6.8	1.0	1.0	2.1	0.2	0.2	9.7	37.6	84.0
金融リテラシー別	高リテラシー層	(538)	50.6	25.1	50.0	30.3	17.1	19.1	16.5	11.0	22.7	28.4	15.1	5.9	3.5	6.1	6.3	2.2	0.2	0.2	3.9	77.5	67.8
	中間層	(1129)	49.2	41.6	31.9	32.1	25.2	24.0	24.9	20.5	19.3	19.1	7.1	5.9	6.4	5.0	3.6	3.5	0.1	0.2	4.3	63.2	79.5
	低リテラシー層	(1333)	22.7	29.1	12.4	13.5	20.5	14.5	13.8	14.3	8.9	6.3	2.9	2.3	2.2	2.0	1.8	2.1	0.1	0.1	32.3	32.2	54.1
投資意識別	積極投資・短期投資意向層	(753)	22.3	12.4	27.1	19.4	8.8	9.2	9.3	7.2	16.2	18.3	10.4	6.4	3.3	6.1	4.2	2.1	0.1	0.0	31.9	50.6	41.2
	長期投資意向層	(1312)	47.5	34.8	37.3	31.3	19.4	21.0	17.1	13.1	17.1	19.4	8.0	5.7	3.9	4.9	4.0	3.1	0.1	0.2	6.7	67.9	73.4
	投資拒否層	(935)	36.3	47.5	10.8	15.9	35.2	23.7	27.8	27.3	11.9	6.5	1.8	0.6	4.7	0.7	1.5	2.4	0.1	0.2	18.4	30.8	76.0
ふだん親とお金の話をするか	投資の話をする	(255)	53.7	24.3	48.2	36.9	20.4	23.1	18.0	12.5	24.3	36.5	17.6	8.6	4.7	7.1	9.0	4.7	0.4	0.0	2.0	77.6	74.5
	将来のお金、貯蓄・保険・奨学金などの話をする	(583)	50.9	44.4	33.1	34.6	29.0	28.0	27.8	26.4	19.9	14.2	8.6	6.0	6.9	4.6	4.3	3.3	0.2	0.3	2.2	66.4	81.0
	おこづかい・生活費の話をする	(446)	41.5	44.6	25.8	28.9	27.4	22.4	18.6	20.2	19.7	15.5	7.6	3.8	5.8	4.0	2.0	3.1	0.0	0.0	8.1	55.8	76.2
	お金の話をすることはない	(1239)	30.3	28.9	19.8	14.7	18.6	15.0	15.7	12.1	11.2	10.7	3.6	2.3	2.3	2.3	1.9	1.5	0.0	0.2	28.4	38.2	58.0
お金の価値観	人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい	(360)	48.6	38.6	33.6	30.0	23.3	22.5	20.8	18.3	23.6	20.8	10.8	7.2	8.6	5.6	5.3	3.3	0.3	0.0	4.4	65.6	79.4
	お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい	(468)	54.3	42.1	37.2	29.1	25.9	24.4	23.7	20.5	14.5	15.8	4.9	3.0	2.8	3.0	2.8	1.7	0.0	0.0	2.8	62.0	82.1
	お金は生活に困らない程度に最低限確保できればよい	(179)	32.4	30.7	24.0	18.4	18.4	17.3	17.9	16.8	17.9	15.6	5.6	7.8	4.5	4.5	5.0	5.0	0.6	0.6	8.9	57.0	67.0

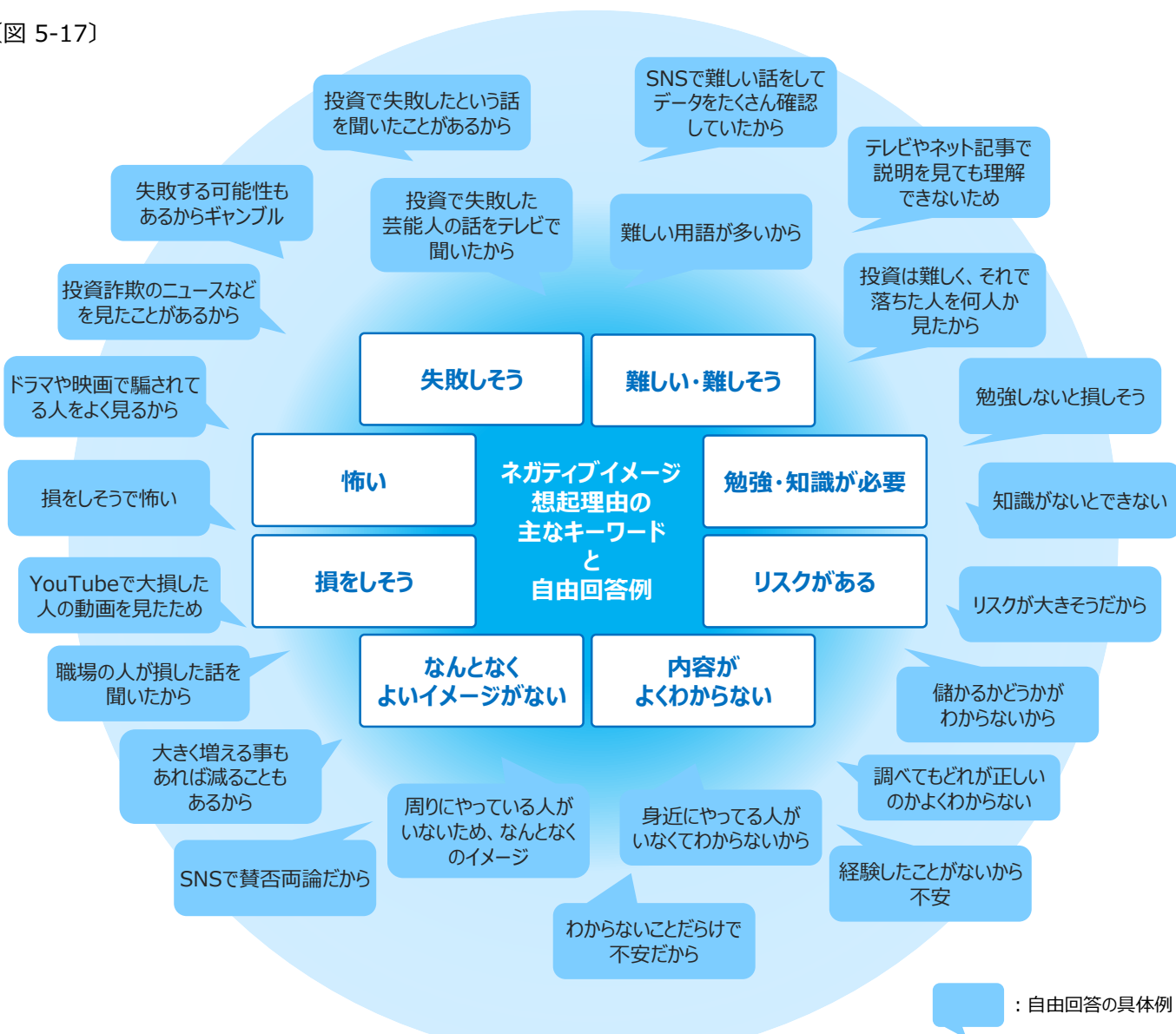
ポジティブなイメージ ネガティブなイメージ

5. 投資に対する認識・知識

(7) 回答したイメージを想起する理由 (ネガ)〔Q18:自由記述回答〕 (Q17 ネガティブイメージの回答者)

- Q17でネガティブイメージの回答者（1984s）に、そのネガティブイメージを回答した理由を尋ねた。主にあがったキーワードとしては『失敗しそう』『怖い』『損をしそう』『難しい・難しそう』『勉強・知識が必要』『リスクがある』『なんとなくよいイメージがない』『内容がよくわからない』等であった。〔図5-17〕
- 『なんとなく』『経験がない・周囲に投資をしている人がいないのでわからない』等、漠然としたネガティブイメージの回答が多い中、『勉強・知識が必要』というコメントも多数見受けられ、専門用語や内容理解の点から『難しい・難しそう』というイメージを持つ人も見られる。また、外部からの影響という点では、テレビ・インターネット・動画等のメディアで見聞きした失敗談等からイメージ形成されている様子も見受けられた。また、身近な人（知人、家族、同僚等）からの話・経験談に影響を受けているコメントもみられる。〔図5-17〕

〔図 5-17〕

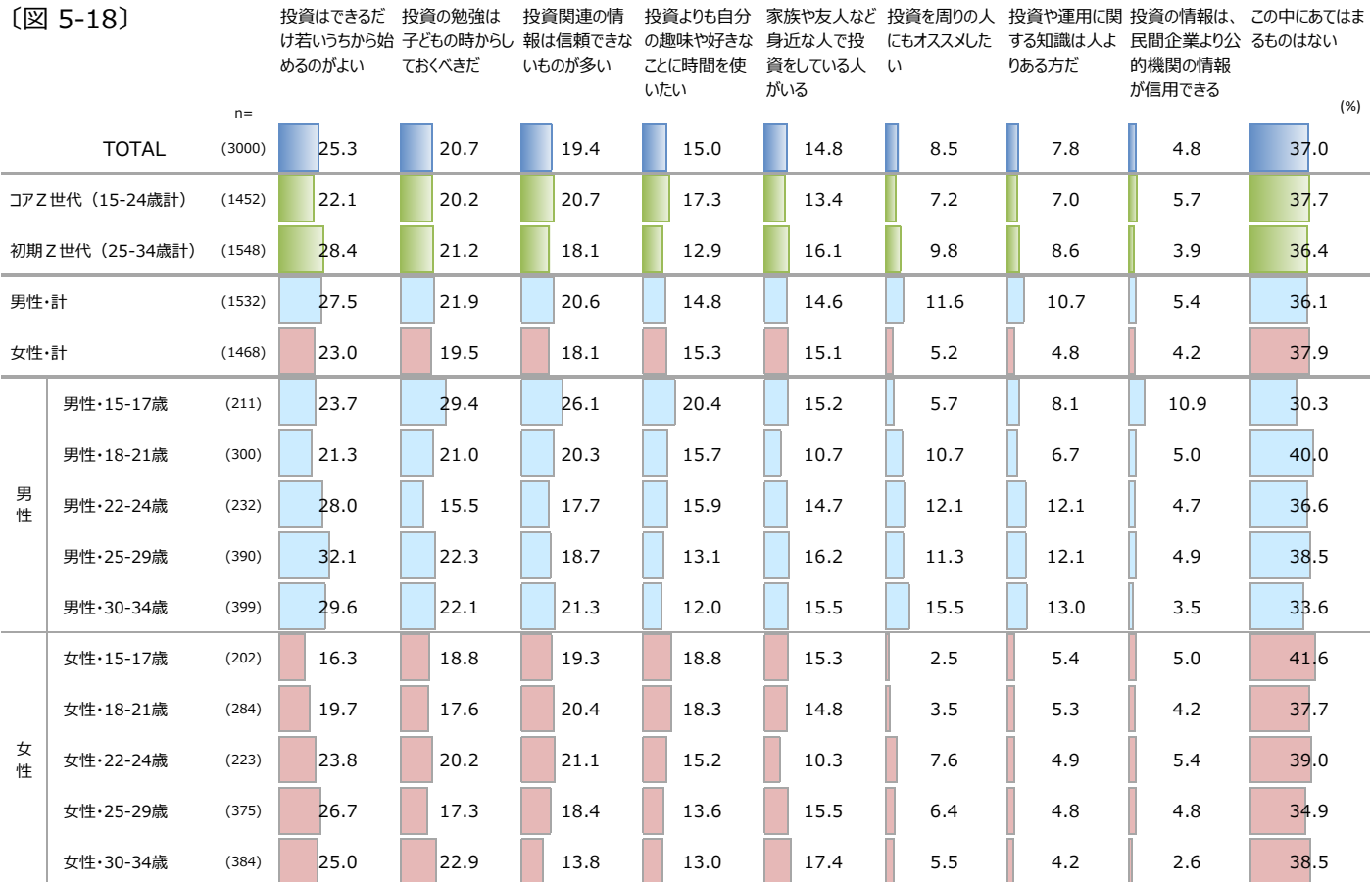


5. 投資に対する認識・知識

(8) 投資についての考え方〔Q19:複数回答〕

- 投資についての考え方では、最も高いのは、「投資はできるだけ若いうちから始めるのがよい」(25.3%) が最も高く、次いで「投資の勉強は子どもの時からしておくべきだ」(20.7%) が高い一方、「投資関連の情報は信頼できないものが多い」(19.4%) が3位。「この中であてはまるものはない」(37.0%) も4割弱ほどみられる。〔図5-18〕
- 世代別では、「投資はできるだけ若いうちから始めるのがよい」は、初期Z世代がコアZ世代を6.3ポイント上回る。〔図5-18〕
- 性別では、「投資を周りの人にもオススメしたい」「投資や運用に関する知識は人よりある方だ」は男性の方が女性を5ポイント以上上回る。また、女性は年齢が上がるほど、「投資はできるだけ若いうちから始めるのがよい」が高くなる傾向。〔図5-18〕
- 投資経験別では、現在非投資者で、「投資関連の情報は信頼できないものが多い」「投資よりも自分の趣味や好きなことに時間を使いたい」「投資はできるだけ若いうちから始めるのがよい」「投資の勉強は子どもの時からしておくべきだ」がほぼ同程度で2割強みられる。「投資はできるだけ若いうちから始めるのがよい」「投資の勉強は子どもの時からしておくべきだ」は、投資関心別（現在非投資者）の関心層、金融リテラシー別の高リテラシー層、長期投資意向層、ふだん親と『投資の話をする』人でも高い。〔図5-19〕
- お金に関する選好について『先のことよりも、今のためにお金を使いたい』人は「投資よりも自分の趣味や好きなことに時間を使いたい」が、『将来を考えてお金を着実に準備しておきたい』人は「投資はできるだけ若いうちから始めるのがよい」が1位となっている。〔図5-19〕

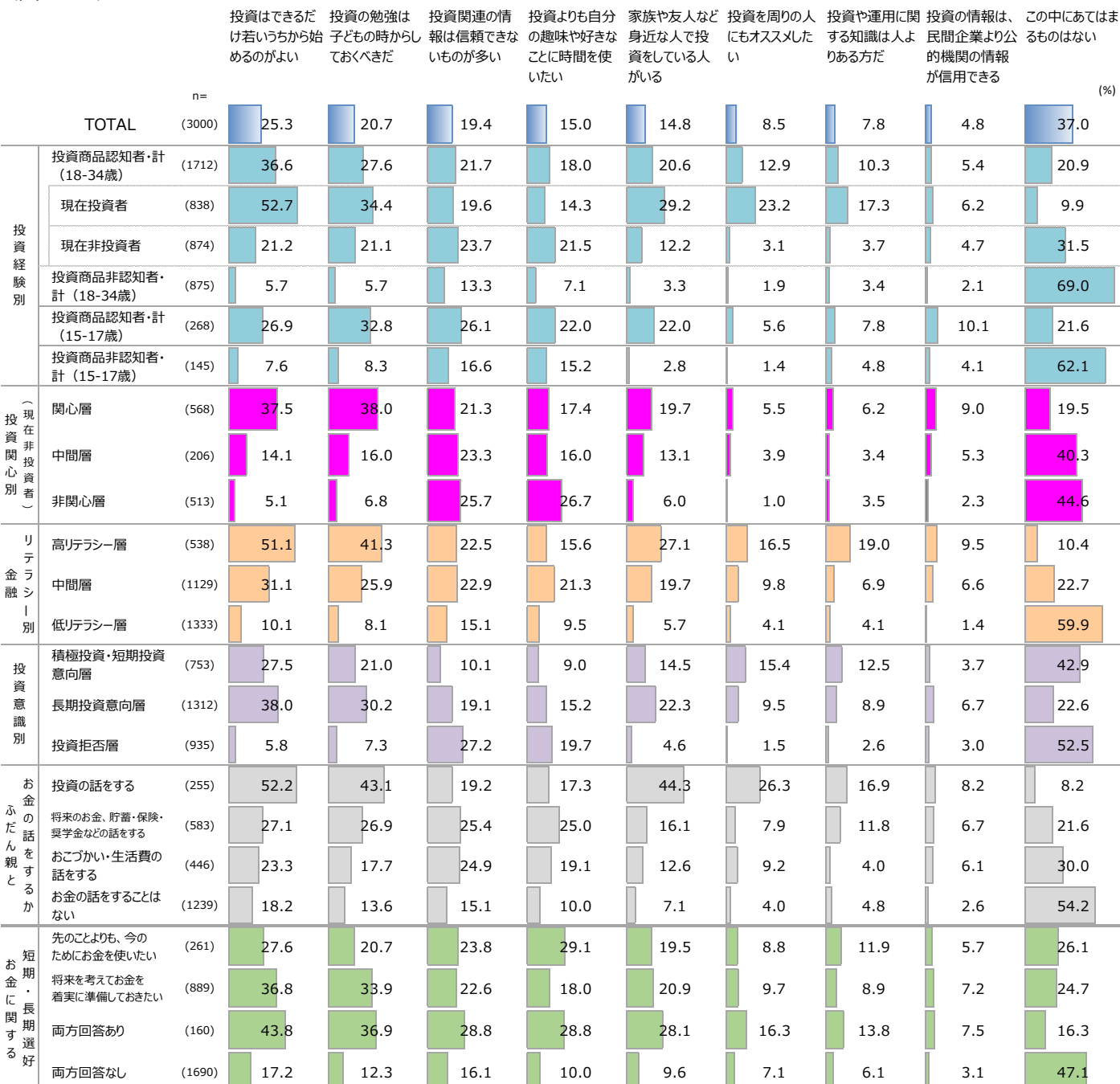
〔図5-18〕



5. 投資に対する認識・知識

(8) 投資についての考え方〔Q19:複数回答〕

〔図 5-19〕

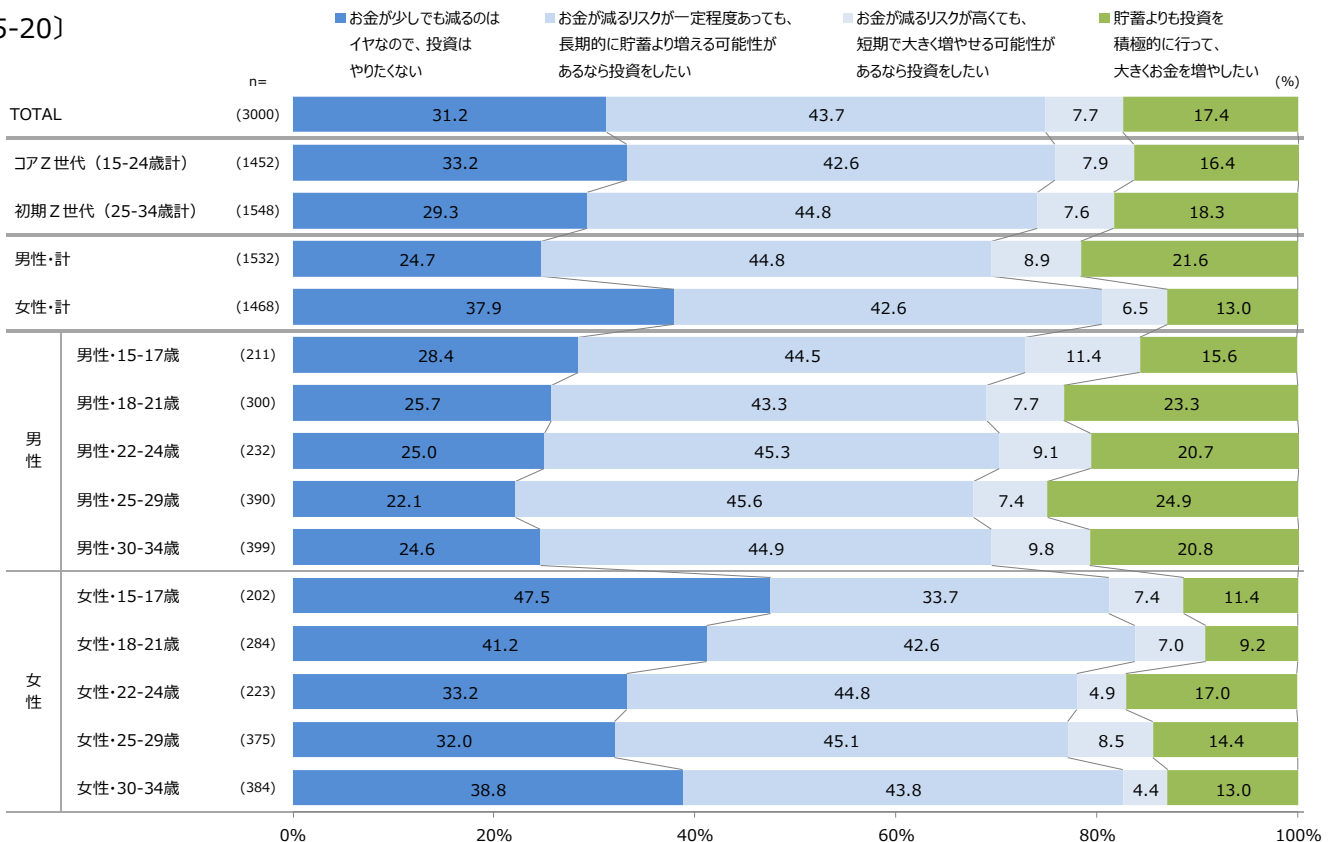


5. 投資に対する認識・知識

(9) 投資のリスクに対する許容度〔Q20:単数回答〕

- 投資のリスクに対する許容度については、「お金が減るリスクが一定程度あっても、長期的に貯蓄より増える可能性があるなら投資をしたい」(43.7%) が最も高く4割強を占めるが、「お金が少しでも減るのはイヤなので、投資はやりたくない」(31.2%) も3割強みられる。〔図5-20〕
- 世代別では、「お金が少しでも減るのはイヤなので、投資はやりたくない」でコアZ世代が初期Z世代を若干上回るが大きな違いはみられない。〔図5-20〕
- 性別では、女性において「お金が少しでも減るのはイヤなので、投資はやりたくない」が男性より13.2ポイント上回り、男性は「貯蓄よりも投資を積極的に行って、大きくお金を増やしたい」が女性より8.6ポイント高い。「お金が少しでも減るのはイヤなので、投資はやりたくない」は女性・15-17歳で特に高く、47.5%と半数近くに達する。女性18-21歳、30-34歳でも4割前後みられる。「貯蓄よりも投資を積極的に行って、大きくお金を増やしたい」は男性25-29歳・18-21歳が高い。〔図5-20〕
- 投資経験別では、「お金が減るリスクが一定程度あっても、長期的に貯蓄より増える可能性があるなら投資をしたい」は、現在投資者や金融リテラシー別の高リテラシー層で6割前後と高いが、投資関心別(現在非投資者)の関心層では68.8%と特に高く、7割近くを占める。〔図5-21〕
- お金と生活の価値観で『お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい』人では「お金が減るリスクが一定程度あっても、長期的に貯蓄より増える可能性があるなら投資をしたい」が半数を超える。また、『人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい』人は「貯蓄よりも投資を積極的に行って、大きくお金を増やしたい」が、お金に関する選好で『先のことよりも、今のためにお金を使いたい』人は「お金が少しでも減るのはイヤなので、投資はやりたくない」が他層に比べて高い。投資イメージで『ネガティブなイメージのみ』の人では「お金が少しでも減るのはイヤなので、投資はやりたくない」が半数を占める。〔図5-21〕

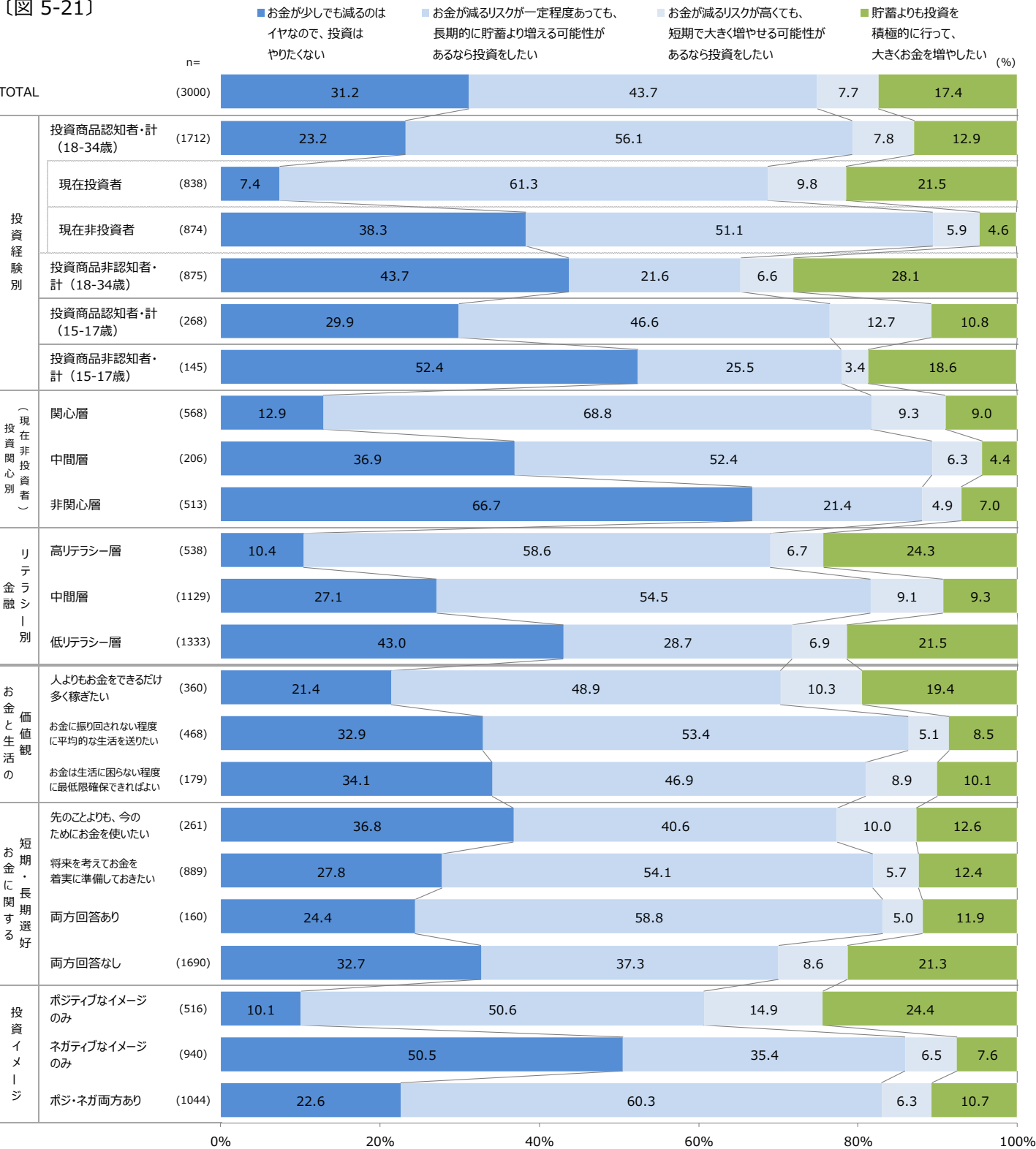
〔図 5-20〕



5. 投資に対する認識・知識

(9) 投資のリスクに対する許容度〔Q20:単数回答〕

〔図 5-21〕

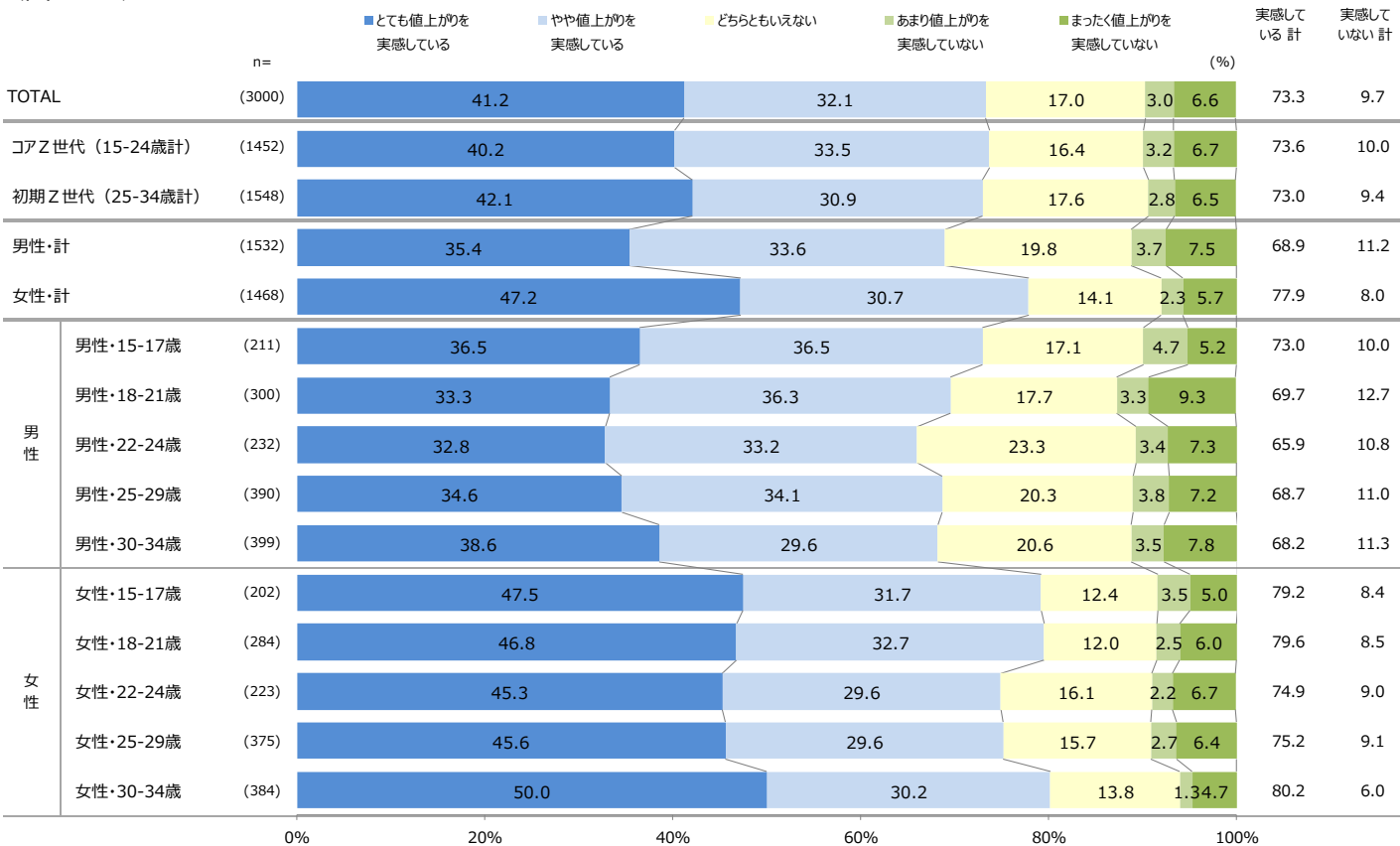


5. 投資に対する認識・知識

(10) 値上がり実感有無〔Q21:単数回答〕

- 商品やサービスの値上がりを実感するかについては、「とても値上がりを実感している」（41.2%）と「やや値上がりを実感している」（32.1%）を合わせた『実感している計』は73.3%にのぼる。一方、「あまり値上がりを実感していない」（3.0%）と「まったく実感していない」（6.6%）を合わせた『実感していない計』は9.7%にとどまる。〔図5-22〕
- 世代での違いはほとんどみられない。〔図5-22〕
- 性別では、女性の方が「とても値上がりを実感している」（47.2%）が半数近くで、男性を11.8ポイント上回る。性×年齢別では、女性・30-34歳が50.0%と高いが、女性ではそれ以外の年齢層でも40%台後半と総じて高い。〔図5-22〕
- 投資経験別では、「とても値上がりを実感している」は現在非投資者で高く、投資関心別（現在非投資者）の関心層では50.5%、金融リテラシー別の高リテラシー層でも49.6%とほぼ半数で高い。〔図5-23〕
- 個人年収別では、年収が低い層ほど「とても値上がりを実感している」が高くなる。また、お金に関する選好について、『将来を考えてお金を着実に準備しておきたい』人は『先のことよりも、今のためにお金を使いたい』人に比べて「とても値上がりを実感している」が高い。〔図5-23〕

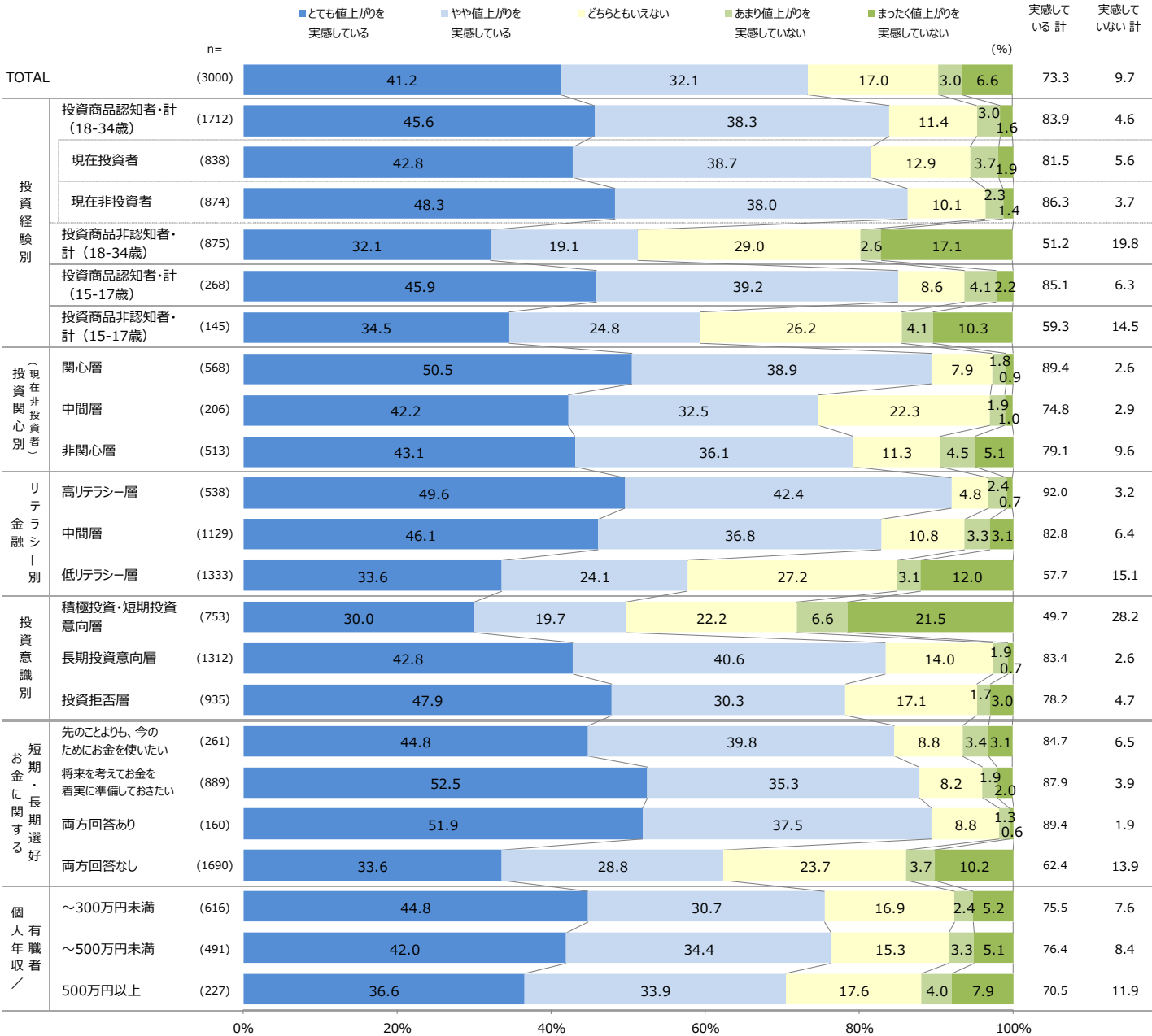
〔図 5-22〕



5. 投資に対する認識・知識

(10) 値上がり実感有無〔Q21:単数回答〕

〔図 5-23〕

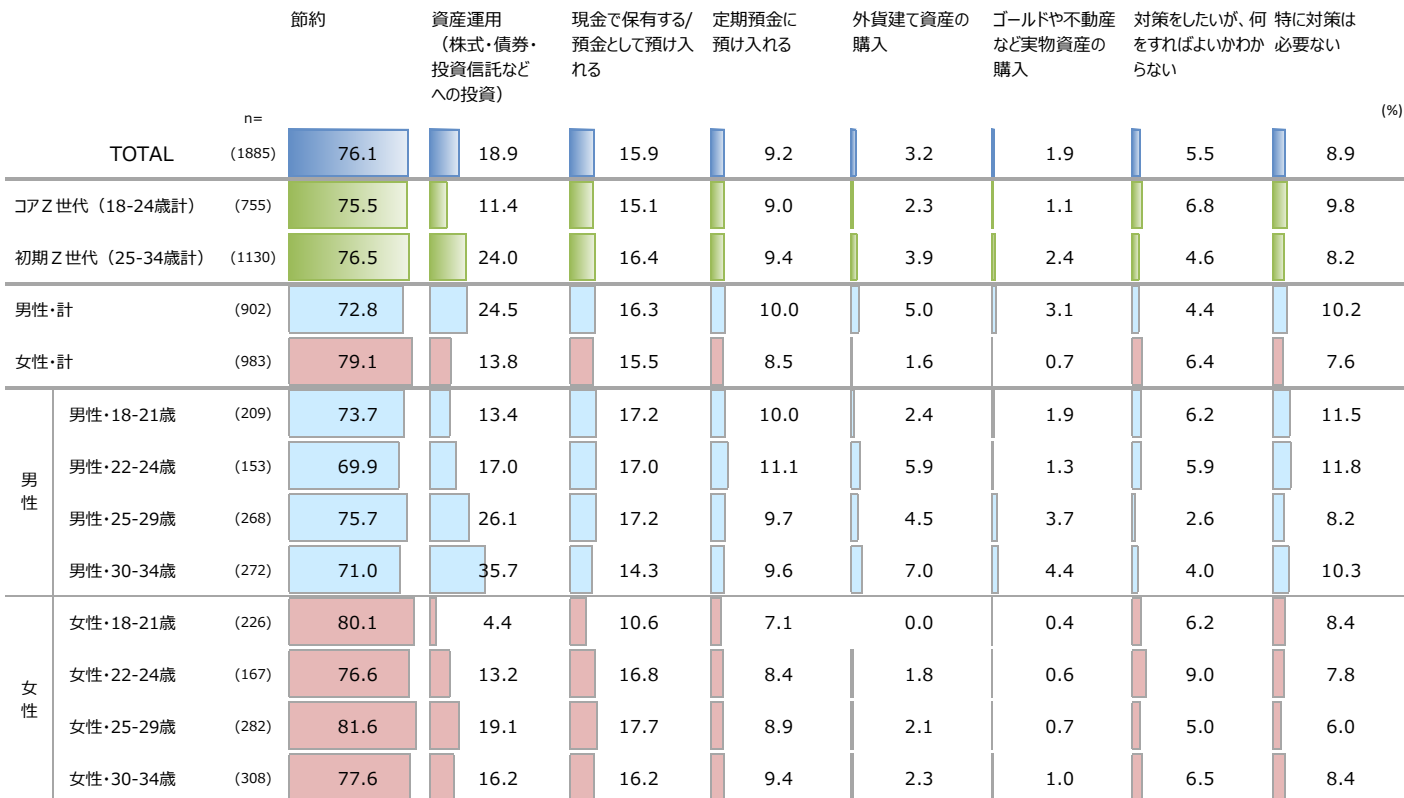


5. 投資に対する認識・知識

(11) 値上がり対策〔Q22:複数回答〕（18歳以上の値上がり実感者）

- 値上がりを実感している人に、どのような対策をしているか尋ねたところ、「節約」（76.1%）が特に高く、これに続く「資産運用（株式・債券・投資信託などへの投資）」（18.9%）、「現金で保有する/預金として預け入れる」（15.9%）と大きな差がある。〔図5-24〕
- 世代別では、初期Z世代は「資産運用」がコアZ世代より12.6ポイント上回る。〔図5-24〕
- 性別では、「資産運用」で男性が女性より10.7ポイント高い。性×年齢別では、「資産運用」は、男性では年齢が上がるほど高くなるが、女性は25-29歳がピーク。〔図5-24〕
- 投資経験別では、現在投資者で「資産運用」が特に高いが、「定期預金に預け入れる」も他層より高い。金融リテラシー別の高リテラシー層、積極投資・短期投資意向層、ふだん親と『投資の話をする』人でも「資産運用」が高い。〔図5-25〕
- お金に関する選好について『将来を考えてお金を着実に準備しておきたい』人は、「節約」「資産運用」が他層に比べて高い。『将来を考えてお金を着実に準備しておきたい』『先のことよりも、今のためにお金を使いたい』両方に回答した人は、「現金で保有する/預金として預け入れる」が他層に比べて高い。〔図5-25〕

〔図 5-24〕



5. 投資に対する認識・知識

(11) 値上がり対策〔Q22:複数回答〕(18歳以上の値上がり実感者)

〔図 5-25〕

		節約	資産運用 (株式・債券・ 投資信託など への投資)	現金で保有する/ 預金として預け入 れる	定期預金に 預け入れる	外貨建て資産の 購入	ゴールドや不動産 など実物資産の 購入	対策をしたいが、何 をすればよいかわか らない	特に対策は 必要ない	(%)
TOTAL		n= (1885) 76.1	18.9	15.9	9.2	3.2	1.9	5.5	8.9	
投資 経験 別	投資商品認知者・計 (18-34歳)	(1437) 77.7	23.9	17.0	10.5	4.2	2.2	5.3	7.0	
	現在投資者	(683) 75.3	47.4	21.7	16.3	8.6	4.2	3.1	4.0	
	現在非投資者	(754) 79.8	2.5	12.7	5.3	0.1	0.4	7.3	9.8	
	投資商品非認知者・ 計 (18-34歳)	(448) 71.2	3.1	12.3	5.1	0.2	0.7	6.0	14.7	
投資 関心 別 (現在非投資者)	関心層	(351) 79.8	4.6	14.0	6.8	0.3	0.6	8.0	8.5	
	中間層	(118) 77.1	1.7	13.6	4.2	0.0	0.8	8.5	9.3	
	非関心層	(285) 81.1	0.4	10.9	3.9	0.0	0.0	6.0	11.6	
金融 リテ ラシー 別	高リテラシー層	(447) 77.6	43.8	13.0	9.6	5.6	2.9	3.6	5.8	
	中間層	(787) 77.3	16.1	20.2	11.4	4.3	1.9	6.2	7.1	
	低リテラシー層	(651) 73.7	5.2	12.6	6.3	0.3	1.1	5.8	13.1	
投資 意 識 別	積極投資・短期投資 意向層	(317) 73.5	39.7	17.4	10.4	7.9	4.7	2.8	8.8	
	長期投資意向層	(962) 76.4	23.1	16.3	11.0	2.9	1.7	5.6	7.4	
	投資拒否層	(606) 77.1	1.5	14.4	5.8	1.3	0.7	6.6	11.2	
お 金 の 話 を す る か お だ ん 親 と	投資の話をする	(194) 76.3	43.8	28.4	20.1	8.8	5.7	4.1	4.6	
	将来のお金、貯蓄・保険・ 奨学金などの話をする	(394) 80.5	15.5	19.5	9.4	4.1	1.8	5.6	5.1	
	おこづかい・生活費の 話をする	(268) 78.0	11.6	17.5	9.3	1.5	1.9	5.2	7.1	
	お金の話をすることは ない	(723) 72.8	13.4	10.2	4.7	1.0	1.0	6.1	14.5	
お 金 に 関 す る 短 期 ・ 長 期 選 好	先のことよりも、今の ためにお金を使いたい	(191) 64.9	12.6	15.7	10.5	6.3	3.7	7.3	15.7	
	将来を考えてお金を 着実に準備しておきたい	(671) 82.4	26.5	17.7	8.2	2.5	1.3	4.9	5.5	
	両方回答あり	(106) 79.2	21.7	28.3	14.2	10.4	5.7	10.4	4.7	
	両方回答なし	(917) 73.5	14.4	13.1	9.2	2.3	1.4	4.9	10.4	

6. 投資に対する教育と学習

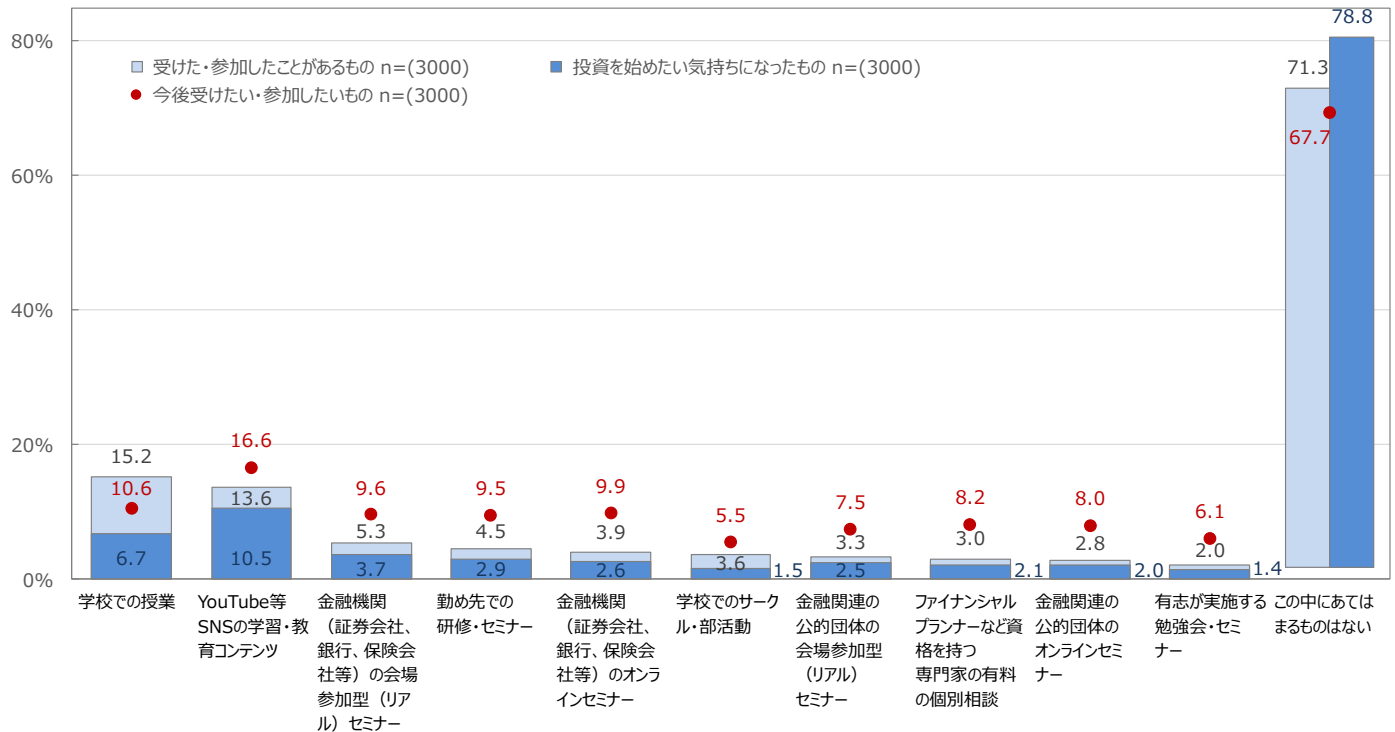


6. 投資に対する教育と学習

(1) 投資教育についての経験・心理変容・今後の意向〔Q23①②③:重複回答〕

- 投資に関する学習・教育を受けた経験は、「この中であてはまるものはない」が71.3%と高く、全体（100%）から差し引いた『投資教育経験者』は28.7%。受けた・参加したことがあるものは「学校での授業」（15.2%）が最も高く、「YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ」（13.6%）が続く。〔図6-1〕
- 受けた・参加したことがある学習・教育のうち、投資を始めたい気持ちになったものは、「YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ」（10.5%）が最も高く、次いで「学校での授業」（6.7%）のほかは、5%未満と低い。〔図6-1〕
- 「学校での授業」では受講・参加経験（15.2%）に対して、始めたい気持ちになった人は6.7%と半数以下であるが、「YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ」では、受講・参加経験（13.6%）に対して始めたい気持ちになった比率は10.5%と8割弱を占める。〔図6-1〕
- 今後受けたい、参加したい投資教育は、「YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ」（16.6%）、「学校での授業」（10.6%）が上位で、各種のセミナーは8～10%弱ほどみられるが、「この中であてはまるものはない」が67.7%と高い。〔図6-1〕

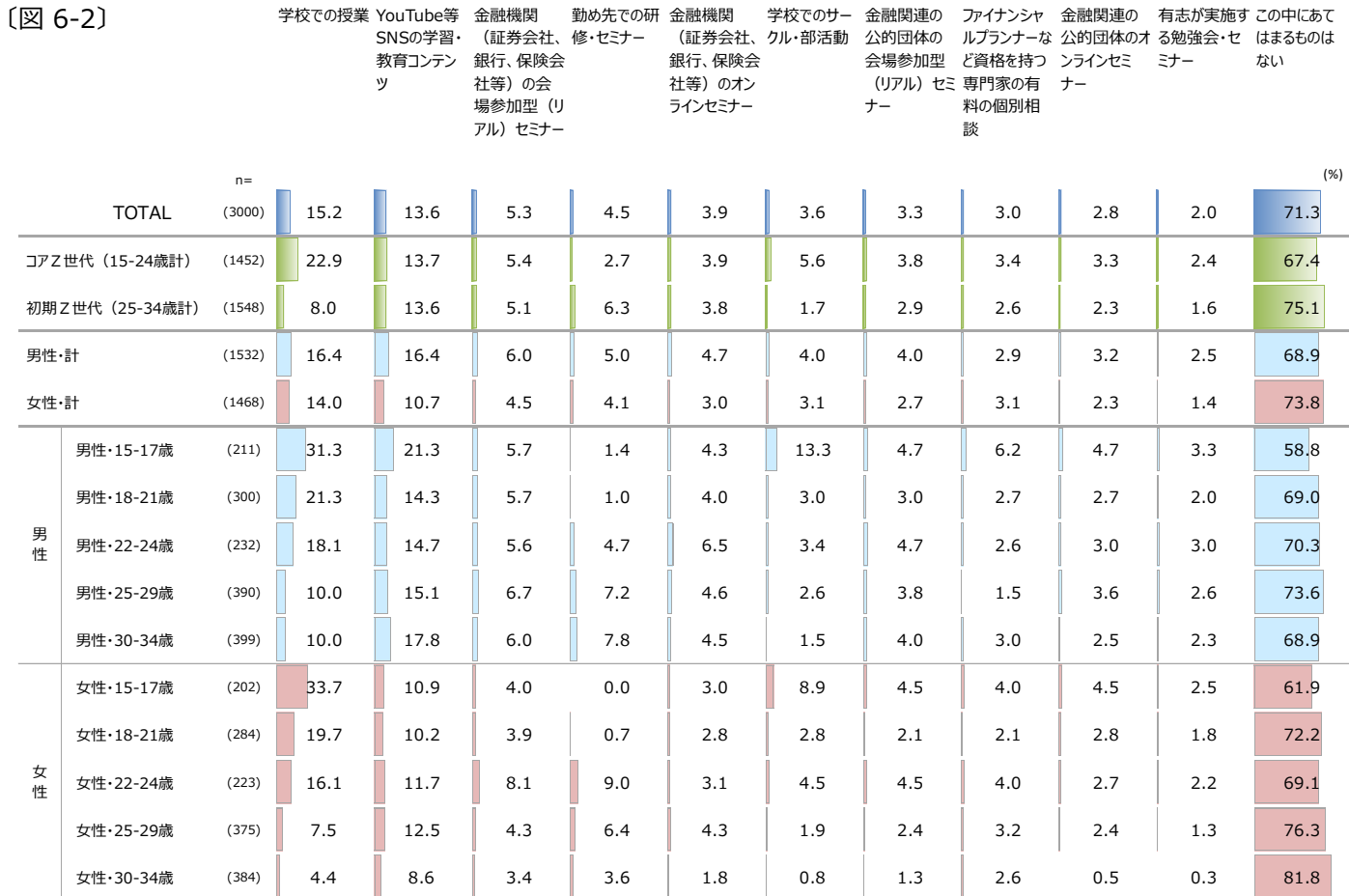
〔図 6-1〕



6. 投資に対する教育と学習

(2) 投資教育経験〔Q23①:重複回答〕

- 受けた・参加したことがある投資教育を属性別にみると、世代別では「学校での授業」がコアZ世代で高く、初期Z世代を14.9ポイント上回る。〔図6-2〕
- 性別では、「YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ」は男性の方が女性より5.7ポイント高い。性×年齢別では、男女ともに「学校での授業」は年齢が低いほど高い。「YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ」「学校でのサークル・部活動」は男性・15-17歳が高い。〔図6-2〕
- 投資経験別では、現在投資者は「YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ」「学校での授業」が高い。投資商品認知者・計（15-17歳）では「学校での授業」「YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ」「学校でのサークル・部活動」が他層に比べて高い。投資関心別（現在非投資者）では関心層、金融リテラシー別の高リテラシー層では「YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ」が高い。〔図6-3〕
- 投資イメージで『ポジティブなイメージのみ』回答した人は、「金融機関（証券会社、銀行、保険会社等）の会場参加型(リアル)セミナー」が他層に比べてやや高いが、『ネガティブなイメージのみ』回答した人は全般的に教育経験率が低い。購入意向で『投資信託・ETF・リートいずれか1つ以上回答あり』の人は「YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ」が高く、各種セミナーも1割以上のものが増えている。〔図6-3〕
- 「YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ」の利用経験者の動画視聴時間は平均で11.2分で、非利用経験者（8.6分）より2.6分長い。〔図6-4〕

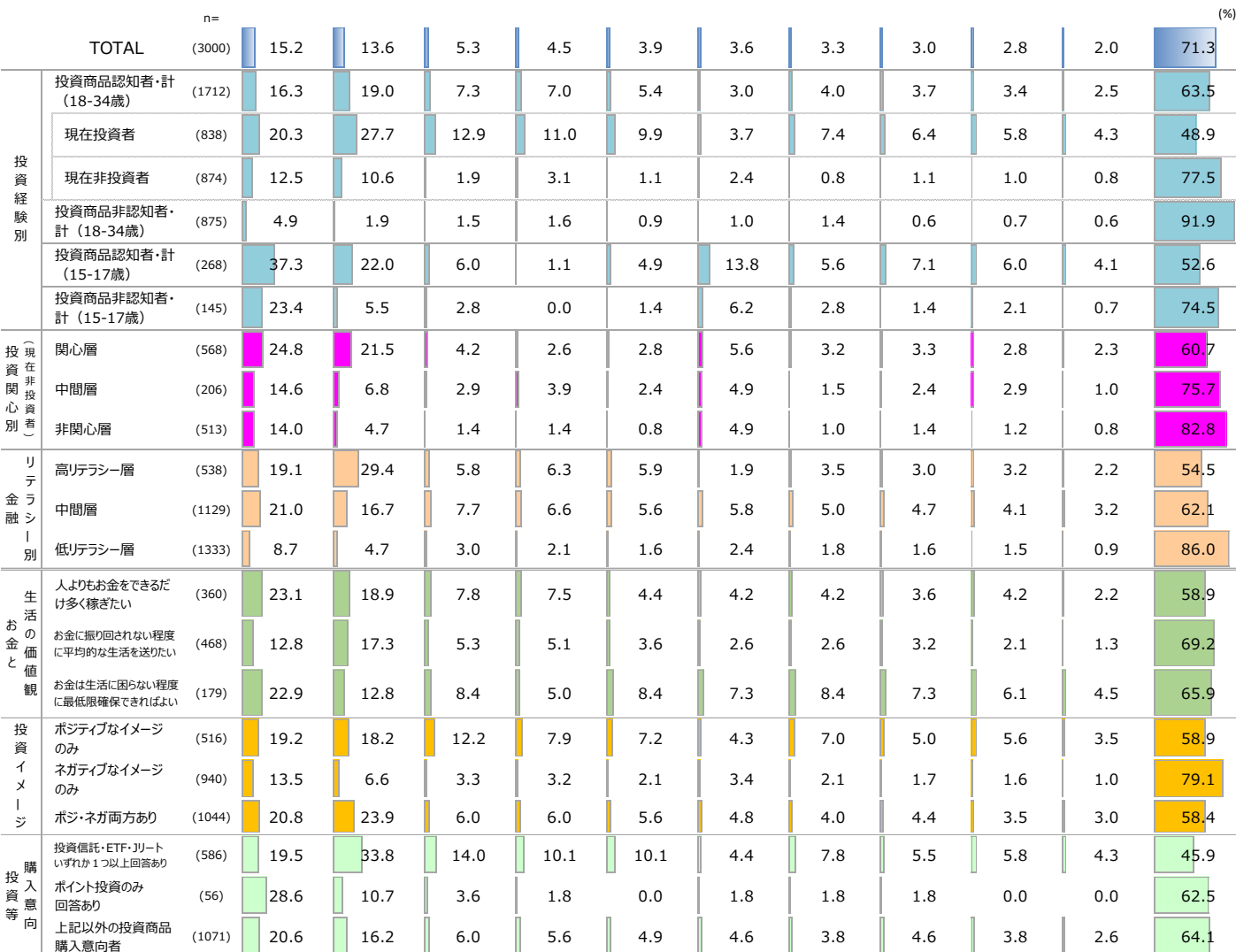


6. 投資に対する教育と学習

(2) 投資教育経験〔Q23①:重複回答〕

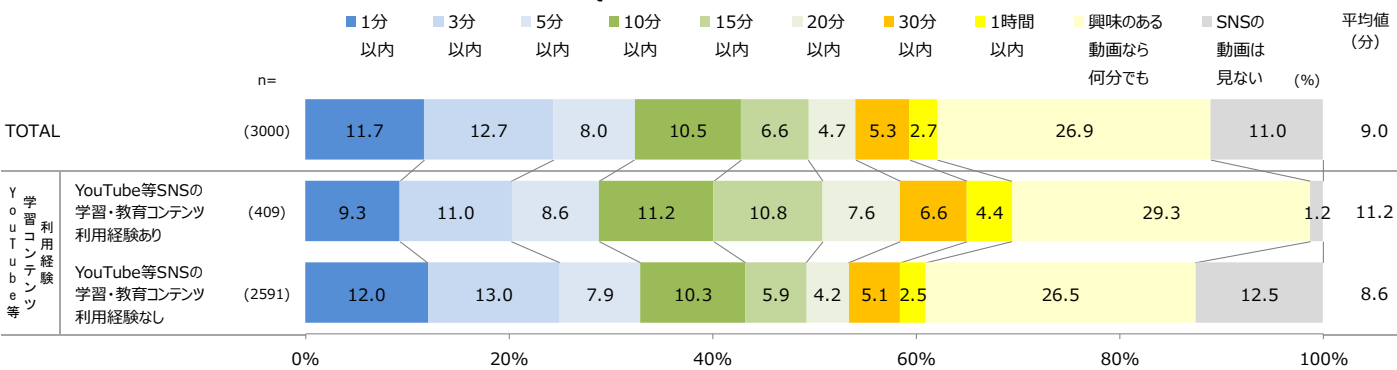
〔図 6-3〕

学校での授業 YouTube等 SNSの学習・教育コンテンツ 金融機関 (証券会社、銀行、保険会社等)の会場参加型(リアル)セミナー 勤め先での研修・セミナー 金融機関 (証券会社、銀行、保険会社等)のオンラインセミナー 学校でのサークル・部活動 金融関連の公的団体の会場参加型(リアル)セミナー 金融関連の公的団体のオンラインセミナー 有志が実施する勉強会・セミナー 学校でのサークル・部活動 金融関連の公的団体の会場参加型(リアル)セミナー 金融関連の公的団体のオンラインセミナー 有志が実施する勉強会・セミナー



〔図 6-4〕

SNS等動画視聴許容時間 (Q5)



6. 投資に対する教育と学習

(3) 投資教育による心理変容〔Q23②:重複回答〕

- 教育を受けて投資を始めたい気持ちになったものを属性別にみると、世代別では「学校での授業」がコアZ世代で初期Z世代より6.8ポイント高いほかは、顕著な差はみられない。〔図6-5〕
- 性別では、「YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ」は男性の方が女性より5.3ポイント高い。性×年齢別では、女性・15-17歳で「学校の授業」がやや高いほかは顕著な差はみられない。〔図6-5〕
- 投資経験別では、現在投資者は「YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ」が高く、投資関心別（現在非投資者）では関心層、金融リテラシー別の高リテラシー層でも高い。〔図6-6〕
- 投資イメージで『ポジティブなイメージのみ』回答した人は、『ネガティブなイメージのみ』の人に比べて上位項目が高い。購入意向で『投資信託・ETF・リートいずれか1つ以上回答あり』の人は「YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ」が高い。〔図6-6〕

〔図6-5〕

YouTube等 SNSの学習・教育コンテンツ
 学校での授業
 金融機関（証券会社、銀行、保険会社等）の会場参加型（リアル）セミナー
 勤め先での研修・セミナー
 金融機関（証券会社、銀行、保険会社等）のオンラインセミナー
 金融関連の公的団体の会場参加型（リアル）セミナー
 ファイナンシャルプランナーなど資格を持つ専門家の有料の個別相談
 金融関連の公的団体のオンラインセミナー
 学校でのサークル・部活動
 有志が実施する勉強会・セミナー
 この中にあてはまるものはない

	n=	10.5	6.7	3.7	2.9	2.6	2.5	2.1	2.0	1.5	1.4	78.8	
TOTAL	(3000)	10.5	6.7	3.7	2.9	2.6	2.5	2.1	2.0	1.5	1.4	78.8	
コアZ世代（15-24歳計）	(1452)	9.5	10.2	3.9	1.9	2.5	2.9	2.7	2.3	2.1	1.7	78.2	
初期Z世代（25-34歳計）	(1548)	11.4	3.4	3.4	3.8	2.6	2.2	1.6	1.7	0.9	1.1	79.5	
男性・計	(1532)	13.1	7.9	4.2	3.5	3.3	3.1	2.0	2.4	1.6	1.7	75.8	
女性・計	(1468)	7.8	5.4	3.1	2.2	1.9	1.9	2.3	1.5	1.4	1.0	82.0	
男性	男性・15-17歳	(211)	11.8	10.9	5.2	1.4	3.3	4.7	4.3	3.8	5.7	2.8	77.3
	男性・18-21歳	(300)	12.0	11.3	4.3	0.3	2.7	2.3	2.3	2.0	1.3	1.7	77.0
	男性・22-24歳	(232)	11.6	11.6	3.0	4.3	3.0	3.0	1.7	2.2	0.4	1.3	74.6
	男性・25-29歳	(390)	13.3	5.1	5.6	4.9	4.4	3.3	1.0	2.6	1.3	1.5	76.7
	男性・30-34歳	(399)	15.0	4.3	2.8	5.0	2.8	2.8	1.5	2.0	0.8	1.5	73.9
女性	女性・15-17歳	(202)	5.9	13.9	2.0	0.0	2.0	3.5	3.5	2.5	3.5	1.5	79.2
	女性・18-21歳	(284)	6.3	7.7	3.2	0.4	2.1	1.8	1.4	1.8	1.4	1.8	83.5
	女性・22-24歳	(223)	9.0	6.3	5.8	5.4	2.2	2.7	3.6	1.8	1.3	0.9	76.7
	女性・25-29歳	(375)	10.7	2.9	2.9	3.7	2.4	1.9	2.1	1.6	1.3	1.1	80.3
	女性・30-34歳	(384)	6.3	1.3	2.3	1.6	1.0	0.8	1.8	0.5	0.3	0.3	87.2

6. 投資に対する教育と学習

(3) 投資教育による心理変容〔Q23②:重複回答〕

〔図 6-6〕

YouTube等 SNSの学習・教育コンテンツ
 学校での授業
 金融機関（証券会社、銀行、保険会社等）の会場参加型（リアル）セミナー
 金融機関（証券会社、銀行、保険会社等）のオンラインセミナー
 金融機関の公的団体の会場参加型（リアル）セミナー
 ファインシュアランスプランナーなど資格を持つ専門家の有料の個別相談
 金融機関の公的団体のオンラインセミナー
 学校でのサークル・部活動
 有志が実施する勉強会・セミナー
 この中であてはまるものはない

		n=	10.5	6.7	3.7	2.9	2.6	2.5	2.1	2.0	1.5	1.4	78.8
TOTAL		(3000)	10.5	6.7	3.7	2.9	2.6	2.5	2.1	2.0	1.5	1.4	78.8
投資経験別	投資商品認知者・計 (18-34歳)	(1712)	15.5	7.9	5.1	4.5	3.6	3.0	2.6	2.4	1.3	1.6	70.6
	現在投資者	(838)	23.9	12.3	9.2	7.8	6.6	5.5	4.4	4.2	1.9	2.6	53.9
	現在非投資者	(874)	7.6	3.8	1.3	1.4	0.8	0.6	0.8	0.7	0.8	0.7	86.5
	投資商品非認知者・計 (18-34歳)	(875)	1.3	1.6	0.8	0.7	0.6	0.9	0.5	0.6	0.3	0.5	95.3
	投資商品認知者・計 (15-17歳)	(268)	12.3	15.3	4.9	1.1	3.7	5.6	5.6	4.1	6.3	3.4	73.1
	投資商品非認知者・計 (15-17歳)	(145)	2.8	6.9	1.4	0.0	0.7	1.4	0.7	1.4	1.4	0.0	87.6
投資関心別 (現在非投資者)	関心層	(568)	15.3	10.7	3.2	1.8	1.9	2.6	2.8	2.1	3.2	1.9	73.2
	中間層	(206)	3.9	2.4	2.4	1.5	1.9	1.5	1.5	1.5	1.5	0.5	88.3
	非関心層	(513)	1.6	3.5	0.6	0.4	0.6	0.8	0.8	0.8	1.0	0.6	93.8
金融リテラシー別	高リテラシー層	(538)	22.7	6.9	3.7	4.1	3.3	2.2	1.3	2.0	0.4	1.7	65.4
	中間層	(1129)	12.9	9.4	5.3	4.3	4.3	4.1	3.6	3.0	2.9	1.9	72.4
	低リテラシー層	(1333)	3.5	4.4	2.3	1.2	0.9	1.4	1.2	1.1	0.8	0.8	89.7
お金の価値観	人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい	(360)	14.4	9.4	5.8	4.7	2.8	2.8	3.1	2.8	1.7	1.7	70.6
	お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい	(468)	13.2	4.1	4.1	3.8	2.8	2.4	2.6	1.9	1.3	0.6	78.4
	お金は生活に困らない程度に最低限確保できればよい	(179)	10.1	12.3	5.0	3.4	6.1	7.3	4.5	5.6	3.9	2.8	74.9
投資イメージ	ポジティブなイメージのみ	(516)	16.1	12.4	9.5	5.8	4.3	5.2	3.7	4.3	2.3	2.5	63.6
	ネガティブなイメージのみ	(940)	4.3	5.0	1.9	1.2	1.6	1.3	1.3	1.2	1.1	0.5	87.2
	ポジ・ネガ両方あり	(1044)	17.9	8.0	4.0	4.2	3.8	3.4	3.1	2.3	2.1	2.0	69.8
投資等購入意向	投資信託・ETF・リートいずれか1つ以上回答あり	(586)	28.7	11.1	9.9	7.3	7.0	6.0	3.9	4.1	2.7	2.9	51.9
	ポイント投資のみ回答あり	(56)	7.1	12.5	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.6
	上記以外の投資商品購入意向者	(1071)	11.6	9.7	4.2	3.6	3.1	3.2	3.3	2.7	2.1	1.8	73.1

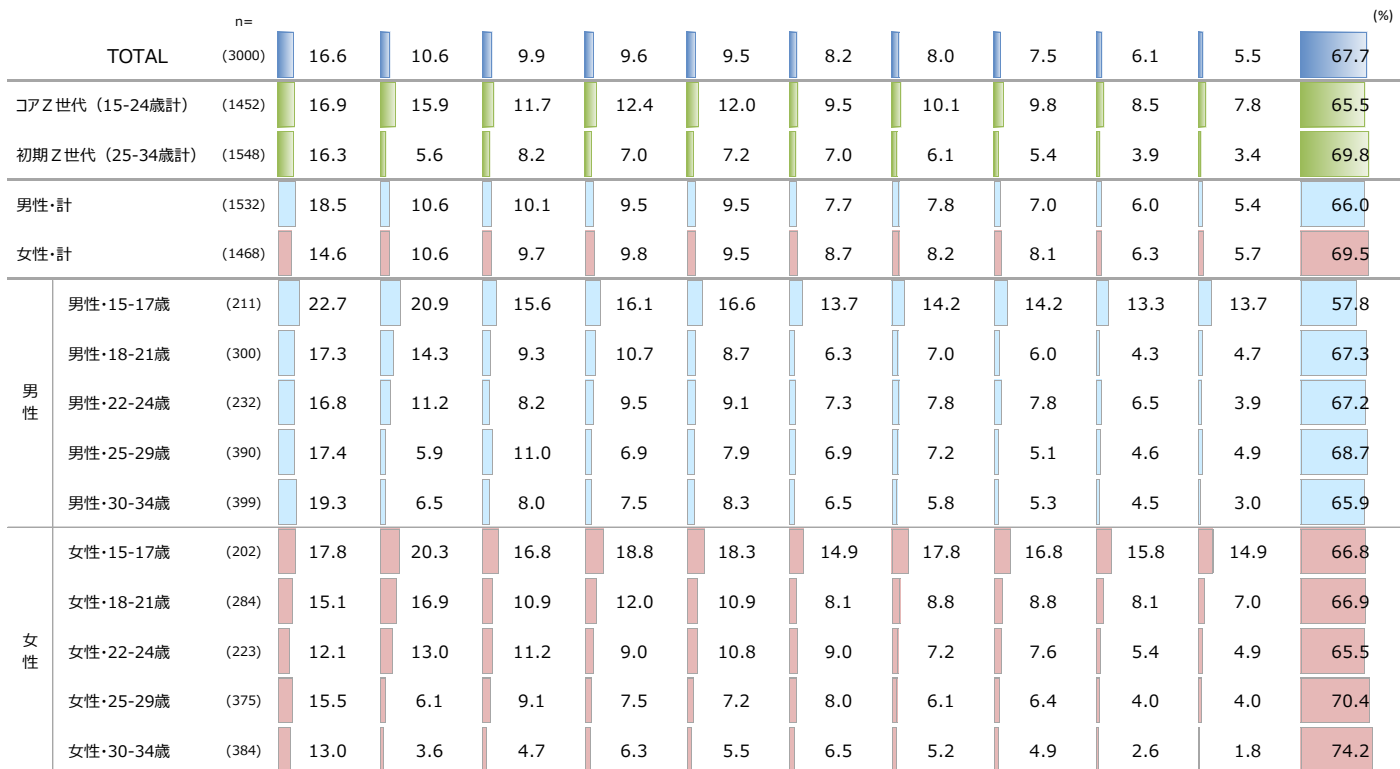
6. 投資に対する教育と学習

(4) 今後受きたい投資教育〔Q23③:重複回答〕

- 今後受きたい投資教育を属性別にみると、世代別では「学校での授業」がコアZ世代で高く、初期Z世代を10.3ポイント上回る。「金融機関（証券会社、銀行、保険会社等）の会場参加型（リアル）セミナー」もコアZ世代の方が5.4ポイント高い。〔図6-7〕
- 性別では顕著な違いはみられず、性×年齢別では、男女ともに「学校での授業」は年齢が低いほど高い。「YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ」は男性・15-17歳が高い。また、女性・15-17歳では、各項目ともに15~20%程度の意向がみられる。〔図6-7〕
- 投資経験別では、未成年である投資商品認知者・計（15-17歳）に、様々な項目で15~25%程度の意向がみられる。また、投資商品非認知者・計（15-17歳）でも、投資商品非認知者・計（18-34歳）に比べて、各項目での意向が高い。〔図6-8〕
- お金と生活の価値観で『人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい』人は、「YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ」が2割強で最も高く、各種のセミナーも1割以上である一方、『お金の振り回されない程度に平均的な生活を送りたい』人は多くの項目で1割未満と低い。〔図6-8〕
- 投資イメージで『ポジティブなイメージのみ』回答した人は、『ネガティブなイメージのみ』の人より「YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ」「学校での授業」が高い。購入意向で『投資信託・ETF・Jリートいずれか1つ以上回答あり』の人は「YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ」が高く、各種セミナーも1割以上となっている。〔図6-8〕

〔図6-7〕

YouTube等 SNSの学習・教育コンテンツ
 学校での授業
 金融機関（証券会社、銀行、保険会社等）のオンラインセミナー
 金融機関（証券会社、銀行、保険会社等）の会場参加型（リアル）セミナー
 勤め先での研修・セミナー
 ファイナンシャルプランナーなど資格を持つ専門家の有料の個別相談
 金融関連の公的団体のオンラインセミナー
 金融関連の公的団体の会場参加型（リアル）セミナー
 有志が実施する勉強会・セミナー
 学校でのサークル・部活動
 この中であてはまるものはない



6. 投資に対する教育と学習

(4) 今後受けたい投資教育〔Q23③:重複回答〕

〔図 6-8〕

YouTube等 SNSの学習・教育コンテンツ 学校での授業 金融機関（証券会社、銀行、保険会社等）のオンラインセミナー 金融機関（証券会社、銀行、保険会社等）の会場参加型（リアル）セミナー 勤め先での研修・セミナー ファイナンシャルプランナーなど資格を持つ専門家の有料的個別相談 金融関連の公的団体のオンラインセミナー 金融関連の公的団体の会場参加型（リアル）セミナー 有志が実施する勉強会・セミナー 学校でのサークル・部活動 この中であてはまるものはない

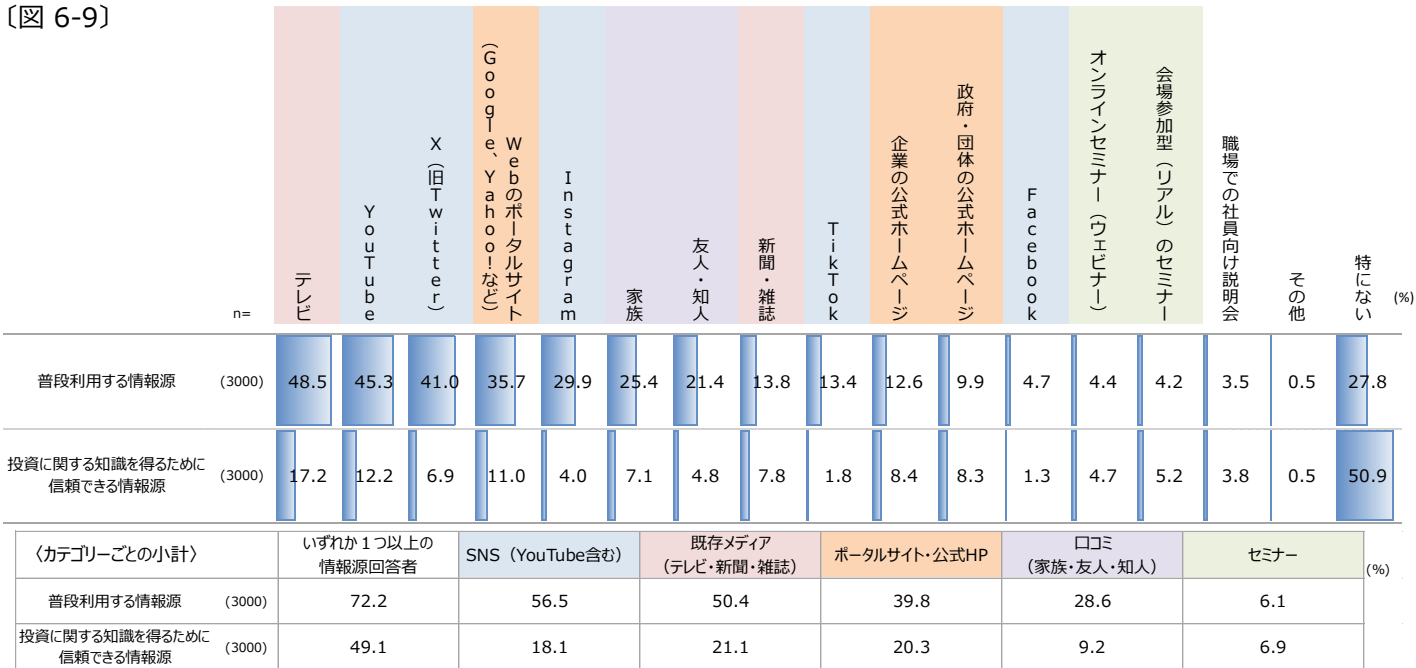
	n=	16.6	10.6	9.9	9.6	9.5	8.2	8.0	7.5	6.1	5.5	67.7	
TOTAL	(3000)											(%)	
投資経験別	投資商品認知者・計 (18-34歳)	(1712)	22.0	11.3	12.0	10.9	10.3	9.2	8.7	7.9	5.8	5.0	57.6
	現在投資者	(838)	26.3	13.0	13.6	13.4	11.1	10.6	9.9	9.1	6.2	5.6	45.0
	現在非投資者	(874)	18.0	9.6	10.4	8.6	9.6	7.9	7.6	6.9	5.4	4.3	69.7
	投資商品非認知者・計 (18-34歳)	(875)	4.2	4.5	2.9	3.4	4.2	3.3	2.9	3.0	2.9	2.5	90.1
	投資商品認知者・計 (15-17歳)	(268)	24.6	24.3	18.7	19.4	19.8	16.4	17.5	17.5	16.4	16.4	54.1
	投資商品非認知者・計 (15-17歳)	(145)	12.4	13.8	11.7	13.8	13.1	10.3	13.1	11.7	11.0	10.3	77.2
投資関心別 (現在非投資者)	関心層	(568)	31.3	19.7	20.4	17.1	18.8	15.3	15.8	14.8	11.6	11.8	49.3
	中間層	(206)	13.6	10.2	6.8	9.2	8.7	6.3	6.3	5.8	7.8	5.8	71.8
	非関心層	(513)	6.8	7.0	5.5	6.0	6.0	5.5	5.7	5.5	4.9	3.5	85.4
金融リテラシー別	高リテラシー層	(538)	30.7	8.4	12.8	11.7	10.8	9.9	10.2	8.7	4.6	3.9	51.1
	中間層	(1129)	20.1	14.6	13.0	12.4	12.4	10.0	10.0	9.4	8.0	7.5	57.2
	低リテラシー層	(1333)	8.0	8.0	6.1	6.5	6.6	6.0	5.4	5.5	5.2	4.5	83.3
お金の価値観	人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい	(360)	23.9	16.1	15.3	16.7	15.0	9.4	12.5	11.4	8.1	6.9	53.1
	お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい	(468)	18.8	6.4	9.4	7.9	8.3	9.4	6.6	5.8	4.3	4.5	66.2
	お金は生活に困らない程度に最低限確保できればよい	(179)	17.3	14.0	8.9	14.0	9.5	9.5	8.9	11.2	11.2	9.5	64.2
投資イメージ	ポジティブなイメージのみ	(516)	20.9	13.8	10.3	12.2	11.2	8.7	8.3	7.9	6.6	7.2	55.0
	ネガティブなイメージのみ	(940)	10.7	8.1	8.6	8.1	7.4	7.0	7.1	6.1	5.3	4.0	76.0
	ポジ・ネガ両方あり	(1044)	26.9	15.5	15.0	13.9	14.6	12.3	12.1	11.7	9.0	8.4	52.9
投資等購入意向	投資信託・ETF・リートいずれか1つ以上回答あり	(586)	32.3	13.0	18.8	18.1	16.0	13.8	15.2	11.9	10.4	8.0	39.1
	ポイント投資のみ回答あり	(56)	28.6	12.5	7.1	8.9	12.5	7.1	5.4	5.4	7.1	3.6	57.1
	上記以外の投資商品購入意向者	(1071)	22.5	16.9	13.5	12.8	13.0	11.4	10.1	10.7	7.5	7.8	55.6

6. 投資に対する教育と学習

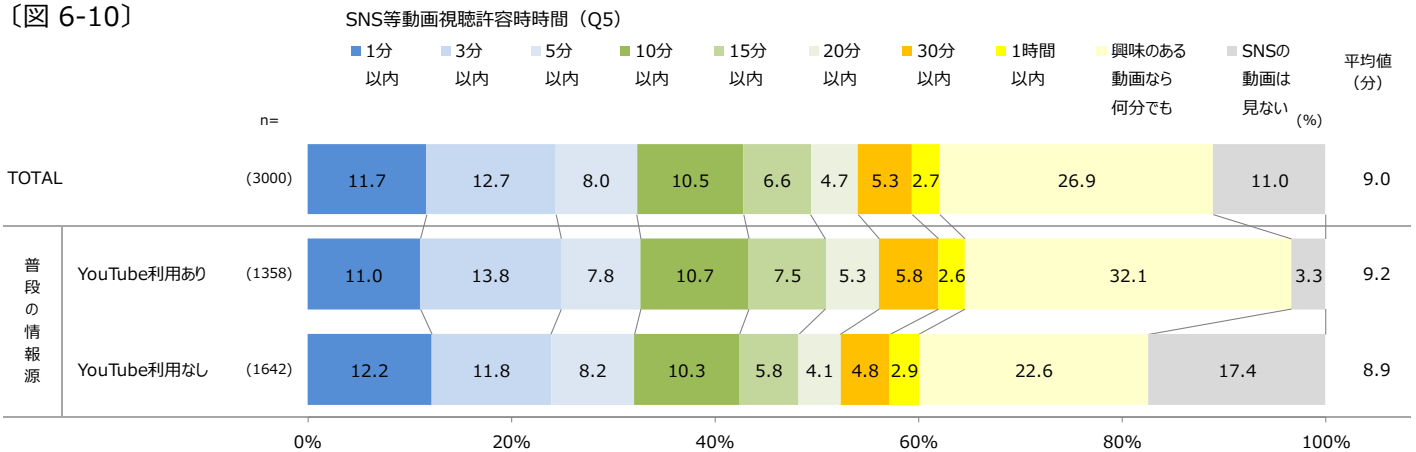
(5) 普段の情報源／投資に関する情報源として信頼できるもの 〔Q24①②:複数回答〕

- 普段の情報源については、「テレビ」(48.5%)、「YouTube」(45.3%)、「X (旧Twitter)」(41.0%) が4割以上で主要情報源となっている。「Webのポータルサイト (Google、Yahoo!など)」(35.7%)、「Instagram」(29.9%) が3割前後で続く。〔図6-9〕
- 投資に関する情報源として信頼できるものは、「テレビ」(17.2%)、「YouTube」(12.2%)、「Webのポータルサイト (Google、Yahoo!など)」(11.0%) が上位だが、いずれも2割に満たず、「特にならない」(50.9%) が半数を占める。〔図6-9〕
- 普段の情報源で、『SNS(YouTube含む)』に回答した人は全体の56.5%、同様に、『既存メディア』(50.4%)、「ポータルサイト・公式HP」(39.8%)、「口コミ」(28.6%)、「セミナー」(6.1%)の順。一方、投資の情報源として信頼できるものは、『既存メディア』(21.1%)、「ポータルサイト・公式HP」(20.3%)が、『SNS』(18.1%)を上回る。〔図6-9〕
- 普段の情報源として「YouTube」を選択した人としなかった人を比較すると、平均時間では大きな違いはないが、「興味のある動画なら何分でも」がYouTube利用ありの人の方が1割ほど上回る。〔図6-10〕

〔図 6-9〕



〔図 6-10〕



6. 投資に対する教育と学習

(6) 普段の情報源〔Q24①:複数回答〕

- 普段の情報源を属性別で見ると、世代別ではコアZ世代で「TikTok」（18.9%）が10.8ポイント、「Instagram」（33.9%）が7.7ポイント、初期Z世代を上回る。〔図6-11〕
- 性別では、「Instagram」は女性が男性より18.2ポイント高く、「TikTok」も7.7ポイント、「テレビ」も7.3ポイント、女性の方が高い。メディアのほか、「家族」も女性の方が8.9ポイント高い。性×年齢別では、「Instagram」「TikTok」は男女ともに年齢が低いほど、「企業の公式ホームページ」は年齢が高いほど回答率が高くなる傾向。また、女性では「家族」「友人・知人」は年齢による顕著な違いはみられない。〔図6-11〕
- 投資経験別では、各世代とも投資商品認知者が、非認知者に比べて各項目ともに高い。投資関心別（現在非投資者）の関心層は、他層に比べて「テレビ」「YouTube」「Instagram」のほか、「新聞・雑誌」「企業の公式ホームページ」「政府・団体の公式ホームページ」もやや高い。〔図6-12〕
- 年収別では、「テレビ」「YouTube」「X（旧Twitter）」等をはじめ、上位の情報源は年収が低い方が、「新聞・雑誌」やホームページ、セミナーといった下位の情報源は年収が高い方が回答率が高い。また、年収300万円未満では「家族」の回答率が高い。〔図6-12〕

〔図 6-11〕

	n=	テレビ	YouTube	X (旧Twitter)	Google Webのポータルサイト Yahoo!など	Instagram	家族	友人・知人	新聞・雑誌	TikTok	企業の公式ホームページ	政府・団体の公式ホームページ	Facebook	オンラインセミナー (ウェビナー)	会場参加型 (リアル)のセミナー	職場での社員向け説明会	その他	特にない	(%)	
TOTAL	(3000)	48.5	45.3	41.0	35.7	29.9	25.4	21.4	13.8	13.4	12.6	9.9	4.7	4.4	4.2	3.5	0.5	27.8		
コアZ世代 (15-24歳計)	(1452)	47.4	46.3	42.5	34.8	33.9	27.9	23.9	14.5	18.9	9.9	9.6	3.9	4.0	4.2	3.1	0.6	29.6		
初期Z世代 (25-34歳計)	(1548)	49.5	44.3	39.7	36.5	26.2	23.0	19.0	13.0	8.1	15.1	10.3	5.4	4.7	4.1	3.8	0.5	26.2		
男性・計	(1532)	44.9	46.9	39.0	36.5	21.0	21.0	18.0	15.4	9.6	13.3	10.1	5.2	4.4	4.2	3.5	0.7	29.5		
女性・計	(1468)	52.2	43.5	43.1	34.9	39.2	29.9	24.9	12.1	17.3	11.8	9.7	4.1	4.4	4.1	3.4	0.4	26.1		
男性	男性・15-17歳	(211)	55.5	54.5	42.7	40.3	31.3	31.8	30.3	21.3	19.9	8.5	11.4	3.8	2.4	3.3	3.3	0.5	27.0	
	男性・18-21歳	(300)	43.3	48.3	42.3	35.7	23.0	27.3	23.3	13.3	12.7	12.0	11.0	4.7	3.0	4.7	2.3	0.7	30.3	
	男性・22-24歳	(232)	35.8	41.4	40.5	34.5	22.0	16.8	12.5	11.6	6.5	11.6	8.6	4.3	5.2	4.3	1.7	0.9	31.0	
	男性・25-29歳	(390)	42.8	46.4	38.5	35.1	17.4	15.9	14.9	13.3	6.9	14.9	9.5	5.1	4.9	5.1	4.4	0.3	30.0	
	男性・30-34歳	(399)	47.9	45.6	34.3	37.6	17.0	18.0	13.8	18.0	6.3	16.3	10.3	7.0	5.5	3.5	4.8	1.0	28.8	
女性	女性・15-17歳	(202)	52.5	46.0	38.1	30.7	43.6	30.7	27.2	24.3	31.7	8.9	11.4	5.9	4.5	4.0	5.4	0.5	31.2	
	女性・18-21歳	(284)	50.4	48.6	47.5	35.9	45.4	32.0	26.8	10.6	25.7	8.1	7.0	2.5	4.6	3.5	2.1	0.0	27.8	
	女性・22-24歳	(223)	48.9	38.6	42.2	31.4	39.9	28.7	23.8	9.0	19.3	9.9	8.5	2.7	4.5	5.4	4.5	0.9	30.5	
	女性・25-29歳	(375)	50.4	43.2	45.9	34.7	36.8	26.9	22.9	9.1	11.7	12.5	10.4	3.7	4.3	4.0	4.0	0.3	22.9	
	女性・30-34歳	(384)	57.0	41.7	40.4	38.5	34.4	31.5	24.7	11.5	7.8	16.4	10.9	5.5	4.2	3.9	2.1	0.5	22.7	

6. 投資に対する教育と学習

(6) 普段の情報源〔Q24①:複数回答〕

〔図 6-12〕

		n=	テレビ	YouTube	X (旧Twitter)	Google, Yahoo!など Webのポータルサイト	Instagram	家族	友人・知人	新聞・雑誌	TikTok	企業の公式ホームページ	政府・団体の公式ホームページ	Facebook	オンラインセミナー (ウェビナー)	会場参加型 (リアル) のセミナー	職場での社員向け説明会	その他	特にない (%)
TOTAL		(3000)	48.5	45.3	41.0	35.7	29.9	25.4	21.4	13.8	13.4	12.6	9.9	4.7	4.4	4.2	3.5	0.5	27.8
投資経験別	投資商品認知者・計 (18-34歳)	(1712)	57.7	56.1	51.1	45.9	34.8	31.5	25.9	16.7	13.6	18.4	13.7	6.1	6.5	5.9	4.5	0.8	11.8
	現在投資者	(838)	52.1	54.1	45.3	44.7	31.4	22.7	19.7	18.6	12.8	20.2	15.5	8.1	10.4	9.3	6.0	1.1	10.1
	現在非投資者	(874)	63.0	58.1	56.6	47.0	38.0	40.0	31.8	14.9	14.4	16.7	11.9	4.1	2.9	2.6	3.1	0.5	13.4
	投資商品非認知者・計 (18-34歳)	(875)	27.8	21.6	21.6	15.8	17.0	10.5	9.0	3.8	7.1	3.0	1.9	1.8	0.6	1.0	1.0	0.1	58.6
	投資商品認知者・計 (15-17歳)	(268)	63.1	60.1	48.5	44.8	41.8	39.6	35.4	27.2	28.0	11.2	14.9	6.7	4.5	4.9	4.5	0.7	19.4
	投資商品非認知者・計 (15-17歳)	(145)	37.2	32.4	25.5	18.6	29.0	15.9	16.6	14.5	21.4	4.1	4.8	1.4	1.4	1.4	4.1	0.0	46.9
投資関心別 (現在非投資者)	関心層	(568)	65.1	60.2	54.8	46.0	42.3	37.3	34.3	21.7	19.7	17.4	17.4	6.3	4.9	4.0	5.6	0.4	11.4
	中間層	(206)	55.3	48.5	46.1	35.4	35.0	35.4	25.7	13.6	17.0	8.7	8.7	1.9	2.4	3.4	3.4	0.5	21.4
	非関心層	(513)	56.5	53.4	49.9	43.7	33.9	37.8	29.0	14.2	16.6	12.7	6.6	3.1	1.2	1.6	1.2	0.6	25.0
金融リテラシー別	高リテラシー層	(538)	59.1	64.7	56.1	56.5	34.2	32.7	32.0	22.1	11.7	27.0	21.2	7.6	8.9	6.5	5.6	1.5	7.4
	中間層	(1129)	58.3	55.2	51.1	43.0	37.2	33.7	27.3	16.9	17.3	14.1	12.3	5.7	5.7	5.8	5.0	0.5	13.7
	低リテラシー層	(1333)	35.9	29.0	26.4	21.1	22.1	15.4	12.1	7.7	10.7	5.5	3.4	2.6	1.4	1.8	1.4	0.2	48.0
投資意識別	積極投資・短期投資意向層	(753)	30.8	32.8	28.4	22.2	20.2	12.7	12.4	10.0	10.1	10.1	7.4	5.4	3.7	4.4	3.3	0.8	46.2
	長期投資意向層	(1312)	56.9	54.4	47.6	44.0	34.3	30.2	26.6	17.2	14.2	16.2	14.0	5.1	6.9	5.9	4.9	0.5	14.0
	投資拒否層	(935)	50.8	42.5	42.0	35.0	31.7	28.8	21.3	12.0	14.9	9.5	6.2	3.4	1.3	1.5	1.6	0.4	32.4
お金の話を するかどうか と お金の話を する親と お金の話を する親と	投資の話を する	(255)	58.0	62.4	49.4	52.2	37.3	40.0	29.4	25.1	17.6	27.1	22.7	9.4	11.4	11.4	9.4	1.2	8.6
	将来のお金、貯蓄・保険・奨学金などの話を する	(583)	63.8	59.5	53.5	49.4	41.2	39.1	32.6	21.4	18.7	17.2	15.4	6.3	6.0	7.0	4.8	0.9	13.9
	おこづかい・生活費の話を する	(446)	61.9	52.5	47.1	41.3	37.2	32.5	28.7	20.0	19.7	13.2	12.1	4.5	4.3	4.0	4.3	0.7	14.8
	お金の話を することは ない	(1239)	37.1	36.3	35.3	27.9	21.7	15.1	13.7	7.7	9.1	8.4	4.8	3.1	1.7	0.9	1.2	0.3	42.1
個人年収 別	～300万円未満	(616)	52.1	47.4	43.2	36.7	32.0	25.2	21.4	11.9	12.5	13.0	9.3	3.9	3.1	3.1	3.1	0.5	26.3
	～500万円未満	(491)	48.3	44.0	39.9	36.7	28.7	17.9	18.3	13.0	10.0	14.7	10.6	5.7	7.1	4.9	4.1	0.4	19.8
	500万円以上	(227)	46.7	43.2	35.7	38.3	23.8	18.5	19.8	18.5	10.1	17.2	12.8	9.3	10.1	9.3	9.7	0.4	22.0

6. 投資に対する教育と学習

(7) 投資に関する情報源として信頼できるもの〔Q24②:複数回答〕

- 投資に関する情報源として信頼できるものを属性別でみると、世代別では、「政府・団体の公式ホームページ」が、コアZ世代で初期Z世代より5.6ポイント上回る。〔図6-13〕
- 性別では、「YouTube」は男性の方が5.6ポイント、「家族」は女性の方が5.5ポイント高い。性×年齢別では、男女ともに15-17歳は「テレビ」「新聞・雑誌」が他の年齢層に比べてやや高い。〔図6-13〕
- 投資経験別では、投資商品認知者・計（15-17歳）は「テレビ」「新聞・雑誌」が他層に比べて高い。投資関心別（現在非投資者）の関心層では、上位項目を中心に10～20%ほどの項目が多くみられ、「政府・団体の公式ホームページ」は「テレビ」に次いで2番目に高い。〔図6-14〕
- 年収別では、500万円以上の層は、それ以下の層に比べて多くの情報源で高めとなっている。〔図6-14〕

〔図 6-13〕

		n=	テレビ	YouTube	(Google、Yahoo!など) Webのポータルサイト	企業の公式ホームページ	政府・団体の公式ホームページ	新聞・雑誌	家族	X (旧Twitter)	会場参加型(リアル)のセミナー	友人・知人	オンラインセミナー(ウェビナー)	Instagram	職場での社員向け説明会	TikTok	Facebook	その他	特にない (%)
TOTAL		(3000)	17.2	12.2	11.0	8.4	8.3	7.8	7.1	6.9	5.2	4.8	4.7	4.0	3.8	1.8	1.3	0.5	50.9
コアZ世代 (15-24歳計)		(1452)	18.7	9.7	10.2	9.0	11.2	10.0	7.6	6.1	7.0	4.8	5.6	3.6	4.7	2.4	1.8	0.5	51.8
初期Z世代 (25-34歳計)		(1548)	15.7	14.5	11.8	7.9	5.6	5.7	6.5	7.6	3.4	4.8	3.7	4.4	3.0	1.2	0.8	0.5	50.1
男性・計		(1532)	16.3	14.9	13.3	8.7	7.7	8.0	4.4	8.2	4.2	4.5	4.7	2.9	2.9	1.6	1.3	0.6	50.7
女性・計		(1468)	18.1	9.3	8.6	8.1	9.0	7.5	9.9	5.5	6.1	5.1	4.6	5.2	4.8	1.9	1.2	0.3	51.2
男性	男性・15-17歳	(211)	25.6	10.9	13.7	10.0	11.4	14.7	6.6	6.6	10.0	6.2	7.6	3.3	5.2	2.8	2.8	0.5	47.4
	男性・18-21歳	(300)	19.3	10.7	14.0	9.7	13.0	7.3	5.7	7.3	6.0	4.0	5.3	2.3	4.3	2.7	1.0	0.7	51.3
	男性・22-24歳	(232)	10.3	14.7	11.6	7.3	7.3	7.3	2.6	8.6	1.7	2.2	4.7	3.9	0.9	0.9	1.7	0.4	53.0
	男性・25-29歳	(390)	10.8	19.2	15.9	8.5	5.4	5.9	4.1	9.5	3.1	5.6	3.8	3.1	1.8	1.5	1.3	0.0	51.8
	男性・30-34歳	(399)	18.0	16.0	11.0	8.5	4.3	7.5	3.5	8.0	2.5	4.3	3.5	2.3	2.8	0.8	0.5	1.3	49.6
女性	女性・15-17歳	(202)	22.8	5.9	7.4	7.9	12.9	18.3	13.4	3.5	9.9	5.9	6.9	4.5	5.9	2.0	2.0	0.0	48.0
	女性・18-21歳	(284)	16.9	9.2	6.7	9.2	10.9	7.7	9.2	3.9	8.1	4.6	4.9	2.5	5.6	2.5	1.4	0.4	56.3
	女性・22-24歳	(223)	18.8	6.3	7.2	9.9	11.7	7.2	9.4	6.3	7.2	6.3	4.9	5.8	6.3	3.6	2.2	0.9	52.9
	女性・25-29歳	(375)	15.5	12.5	11.7	6.4	8.0	4.0	8.8	6.9	4.5	5.1	4.0	5.9	4.3	1.1	0.5	0.3	48.5
	女性・30-34歳	(384)	18.5	9.9	8.3	8.1	4.9	5.2	9.9	6.0	3.6	4.4	3.6	6.5	3.1	1.3	0.8	0.3	50.5

6. 投資に対する教育と学習

(7) 投資に関する情報源として信頼できるもの〔Q24②:複数回答〕

〔図 6-14〕

		n=	テレビ	YouTube	(Google, Yahoo! など) Webのポータルサイト	企業の公式ホームページ	政府・団体の公式ホームページ	新聞・雑誌	家族	X (旧Twitter)	会場参加型 (リアル) のセミナー	友人・知人	オンラインセミナー (ウェビナー)	Instagram	職場での社員向け説明会	TikTok	Facebook	その他	特にない (%)
TOTAL		(3000)	17.2	12.2	11.0	8.4	8.3	7.8	7.1	6.9	5.2	4.8	4.7	4.0	3.8	1.8	1.3	0.5	50.9
投資経験別	投資商品認知者・計 (18-34歳)	(1712)	20.0	17.5	15.2	11.7	10.8	8.6	8.9	9.2	5.8	5.8	5.9	5.2	4.5	2.2	1.3	0.8	36.7
	現在投資者	(838)	21.1	25.9	20.0	13.8	10.3	11.1	8.2	13.4	5.6	5.7	6.9	7.8	3.9	3.0	2.0	1.1	23.2
	現在非投資者	(874)	18.9	9.4	10.5	9.7	11.3	6.3	9.5	5.3	6.1	5.9	4.9	2.7	5.0	1.5	0.6	0.5	49.7
	投資商品非認知者・計 (18-34歳)	(875)	8.3	3.5	3.0	1.7	1.7	1.9	2.2	3.1	1.6	2.2	1.0	1.7	1.6	0.6	0.7	0.0	80.3
	投資商品認知者・計 (15-17歳)	(268)	28.4	9.3	12.7	10.4	16.0	20.1	13.1	4.9	13.1	6.3	9.3	3.7	7.1	2.2	1.9	0.4	39.2
	投資商品非認知者・計 (15-17歳)	(145)	16.6	6.9	6.9	6.2	4.8	9.7	4.1	5.5	4.1	5.5	3.4	4.1	2.8	2.8	3.4	0.0	63.4
投資関心別 (現在非投資者)	関心層	(568)	24.5	15.3	16.5	13.9	17.6	14.4	12.1	7.9	10.0	8.1	8.1	5.8	6.9	3.0	1.6	0.2	31.2
	中間層	(206)	22.8	5.8	8.3	5.8	7.3	8.3	8.7	6.3	4.9	6.3	4.9	1.5	3.9	2.9	1.9	0.5	56.3
	非関心層	(513)	15.4	3.5	4.9	6.0	6.6	4.7	7.2	1.8	5.3	3.5	3.3	0.8	3.9	0.0	0.4	0.6	65.9
金融リテラシー別	高リテラシー層	(538)	19.9	22.7	20.1	17.5	15.1	12.8	9.1	11.5	4.6	6.9	6.5	3.9	4.1	0.6	0.7	1.5	27.7
	中間層	(1129)	22.0	15.0	14.4	10.5	12.0	10.3	10.5	9.0	8.1	6.2	7.1	6.3	6.3	3.0	2.2	0.5	38.0
	低リテラシー層	(1333)	12.0	5.6	4.4	3.0	2.6	3.6	3.4	3.2	2.9	2.8	1.9	2.1	1.6	1.2	0.7	0.0	71.3
投資意識別	積極投資・短期投資意向層	(753)	13.9	14.7	10.0	7.3	5.4	6.8	3.7	9.4	4.0	3.9	3.9	3.7	2.7	2.5	1.5	0.8	56.2
	長期投資意向層	(1312)	21.1	16.5	16.3	11.6	12.4	10.3	10.4	8.3	7.3	6.9	6.9	5.6	4.9	1.9	1.5	0.3	34.5
	投資拒否層	(935)	14.2	4.1	4.4	4.9	4.9	5.0	5.0	2.8	3.1	2.7	2.1	2.0	3.2	1.0	0.7	0.4	69.8
お金の話をするかどうか (ふだん親と)	投資の話をする	(255)	25.5	24.7	20.4	18.0	17.3	16.1	18.0	13.7	11.4	9.0	11.8	9.0	7.5	4.3	4.3	1.2	26.3
	将来のお金・貯蓄・保険・奨学金などの話をする	(583)	21.4	13.6	13.4	13.4	15.8	12.5	9.9	8.4	10.5	5.8	7.5	5.0	7.7	2.1	2.1	0.7	36.7
	おこづかい・生活費の話をする	(446)	25.6	11.0	12.8	8.3	11.2	12.8	8.3	7.4	6.3	6.5	4.5	4.0	4.7	2.7	1.6	0.7	39.9
	お金の話をするのではない	(1239)	10.9	8.6	7.9	4.8	3.7	3.3	2.4	4.2	1.8	2.9	2.3	2.1	1.4	0.6	0.3	0.2	67.7
個人年収	～300万円未満	(616)	17.0	13.3	8.3	8.0	6.5	5.5	7.0	6.0	3.2	5.5	3.1	4.4	3.7	1.6	1.0	0.6	53.2
	～500万円未満	(491)	17.9	19.3	16.1	8.1	7.3	7.3	5.9	10.4	4.1	5.1	5.5	6.1	3.1	1.6	0.8	0.4	36.3
	500万円以上	(227)	18.5	20.7	15.4	11.0	6.6	8.4	6.2	11.5	6.2	7.0	8.4	5.7	6.2	2.6	2.6	0.4	33.5

7. 投資に関する困難や課題



7. 投資に関する困難や課題

(1) 投資を始める際のハードル〔Q25:複数回答〕

- 投資を始める際のハードル（経験したもの・想定されるもの）は、「投資にあてるお金がない（余裕がない）」（46.7%）が半数弱と最も高く、「投資について理解できている自信がない」（37.6%）、「投資に関する情報が少ない」（35.1%）が上位。〔図7-1〕
- 世代別では、コアZ世代で、「投資に関する情報が少ない」が初期Z世代に比べて7.8ポイント、「投資について理解できている自信がない」が5.2ポイント高い。〔図7-1〕
- 性別では、女性の方が男性より高い項目が多く、「投資について理解できている自信がない」が11.7ポイントと特に差が大きい。「投資に関する情報が少ない」は9.2ポイント、「お金が減ることがこわい」は6.8ポイント、「投資にあてるお金がない（余裕がない）」が5.9ポイント、それぞれ女性の方が高い。性×年齢別では、男性は上位項目を中心に年齢が上がるにつれて低くなるが、女性では「投資に関する情報が少ない」を除いては、年齢による差が小さい。〔図7-1〕
- 投資経験別では、現在非投資者は「投資にあてるお金がない（余裕がない）」が63.7%と特に高い。これ以外の項目については、投資関心別（現在非投資者）の関心層では、「投資について理解できている自信がない」「投資に関する情報が少ない」「相談できる人がいない」が他層に比べて高い。〔図7-2〕
- お金に関する選好について『将来を考えてお金を着実に準備しておきたい』人では、「投資について理解できている自信がない」「投資に関する情報が少ない」「お金が減ることがこわい」が『先のことよりも、今のためにお金を使いたい』人を上回る。投資イメージで『ネガティブなイメージのみ』回答者は『ポジティブなイメージのみ』の人に比べて、「投資にあてるお金がない（余裕がない）」「お金が減ることがこわい」が特に高い。〔図7-2〕

〔図7-1〕

		n=	投資にあてる お金がない (余裕がない)	投資について 理解できている 自信がない	投資に関する 情報が少ない	お金が減る ことがこわい	相談できる人 がいない	投資のことに 使う時間がな い	投資を始める 目的が見いだ せない	親(実父・実 母)の理解を 得られない	配偶者・ パートナーの 理解を得られ ない	その他	わからない・ 特にな	(%)
TOTAL		(3000)	46.7	37.6	35.1	29.4	16.8	11.6	7.1	2.6	0.8	0.3	23.8	
コアZ世代(15-24歳計)		(1452)	47.7	40.3	39.1	30.4	18.5	12.9	8.2	3.1	0.1	0.4	23.8	
初期Z世代(25-34歳計)		(1548)	45.8	35.1	31.3	28.5	15.2	10.3	6.1	2.2	1.4	0.3	23.8	
男性・計		(1532)	43.8	31.9	30.6	26.1	15.9	11.7	6.0	2.7	1.3	0.5	27.7	
女性・計		(1468)	49.7	43.6	39.8	32.9	17.8	11.4	8.2	2.6	0.2	0.1	19.8	
男性	男性・15-17歳	(211)	56.9	46.0	41.7	37.9	23.7	16.1	8.5	4.7	0.0	0.9	15.2	
	男性・18-21歳	(300)	42.7	31.7	32.0	26.0	15.3	12.0	4.3	2.3	0.0	0.3	31.3	
	男性・22-24歳	(232)	46.6	33.6	28.4	25.0	16.8	11.6	7.8	3.0	0.0	0.9	27.6	
	男性・25-29歳	(390)	40.0	26.2	30.3	23.8	14.1	12.6	6.4	2.8	1.5	0.3	30.3	
	男性・30-34歳	(399)	39.8	29.3	25.3	22.8	13.3	8.3	4.5	1.5	3.5	0.5	29.3	
女性	女性・15-17歳	(202)	44.6	49.5	45.5	36.6	16.3	12.9	10.9	5.0	0.0	0.0	21.3	
	女性・18-21歳	(284)	47.9	43.0	44.0	31.3	17.6	11.6	9.2	1.8	0.4	0.4	23.9	
	女性・22-24歳	(223)	49.3	41.7	45.3	28.3	22.9	14.3	9.9	2.7	0.0	0.0	20.2	
	女性・25-29歳	(375)	53.3	41.3	34.1	33.1	16.3	11.2	8.3	2.7	0.3	0.0	18.4	
	女性・30-34歳	(384)	50.5	44.3	35.9	34.6	17.2	9.1	5.2	1.8	0.3	0.3	16.9	

7. 投資に関する困難や課題

(1) 投資を始める際のハードル〔Q25:複数回答〕

〔図 7-2〕

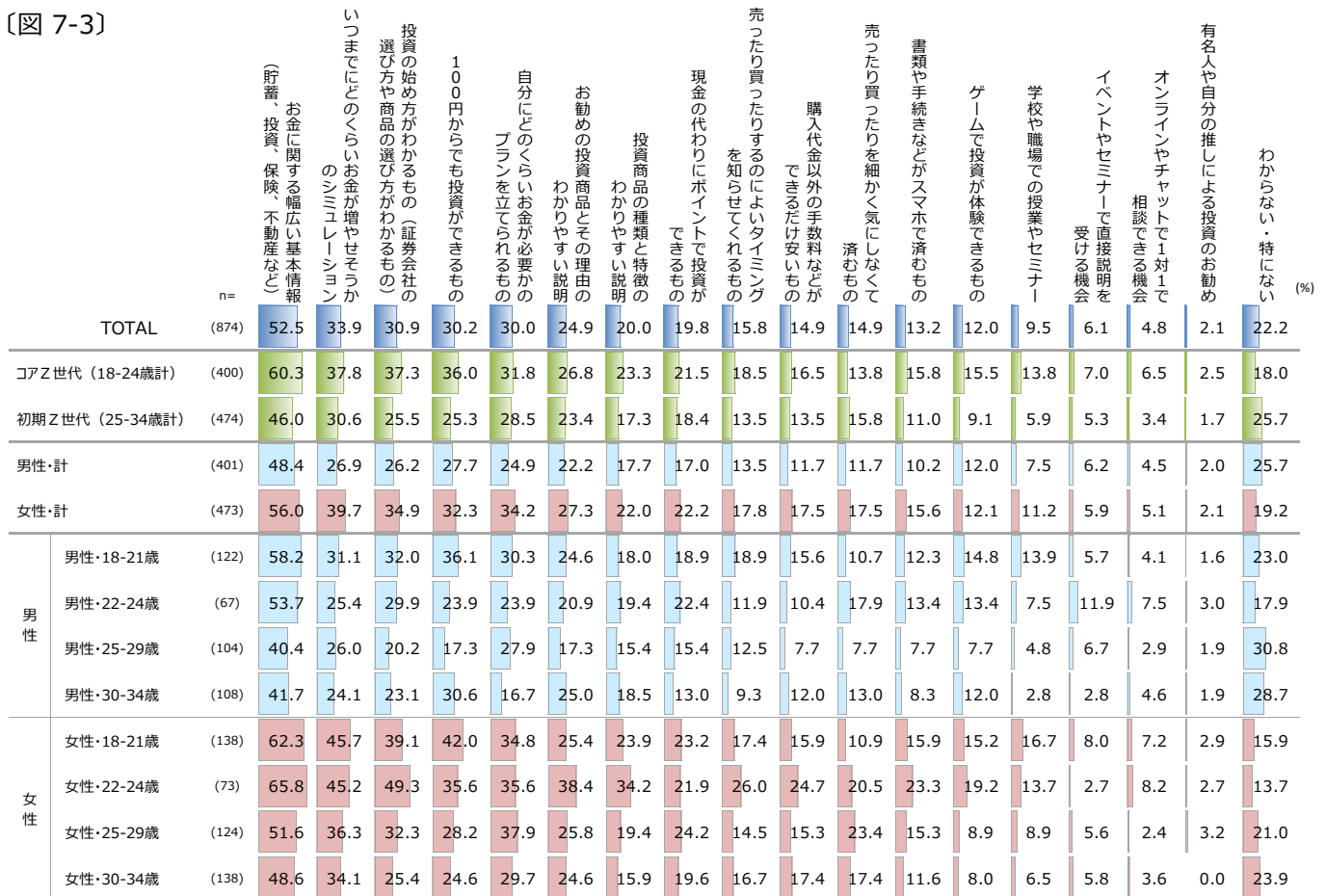
		投資にあてる お金がない (余裕がない)	投資について 理解できてい る自信がない	投資に関する 情報が少ない	お金が減る ことがこわい	相談できる人 がいない	投資のことに 使う時間がない	投資を始める 目的が見いだ せない	親(実父・実 母)の理解を 得られない	配偶者・ パートナーの 理解を得られ ない	その他	わからない・ 特にな
TOTAL (n=3000)		46.7	37.6	35.1	29.4	16.8	11.6	7.1	2.6	0.8	0.3	23.8
投資 経験 別	投資商品認知者・計 (18-34歳) (1712)	54.3	45.7	42.2	35.0	19.8	13.1	7.4	2.3	1.1	0.4	10.6
	現在投資者 (838)	44.4	37.7	37.8	27.6	19.5	10.7	6.3	2.3	1.8	0.6	12.6
	現在非投資者 (874)	63.7	53.3	46.5	42.2	20.1	15.3	8.4	2.3	0.3	0.2	8.7
	投資商品非認知者・ 計 (18-34歳) (875)	29.9	17.1	17.1	14.7	9.4	7.2	5.4	2.3	0.6	0.1	52.3
	投資商品認知者・計 (15-17歳) (268)	57.8	59.3	50.0	47.8	25.7	17.9	10.8	5.2	0.0	0.7	7.1
	投資商品非認知者・ 計 (15-17歳) (145)	37.9	26.2	31.7	17.9	9.7	8.3	7.6	4.1	0.0	0.0	38.6
投資 関心 別 (現在 非投 資者)	関心層 (568)	62.7	61.1	52.8	38.4	25.0	14.6	4.9	3.2	0.5	0.4	6.5
	中間層 (206)	56.8	47.1	39.8	43.7	18.4	12.1	7.3	3.4	0.0	0.0	14.1
	非関心層 (513)	57.3	42.7	39.8	41.9	15.4	16.8	13.6	2.9	0.0	0.4	16.6
リテ ラシー 別 金融	高リテラシー層 (538)	54.6	43.3	36.2	36.4	19.0	12.8	3.9	2.4	0.9	1.1	13.2
	中間層 (1129)	53.9	51.9	47.6	38.5	22.9	16.8	9.7	3.4	1.2	0.2	9.0
	低リテラシー層 (1333)	37.4	23.3	24.1	18.9	10.8	6.6	6.2	2.1	0.3	0.2	40.7
投資 意図 別	積極投資・短期投資 意向層 (753)	29.2	19.9	20.8	14.5	12.1	8.0	4.0	2.3	1.7	0.3	43.3
	長期投資意向層 (1312)	49.6	48.7	45.4	32.2	19.9	12.6	5.9	2.7	0.6	0.5	11.7
	投資拒否層 (935)	56.7	36.4	32.1	37.5	16.3	13.0	11.2	2.9	0.2	0.2	25.1
お 金 の 話 を す る か お 金 に 関 する お 金 に 関 する お 金 に 関 する お 金 に 関 する	投資の話をする (255)	50.2	51.0	45.1	39.6	22.4	16.1	8.2	2.7	0.8	0.8	11.0
	将来のお金、貯蓄・ 保険・奨学金などの 話をする (583)	59.5	53.3	47.9	42.2	26.6	18.5	13.0	4.6	0.3	0.7	8.2
	おこづかい・生活費の 話をする (446)	56.5	43.9	47.8	32.7	19.7	13.5	8.1	4.9	0.2	0.0	12.1
	お金の話をすることは ない (1239)	38.9	28.0	24.6	23.4	10.8	8.2	4.6	1.9	0.2	0.2	37.9
お 金 に 関 する 短 期 ・ 長 期 選 好	先のことよりも、今の ためにお金を使いたい (261)	58.2	43.7	40.6	36.4	21.5	16.9	12.6	3.4	0.4	0.0	13.4
	将来を考えてお金を 着実に準備しておきたい (889)	54.7	54.7	47.1	42.1	22.4	13.6	6.9	2.2	0.9	0.8	10.1
	両方回答あり (160)	64.4	60.0	58.8	50.6	34.4	21.9	13.8	6.3	1.3	0.6	6.9
	両方回答なし (1690)	39.1	25.6	25.7	19.7	11.5	8.7	5.7	2.4	0.7	0.1	34.3
投資 イメ ージ	ポジティブなイメージ のみ (516)	35.5	26.4	31.0	12.4	14.3	8.5	5.6	2.7	1.0	0.2	18.8
	ネガティブなイメージ のみ (940)	55.9	39.7	38.2	33.7	16.8	12.0	7.2	3.0	0.3	0.3	14.4
	ポジ・ネガ両方あり (1044)	60.5	58.5	50.0	46.7	25.8	17.9	10.8	3.4	1.2	0.6	6.3

7. 投資に関する困難や課題

(2) どのようなものがあれば投資を始められるか〔Q26:複数回答〕 (18歳以上の現在非投資者)

- どのようなものがあれば投資を始められるかは、「お金に関する幅広い基本情報（貯蓄、投資、保険、不動産など）」(52.5%)が半数超で最も高い。「いつまでにどのくらいお金が増やせそうかのシミュレーション」(33.9%)、「投資の始め方がわかるもの（証券会社の選び方や商品の選び方がわかるもの）」(30.9%)、「100円からでも投資ができるもの」(30.2%)、「自分にどのくらいお金が必要かのプランを立てられるもの」(30.0%)が3割台で続く。〔図7-3〕
- 世代別では、「お金に関する幅広い基本情報」は14.3ポイント、「投資の始め方がわかるもの」は11.8ポイント、「100円からでも投資ができるもの」は10.7ポイント、コアZ世代の方が初期Z世代より高い。〔図7-3〕
- 性別では、女性で「いつまでにどのくらいお金が増やせそうかのシミュレーション」が男性より12.8ポイント高い。性×年齢別では、女性の18～24歳は「お金に関する幅広い基本情報」が6割強、「いつまでにどのくらいお金が増やせそうかのシミュレーション」が4割半ばと他層に比べて高い。〔図7-3〕
- 投資関心別（現在非投資者）では関心層、投資意識別では長期投資意向層で、上位項目を中心に他層より高い項目が多くみられる。〔図7-4〕
- お金と生活の価値観で『お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい』人は、「お金に関する幅広い基本情報」「いつまでにどのくらいお金が増やせそうかのシミュレーション」「投資の始め方がわかるもの」が上位。『人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい』人は、「100円からでも投資ができるもの」「ゲームで投資が体験できるもの」が他層に比べて高い。〔図7-4〕

〔図 7-3〕



7. 投資に関する困難や課題

(2) どのようなものがあれば投資を始められるか〔Q26:複数回答〕 (18歳以上の現在非投資者)

〔図 7-4〕

		n=	52.5	33.9	30.9	30.2	30.0	24.9	20.0	19.8	15.8	14.9	14.9	13.2	12.0	9.5	6.1	4.8	2.1	22.2
		(874)																		
			お金に関する幅広い基本情報 (貯蓄、投資、保険、不動産など)	いつまでにどのくらいのお金が増やせそうかのシミュレーション	投資の始め方がわかるもの(証券会社の選び方や商品の選び方がわかるもの)	100円からでも投資ができるもの	自分にとってのくらいのお金が必要かのプランを立てられるもの	お勧めの投資商品とその理由のわかりやすい説明	投資商品の種類と特徴のわかりやすい説明	現金の代わりにポイントで投資ができるもの	売ったり買ったりするのによいタイミングを知らせてくれるもの	購入代金以外の手数料などができるだけ安いもの	売ったり買ったりを細かく気にしなくて済むもの	書類や手続きなどがスマホで済むもの	ゲームで投資が体験できるもの	学校や職場での授業やセミナー	イベントやセミナーで直接説明を受ける機会	オンラインやチャットで1対1で相談できる機会	有名人や自分の推しによる投資のお勧め	わからない・持たない
投資関心別	関心層	(390)	67.4	47.4	41.5	43.6	40.8	36.4	30.0	27.9	24.1	22.1	20.5	19.0	16.7	15.6	9.5	8.5	3.6	7.4
	中間層	(146)	52.1	30.8	32.9	25.3	28.1	18.5	18.5	14.4	15.1	13.0	14.4	10.3	9.6	2.7	5.5	2.7	1.4	21.9
	非関心層	(338)	35.5	19.5	17.8	16.9	18.3	14.5	9.2	12.7	6.5	7.4	8.6	7.7	7.7	5.3	2.4	1.5	0.6	39.3
金融	高リテラシー層	(135)	57.8	29.6	37.0	39.3	31.9	31.9	25.2	26.7	23.7	28.1	20.7	18.5	15.6	13.3	5.9	4.4	4.4	11.1
	中間層	(427)	63.5	43.1	37.5	35.8	36.5	31.6	26.0	24.8	21.5	17.8	19.9	17.3	16.2	10.8	7.7	6.6	2.1	14.1
	低リテラシー層	(312)	35.3	23.1	19.2	18.6	20.2	12.8	9.6	9.9	4.5	5.1	5.4	5.1	4.8	6.1	3.8	2.6	1.0	38.1
投資意識別	積極投資・短期投資意向層	(92)	40.2	31.5	20.7	28.3	27.2	22.8	17.4	14.1	16.3	9.8	7.6	8.7	12.0	13.0	3.3	6.5	0.0	18.5
	長期投資意向層	(447)	64.2	43.6	40.3	37.1	39.1	32.2	27.5	23.5	19.9	19.5	18.8	17.2	13.4	11.6	9.8	6.9	2.9	10.3
	投資拒否層	(335)	40.3	21.5	21.2	21.5	18.5	15.8	10.7	16.4	10.1	10.1	11.6	9.0	10.1	5.7	1.8	1.5	1.5	39.1
お金と生活の価値観	人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい	(100)	66.0	41.0	35.0	44.0	38.0	38.0	28.0	27.0	18.0	20.0	13.0	15.0	21.0	16.0	9.0	7.0	3.0	12.0
	お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい	(201)	57.2	39.8	37.3	29.4	31.3	29.4	23.9	22.9	17.9	18.9	18.9	13.9	9.0	8.5	6.5	3.5	1.5	20.9
	お金は生活に困らない程度に最低限確保できればよい	(54)	29.6	31.5	27.8	29.6	16.7	22.2	14.8	16.7	16.7	14.8	11.1	13.0	7.4	7.4	3.7	0.0	0.0	24.1
お金に関する短期・長期選好	先のことよりも、今のためにお金を使いたい	(93)	52.7	31.2	36.6	35.5	24.7	24.7	22.6	22.6	19.4	17.2	20.4	22.6	12.9	10.8	5.4	5.4	1.1	19.4
	将来を考えてお金を着実に準備しておきたい	(313)	64.5	43.1	39.3	33.5	35.8	31.9	25.2	26.2	20.8	17.6	18.8	14.1	13.1	12.5	6.4	5.4	2.9	15.0
	両方回答あり	(50)	70.0	68.0	54.0	52.0	56.0	42.0	42.0	42.0	32.0	34.0	38.0	28.0	28.0	18.0	20.0	20.0	10.0	6.0
	両方回答なし	(418)	41.4	23.4	20.6	23.9	23.7	17.7	12.9	11.7	9.3	10.0	7.9	8.6	9.1	6.0	4.3	2.4	0.7	30.1
投資イメージ	ポジティブなイメージのみ	(96)	38.5	36.5	22.9	11.5	32.3	17.7	17.7	13.5	12.5	4.2	9.4	3.1	4.2	7.3	5.2	3.1	1.0	16.7
	ネガティブなイメージのみ	(363)	44.9	25.6	21.2	22.0	21.8	19.0	12.4	13.8	9.4	10.5	11.3	8.3	8.8	5.2	4.7	3.0	1.4	32.0
	ポジ・ネガ両方あり	(376)	67.8	44.4	45.2	46.0	40.2	34.8	29.3	29.0	24.5	23.4	21.0	21.8	18.1	15.2	8.2	7.4	3.2	8.2

8. 投資のための資金・選択基準



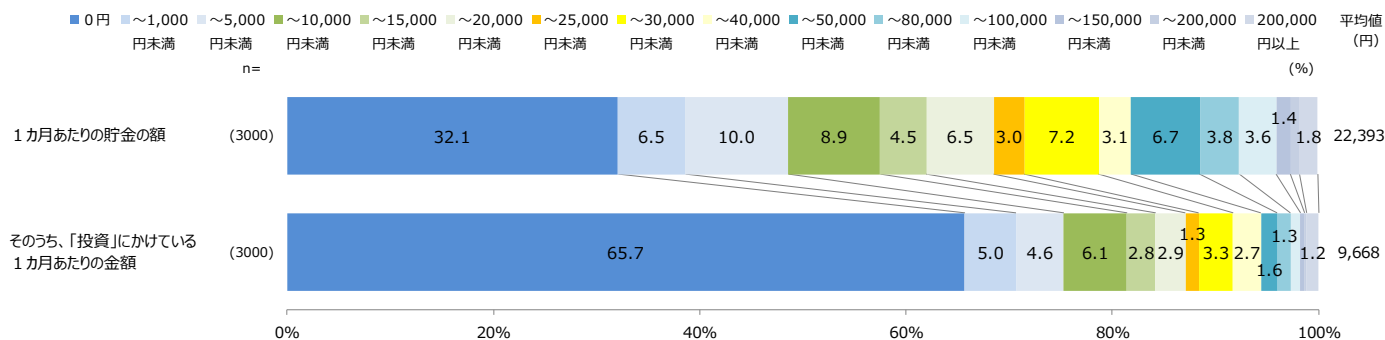
8. 投資のための資金・選択基準

(1) 月額貯蓄額・月額投資可能額〔Q27①②:単数回答〕

- 月額の貯蓄額は、平均22,393円。ただし、「0円」(32.1%)が最も多く、具体的金額では、「～5,000円未満」(10.0%)、「～10,000円未満」(8.9%)、「～30,000円未満」(7.2%)の順で高い。〔図8-1〕
- 貯蓄額のうち、投資にかけている(かけられる)金額は、平均9,668円。ただし、「0円」(65.7%)が6割半ばを占める。具体的金額では、「～10,000円未満」(6.1%)、「～1,000円未満」(5.0%)、「～5,000円未満」(4.6%)の順で高い。〔図8-1〕

※本質問は実数ではなく、選択肢での回答のため、Q27①②の各平均値は本ページ下部に記載のウエイト値を与えて算出している。また、「0円」も含めて算出している。

〔図 8-1〕



※1%未満は非表示

※ 平均値算出にあたってのウエイト値は以下の通り

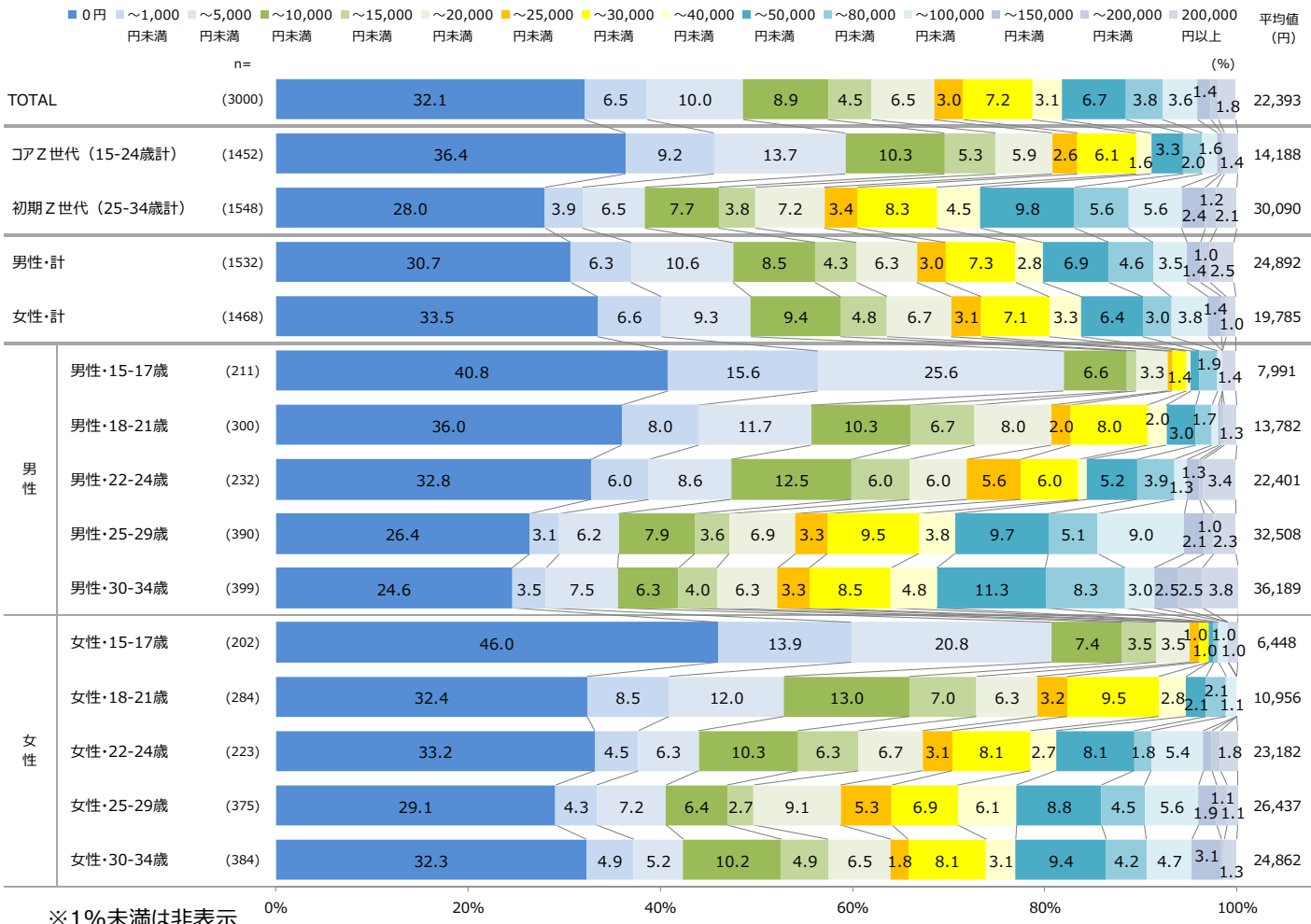
0円：0円 / ～1,000円：500円 / ～5,000円：3,000円 / ～10,000円：7,500円 / ～15,000円：12,500円 / ～20,000円：17,500円 / ～25,000円：22,500円 / ～30,000円：27,500円 / ～40,000円：35,000円 / ～50,000円：45,000円 / ～80,000円：65,000円 / ～100,000円：90,000円 / ～150,000円：125,000円 / ～200,000円：175,000円 / 200,000円以上：225,000円

8. 投資のための資金・選択基準

(2) 月額貯蓄額〔Q27①:単数回答〕

- 月額貯蓄額について、世代別では、コアZ世代で平均14,188円、初期Z世代で30,090円。コアZ世代で「0円」が初期Z世代より8.4ポイント高い。〔図8-2〕
- 性別では、男性が平均24,892円、女性が19,785円で、男性の方が5,107円上回る。性×年齢別では、男性は年齢が上がるほど「0円」の比率が低下し、平均値は大きく増加する。女性の平均値のピークは25-29歳の26,437円で、「0円」の割合も女性の各年齢層の中で最も低い。〔図8-2〕
- 投資関心別（現在非投資者）の関心層は「0円」（28.7%）が他層に比べて大幅に低い。平均値は関心が高い層ほど高くなる。〔図8-3〕
- お金に関する選好について『将来を考えてお金を着実に準備したい』人では平均29,658円、『先のことよりも、今のためにお金を使いたい』人は平均14,364円と15,294円の差があり、前者では「0円」の比率も19.2%と低い。また、個人年収別では年収が高いほど平均値が高く、投信等保有状況別では『投資信託・ETF・リートいずれか1つ以上回答あり』の人の平均値は53,006円と5万円を超える。〔図8-3〕

〔図8-2〕

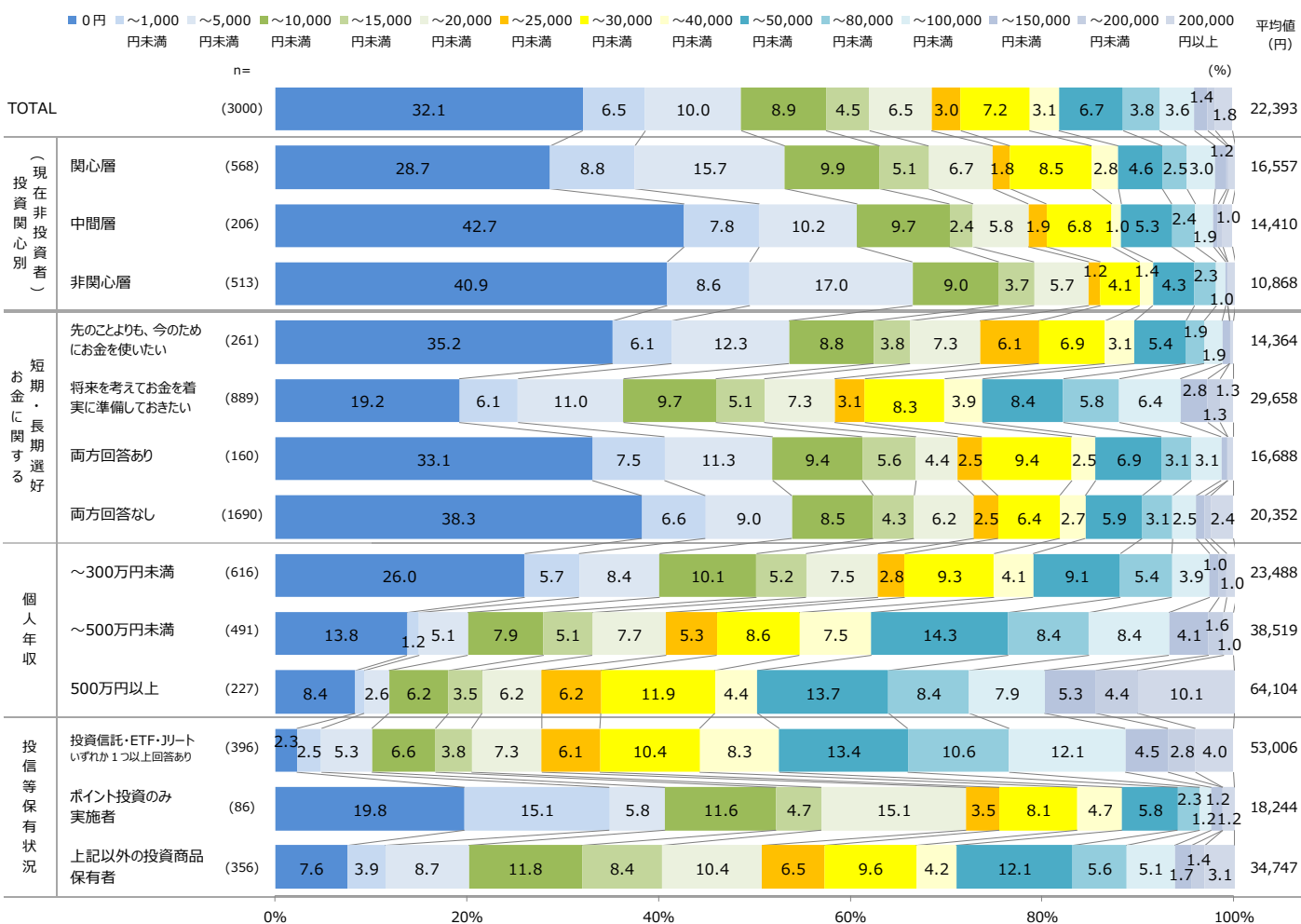


※1%未満は非表示

8. 投資のための資金・選択基準

(2) 月額貯蓄額〔Q27①:単数回答〕

〔図 8-3〕



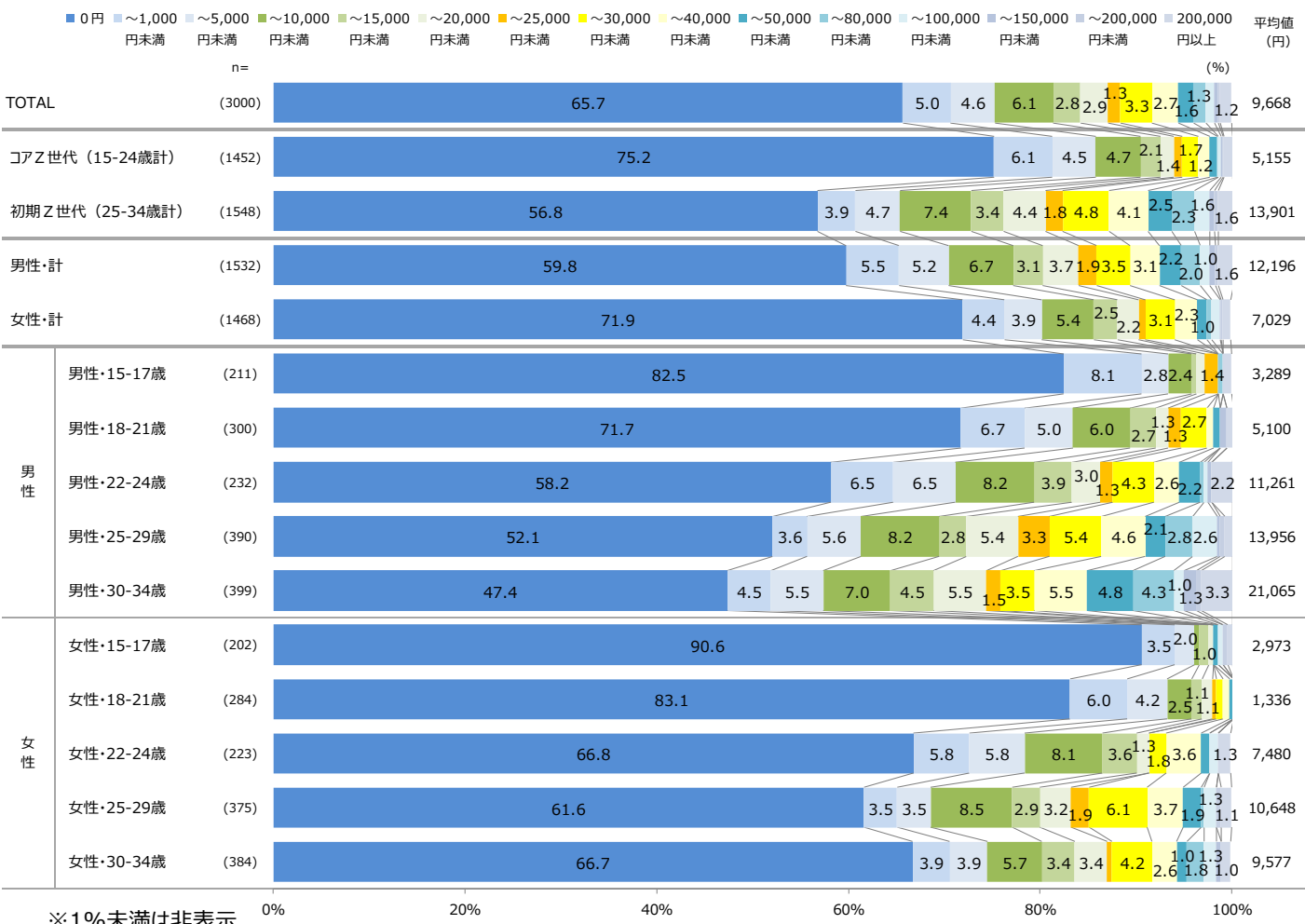
※1%未満は非表示

8. 投資のための資金・選択基準

(3) 月額投資可能額〔Q27②:単数回答〕

- 月額投資可能額については、世代別では、コアZ世代で平均5,155円、初期Z世代で13,901円。コアZ世代では「0円」が75.2%と、4人に3人が回答。〔図8-4〕
- 性別では、男性が平均12,196円、女性が7,029円で、男性の方が5,167円上回る。「0円」は、女性の方が男性より12.1ポイント高い。性×年齢別では、男性は年齢が上がるほど「0円」の比率が低下し、平均値は大きく増加する。女性の平均値のピークは25-29歳の10,648円で、「0円」の割合も、女性の各年齢層の中で最も低い。〔図8-4〕
- 投資関心別（現在非投資者）の関心層でも「0円」（83.5%）が8割以上おり、その他の層では9割以上になる。〔図8-5〕
- お金に関する選好について『将来を考えてお金を着実に準備したい』人では平均11,650円、『先のことよりも、今の為にお金を使いたい』人は平均5,971円と5,679円の差がある。「0円」の比率は前者（60.9%）が後者（66.7%）よりやや低いが、いずれの層も6割台と差は小さい。また、個人年収別では年収が高いほど平均値が高い。投信等保有状況別で『投資信託・ETF・リートいずれか1つ以上回答あり』の人は平均34,998円に対し、『上記以外の投資商品保有者』で20,281円、『ポイント投資のみ実施者』は6,221円とそれぞれの間を開きがみられる。〔図8-5〕

〔図 8-4〕

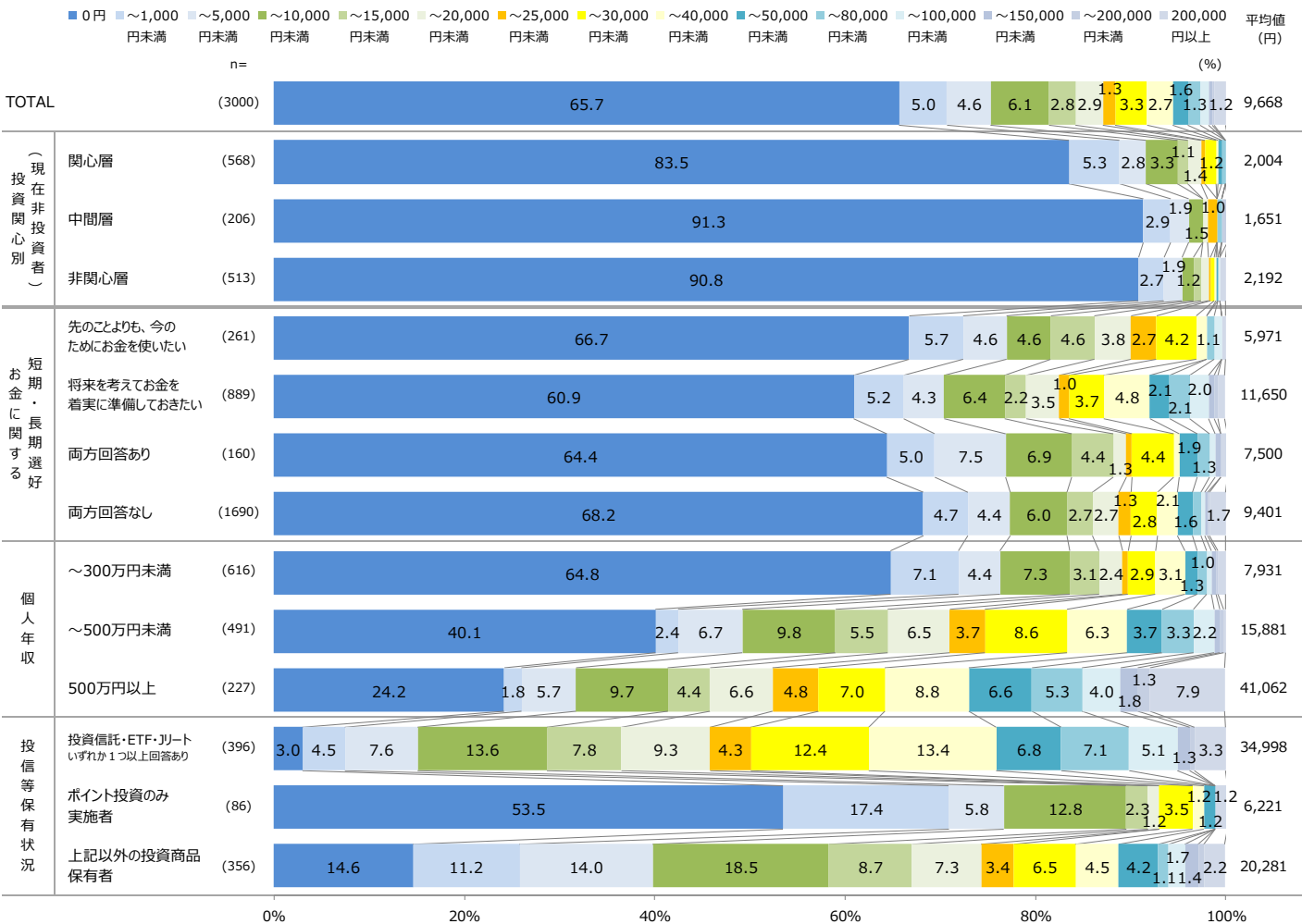


※1%未満は非表示

8. 投資のための資金・選択基準

(3) 月額投資可能額〔Q27②:単数回答〕

〔図 8-5〕



※1%未満は非表示

8. 投資のための資金・選択基準

(4) 購入意向のある投資商品〔Q28:複数回答〕

- 今後購入意向（追加購入含む）のある商品は、「株式」（26.9%）が最も高く、「投資信託（ETF、リートは除く）」（17.0%）、「ポイント投資（現金の代わりにポイントで株式や投資信託などを購入できるもの）」（11.2%）が続く。それ以外の商品は10%未満。〔図8-6〕
- 世代別では、「投資信託」は初期Z世代で22.5%と、コアZ世代を11.4ポイント上回る。〔図8-6〕
- 性別では、男性の方が女性より「株式」で16.0ポイント、「投資信託」は8.7ポイント高い。「暗号資産/仮想通貨」は7.0ポイント、「ETF」も男性の方が6.7ポイント高い。性×年齢別でみると、「投資信託」「ETF」「不動産投資信託（リート）」は、男性では年齢が上がるほど高くなる。女性の15～21歳では、それ以上の年齢層と比べて「投資信託」が低い。〔図8-6〕
- 投資経験別では、現在投資者は「株式」に次いで「投資信託」が高い。金融リテラシー別の高リテラシー層も同様の傾向。投資関心別（現在非投資者）の関心層は、「株式」が45.8%と高く、次いで「ポイント投資」「投資信託」の順となる。〔図8-7〕
- 自身の家庭の有無で『配偶者、パートナー・婚約者、自分の子あり』の人では、それ以外の層と比べて「投資信託」が高い。お金に関する選好について『将来を考えてお金を着実に準備したい』人では『先のことよりも、今のためにお金を使いたい』人よりも「投資信託」「株式」が上回る。〔図8-7〕

〔図8-6〕



8. 投資のための資金・選択基準

(4) 購入意向のある投資商品〔Q28:複数回答〕

〔図 8-7〕

株式
投資信託 (ETF、リートは除く)
ポイント投資 (現金の代わりにポイントで株式や投資信託などを購入できるもの)
外貨預金
FX
暗号資産 / 仮想通貨 (ビットコイン等)
金・プラチナ投資、先物取引
ETF
個人向け国債
不動産投資 (リート)
債券 (個人向け国債は除く)
クラウドファンディング
それ以外の投資商品
購入してみたいがわからない
購入してみたいと思うものはない

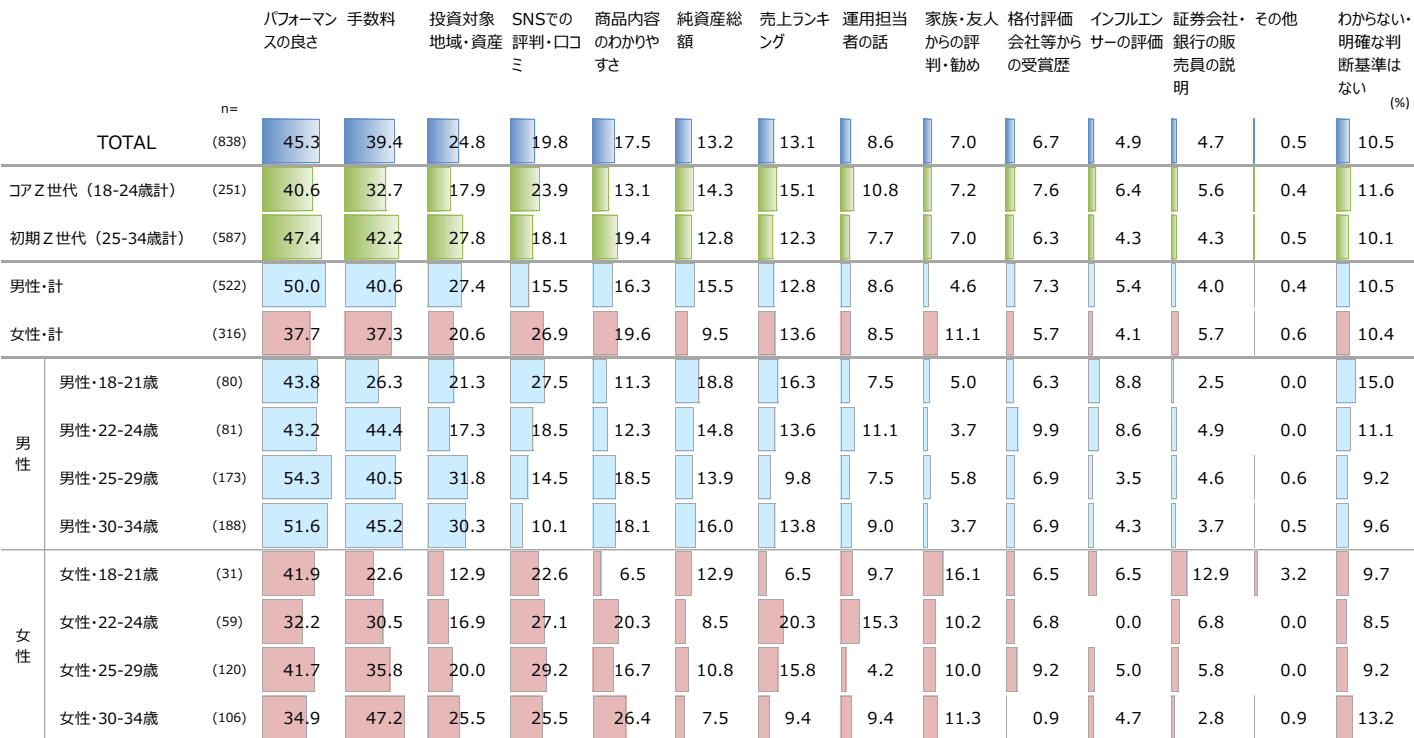
		n=															(%)
TOTAL		(3000)	26.9	17.0	11.2	8.1	6.7	6.5	6.2	5.4	4.7	4.3	4.3	3.5	1.6	12.7	42.9
投資経験別	投資商品認知者・計 (18-34歳)	(1712)	39.8	27.3	16.9	11.9	8.9	10.2	9.1	8.9	7.4	6.8	6.3	4.5	2.0	12.9	23.0
	現在投資者	(838)	55.3	45.8	22.9	18.4	11.8	16.0	13.7	17.2	12.1	12.2	11.1	6.8	2.6	6.1	5.0
	現在非投資者	(874)	24.9	9.5	11.2	5.7	6.1	4.6	4.6	1.0	2.9	1.6	1.6	2.3	1.4	19.5	40.3
	投資商品非認知者・計 (18-34歳)	(875)	2.7	2.1	1.6	1.1	0.9	0.7	0.6	0.1	0.5	0.6	0.7	0.3	0.7	11.3	81.1
	投資商品認知者・計 (15-17歳)	(268)	34.0	8.6	11.9	9.3	14.2	5.2	7.8	3.0	4.1	3.0	4.9	8.6	2.2	14.6	29.5
	投資商品非認知者・計 (15-17歳)	(145)	7.6	0.7	0.0	3.4	1.4	0.0	3.4	0.0	0.7	0.0	1.4	0.7	0.7	15.2	71.7
投資関心別 (現在非投資者)	関心層	(568)	45.8	16.7	18.3	12.3	13.2	8.1	10.2	1.8	5.5	2.3	3.3	5.5	2.3	21.5	10.9
	中間層	(206)	15.0	4.4	6.8	2.4	3.4	2.4	2.9	2.4	1.5	2.9	2.4	3.4	1.5	25.2	38.8
	非関心層	(513)	5.7	0.6	2.3	1.0	2.1	0.6	0.4	0.4	0.6	0.6	1.0	1.2	0.6	11.1	76.6
金融リテラシー別	高リテラシー層	(538)	60.0	46.7	24.9	17.7	10.6	16.5	13.9	17.3	11.7	10.8	11.2	6.9	2.4	7.1	12.3
	中間層	(1129)	31.9	17.1	13.2	9.9	9.5	7.3	7.7	5.0	5.5	5.1	4.3	4.5	2.3	15.9	29.0
	低リテラシー層	(1333)	9.3	4.9	4.0	2.8	2.7	1.7	1.8	1.0	1.3	1.0	1.5	1.2	0.6	12.3	67.1
投資意識別	積極投資・短期投資意向層	(753)	31.5	21.6	13.0	10.9	7.6	9.8	8.0	8.9	5.7	7.2	5.3	4.1	2.1	8.5	42.6
	長期投資意向層	(1312)	38.7	24.8	15.7	10.8	9.2	8.1	8.2	6.8	6.9	5.0	6.2	4.1	2.1	17.3	19.0
	投資拒否層	(935)	6.6	2.1	3.4	2.1	2.4	1.5	1.9	0.6	1.0	1.1	0.7	2.0	0.4	9.6	76.7
自身の有無	配偶者、パートナー・婚約者、自分の子あり	(654)	30.0	23.9	11.8	9.5	6.6	8.0	9.3	8.0	6.4	7.0	6.4	3.1	1.4	12.1	37.2
	上記以外	(2346)	26.0	15.0	11.0	7.8	6.7	6.1	5.3	4.7	4.3	3.5	3.7	3.6	1.6	12.9	44.5
お金に関する短期・長期選好	先のことよりも、今のためにお金を使いたい	(261)	26.1	14.2	10.7	10.0	9.2	8.8	8.0	5.4	6.9	4.6	4.2	5.0	0.8	13.0	36.4
	将来を考えてお金を着実に準備しておきたい	(889)	37.1	26.0	16.9	9.1	7.8	8.7	8.9	8.0	5.8	5.4	5.4	4.5	1.6	15.0	29.7
	両方回答あり	(160)	45.0	28.1	19.4	20.6	18.1	14.4	12.5	10.6	15.6	9.4	14.4	9.4	3.1	15.0	23.1
	両方回答なし	(1690)	19.9	11.6	7.5	6.2	4.6	4.2	3.9	3.6	2.8	3.2	2.7	2.1	1.5	11.2	52.7

8. 投資のための資金・選択基準

(5) 投資商品の選択時判断基準〔Q29:複数回答〕 (18歳以上の現在投資者)

- 現在投資者が投資商品を選択する際の判断基準は、「パフォーマンスの良さ」(45.3%)、「手数料」(39.4%)、「投資対象地域・資産」(24.8%)が2割以上で上位。〔図8-8〕
- 世代別では、「投資対象地域・資産」は9.9ポイント、「手数料」は9.5ポイント、初期Z世代がコアZ世代を上回る。コアZ世代は「SNSでの評判・口コミ」が初期Z世代より5.8ポイント高い。〔図8-8〕
- 性別では、「パフォーマンスの良さ」は男性が女性を12.3ポイント上回る。女性は「SNSでの評判・口コミ」が男性を11.4ポイント上回る。性×年齢別でみると、女性では「手数料」「投資対象地域・資産」は年齢が上がるにつれて高くなる。「SNSでの評判・口コミ」は男性は18-21歳のみ高いが、女性は年齢層の差は小さい。〔図8-8〕
- 金融リテラシー別では、上位項目は高リテラシー層ほど高い。「SNSでの評判・口コミ」は、高リテラシー層では他層に比べて低い。低リテラシー層では「わからない・明確な判断基準はない」が特に高い。〔図8-9〕
- 投信等保有状況別で『投資信託・ETF・リートいずれか1つ以上回答あり』の人は「パフォーマンスの良さ」「手数料」「投資対象地域・資産」「純資産総額」等が他層を上回る。『ポイント投資のみ実施者』は「SNSでの評判・口コミ」「商品内容のわかりやすさ」「家族・友人からの評判・勧め」が他層より高い。〔図8-9〕
- お金と生活の価値観で『お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい』人は、「パフォーマンスの良さ」「手数料」が上位で、「家族・友人からの評判・勧め」が他層より高い。『人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい』人は、「手数料」が他層に比べて低く、「パフォーマンスの良さ」が高い。〔図8-9〕

〔図8-8〕



8. 投資のための資金・選択基準

(5) 投資商品の選択時判断基準〔Q29:複数回答〕 (18歳以上の現在投資者)

〔図 8-9〕

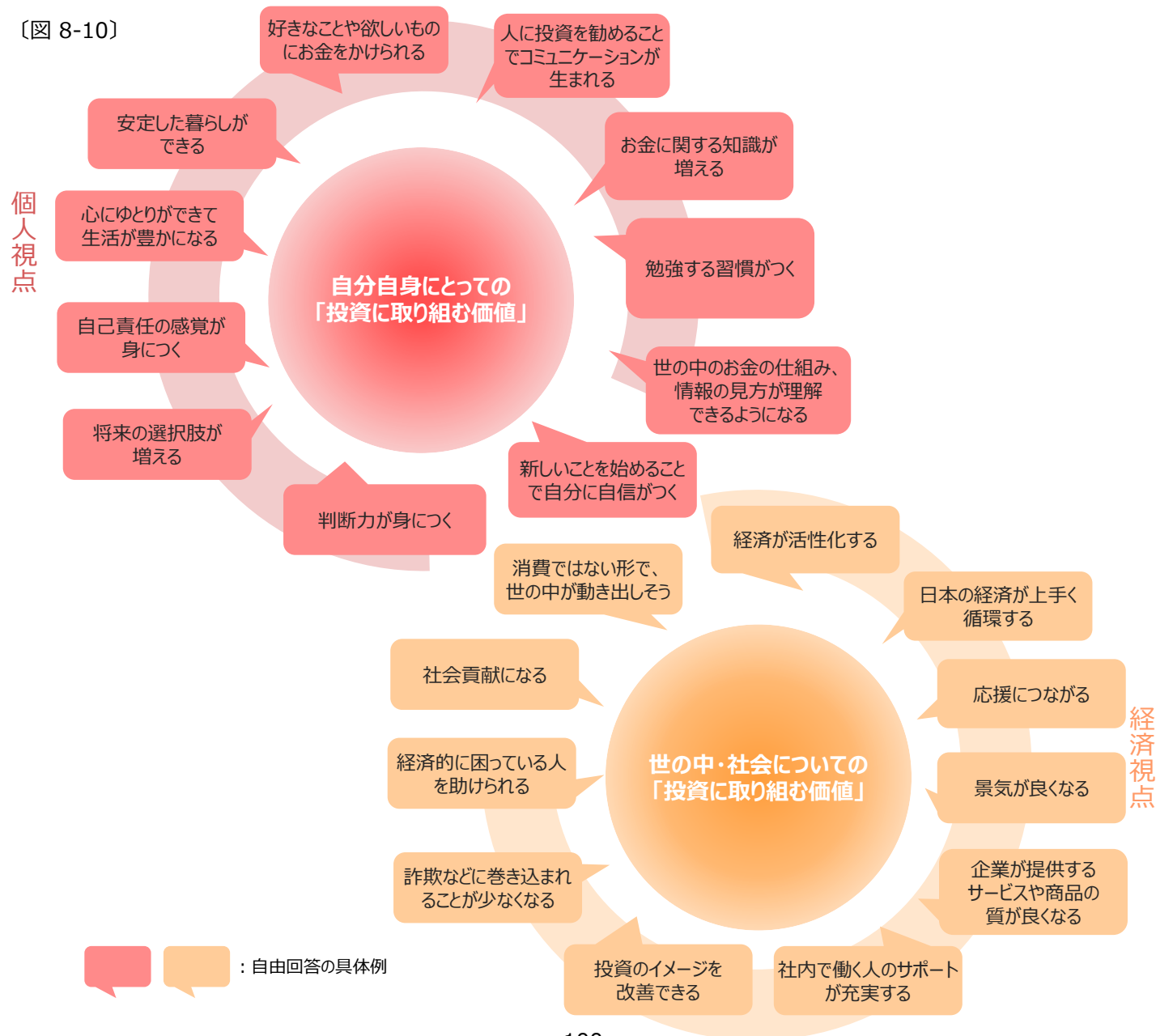
		n=	パフォーマンスの良さ	手数料	投資対象地域・資産	SNSでの評判・口コミ	商品内容のわかりやすさ	純資産総額	売上ランキング	運用担当者のお話	家族・友人からの評判・勧め	格付評価会社等からの受賞歴	インフルエンサーの評価	証券会社・銀行の販売員の説明	その他	わからない・明確な判断基準はない (%)
TOTAL		(838)	45.3	39.4	24.8	19.8	17.5	13.2	13.1	8.6	7.0	6.7	4.9	4.7	0.5	10.5
金融リテラシー別	高リテラシー層	(338)	58.0	55.0	34.3	15.7	20.1	19.2	10.7	3.3	4.4	4.4	3.6	3.3	0.3	6.5
	中間層	(351)	40.7	31.6	20.8	24.2	17.9	11.1	15.1	12.5	8.8	8.0	6.3	6.3	0.6	9.4
	低リテラシー層	(149)	27.5	22.1	12.8	18.8	10.7	4.7	14.1	11.4	8.7	8.7	4.7	4.0	0.7	22.1
投資意識別	積極投資・短期投資意向層	(262)	45.4	42.4	27.5	16.4	13.0	13.4	13.0	6.5	3.8	4.2	5.0	2.3	0.8	13.4
	長期投資意向層	(514)	47.3	39.7	24.1	21.4	19.8	12.5	13.6	9.1	8.8	7.2	5.3	5.1	0.4	7.8
	投資拒否層	(62)	29.0	24.2	19.4	21.0	17.7	19.4	9.7	12.9	6.5	12.9	1.6	11.3	0.0	21.0
お金の話をするかどうか	投資の話をする	(157)	48.4	40.1	29.3	22.9	14.6	19.1	11.5	12.1	9.6	7.0	5.7	3.8	1.9	6.4
	将来のお金、貯蓄・保険・奨学金などの話をする	(145)	47.6	43.4	24.1	24.8	20.7	12.4	15.2	13.1	6.9	7.6	6.9	6.2	0.0	3.4
	おこづかい・生活費の話をする	(91)	41.8	25.3	29.7	18.7	14.3	12.1	16.5	11.0	9.9	7.7	0.0	6.6	0.0	7.7
	お金の話をすることはしない	(255)	49.8	41.2	26.7	15.7	17.6	11.8	9.8	3.1	3.5	3.5	4.3	3.1	0.0	18.4
生活のお金と価値観	人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい	(120)	55.8	38.3	26.7	25.0	23.3	10.8	15.8	9.2	5.0	7.5	5.0	5.0	1.7	8.3
	お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい	(136)	46.3	47.1	21.3	21.3	22.8	9.6	8.8	7.4	11.8	4.4	3.7	6.6	0.0	11.0
	お金は生活に困らない程度に最低限確保できればよい	(47)	27.7	44.7	23.4	4.3	8.5	10.6	23.4	10.6	4.3	17.0	6.4	8.5	0.0	2.1
投資等保有状況	投資信託・ETF・リートいずれか1つ以上回答あり	(396)	51.3	48.0	31.6	18.9	14.9	18.2	12.9	9.8	4.8	6.3	3.3	4.0	0.3	8.1
	ポイント投資のみ実施者	(86)	38.4	37.2	14.0	25.6	31.4	7.0	8.1	1.2	17.4	2.3	5.8	5.8	0.0	15.1
	上記以外の投資商品保有者	(356)	40.4	30.3	19.9	19.4	17.1	9.3	14.6	9.0	7.0	8.1	6.5	5.1	0.8	12.1

8. 投資のための資金・選択基準

(6) 投資に取り組む価値〔Q30:自由記述回答〕

- 「投資に取り組むこと」はお金が増えること以外にどのようなことにつながるか、自分自身と世の中・社会、それぞれの点から尋ねた。自分自身にとっては、『好きなことや欲しいものにお金をかけられる』『安定した暮らしができる』といった消費・生活上の価値や、『心のゆとり』『できることの幅が広がる』『自己責任感』『判断力』にもつながるといった意見があがった。さらには『世の中・社会の仕組みの理解』に関連するコメントも見られる。〔図8-10〕
- 世の中・社会の視点からは、主には『経済の循環・活性化・景気』等の経済視点のコメントが多くみられるが、『社会貢献』『投資イメージ改善』『詐欺等の金銭トラブル減少』といった意見もあった。個人・経済の各視点からも、お金を増やすこと以外の社会的価値につながるという視点の意見が一定数みられる。〔図8-10〕

〔図 8-10〕



末尾添付資料：調査票



添付資料：調査票

F1 あなたの性別をお選びください。

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他・答えたくない

F2 あなたの年齢をお答えください。（半角数字を入力）

F3 あなたのお住まいの都道府県をお選びください。（ひとつだけ）

選択して下さい▼

Q1 あなたの職業をお知らせください。

※複数の職業をお持ちの方は、主なものを1つお知らせください。

- 1 高校生
- 2 短大生、大学生、大学院生
- 3 専門学校生、その他の学生、予備校生
- 4 会社員・非営利団体職員・公務員
- 5 派遣・契約社員
- 6 会社役員・経営者
- 7 自営業（農林漁業含む）・自由業（医師・弁護士など）
- 8 パート・アルバイト・フリーター（学生のアルバイトは除く）
- 9 専業主婦/主夫
- 10 無職
- 11 その他の職業

<Q2聴取対象：有職者(Q1=4~8、11)>

Q2 あなたの**個人年収**をお知らせください。

※世帯ではなく、**あなたご自身の年間での収入**をお知らせください。

- 1 100万円未満
- 2 100万~300万円未満
- 3 300万~500万円未満
- 4 500万~800万円未満
- 5 800万~1,000万円未満
- 6 1,000万~1,500万円未満
- 7 1,500万円以上
- 8 わからない・答えたくない

Q3 あなたの**家族**をお知らせください。(いくつでも)

※同居・非同居は問いません

- 1 親(実父・実母)
- 2 兄弟・姉妹
- 3 祖父母
- 4 夫・妻
- 5 パートナー・婚約者
- 6 自分子ども
- 7 義理の親
- 8 その他

添付資料：調査票

Q4 あなたの**趣味**をお知らせください。（いくつでも）

- 1 読書（漫画・アニメ除く）
- 2 ゲーム
- 3 漫画・アニメ
- 4 美容・健康
- 5 ファッション
- 6 外食（日常的なものを除く）
- 7 映画鑑賞（テレビや配信サービスは除く）
- 8 動画鑑賞（レンタルや配信サービスなど）
- 9 テレビ鑑賞
- 10 ライブ・フェス・コンサートへの参加
- 11 音楽鑑賞（配信・レコード・テープ・ラジオなど）
- 12 運動・スポーツ観戦
- 13 国内旅行
- 14 海外旅行
- 15 レジャー（登山・キャンプ・釣りなど）
- 16 車・バイク（ドライブ・ツーリング含む）
- 17 遊園地・テーマパーク
- 18 温浴施設（サウナ・スパ・銭湯など）
- 19 その他
- 20 特になし

添付資料：調査票

Q5 SNSの動画は、1本あたり、どのくらいの長さなら最後まで視聴しますか。

- 1 1分以内
- 2 3分以内
- 3 5分以内
- 4 10分以内
- 5 15分以内
- 6 20分以内
- 7 30分以内
- 8 1時間以内
- 9 興味のある動画なら何分でも
- 10 SNSの動画は見ない

添付資料：調査票

Q6 以下のうちで、あなたに**あてはまるもの**をお知らせください。（いくつでも）

- 1 必要なこと・好きなことには時間を惜しまない
- 2 必要性が感じられないことに時間を使いたくない
- 3 できるだけ簡単に手早く済ませたい
- 4 先行きがわからない状況に強い不安を感じる
- 5 変化が少なく単調な生活より、変化に富んだ生活をしたい
- 6 自分に自信がある方だ
- 7 失敗はできるだけしたくない
- 8 楽観的な方だと思う
- 9 SNSの情報は信用できるものかを見分けるようにしている
- 10 その時のライフスタイル・価値観にあわせて柔軟に生活の形を変えていきたい
- 11 ミニマリストの暮らしをしている・憧れがある
- 12 自分がこの先10年、どういう人生を送るか具体的にイメージしている
- 13 友人など仲のよい人がやっていることは自分もやってみたいと感じる
- 14 有名人に影響されて行動することがよくある
- 15 ストレスには向き合って乗り越えるよりも回避する方がよい
- 16 自分で考えて判断し、行動できるようになりたい
- 17 世の中や社会に役に立つことをしたい
- 18 環境問題や人権問題など、社会の大きな問題に関心がある
- 19 この中にあてはまるものはない

添付資料：調査票

Q7 以下のうちで、あなたに**あてはまるもの**をお知らせください。（いくつでも）

- 1 節約することが好き
- 2 ポイントを集めたり、増やしたりするのが好き
- 3 コスパがよいものを選ぶ
- 4 多少値段が高くても自分が納得するものを買う
- 5 人よりもお金をできるだけ多く稼ぎたい
- 6 お金に振り回されない程度に平均的な生活を送りたい
- 7 お金は生活に困らない程度に最低限確保できればよい
- 8 仲のよい友達でも、お金のことを話題にするのは気が引ける
- 9 高齢者になったとき、どのくらいお金が必要かが心配
- 10 お金は自分以外の人の助けになる
- 11 時短のためにお金を使うことがある
- 12 お金を高価なモノに使うより、貴重な経験や体験のために使いたい
- 13 先のことよりも、今のためにお金を使いたい
- 14 将来を考えてお金を着実に準備しておきたい
- 15 この中にあてはまるものはない

添付資料：調査票

Q8 あなたは、**どのようなときに「自分の将来に必要なお金」のことを考えますか。**（いくつでも）

※過去経験したことも含めてお答えください。

- 1 ふだんから考えている
- 2 学校を卒業するとき
- 3 一人暮らしを始めたとき
- 4 成人したとき
- 5 仕事（就職・転職）について考えるとき
- 6 恋人ができたとき
- 7 結婚や出産について考えるとき
- 8 自分が病気やケガをしたとき
- 9 家族の仕事やライフスタイルに変化があったとき
- 10 家族が病気やケガをしたとき
- 11 友人や同僚などと結婚や転職について話題になったとき
- 12 テレビやネットで、年金問題などのニュースを見聞きしたとき
- 13 テレビやネットで、貯蓄や投資などの話題を見聞きしたとき
- 14 その他
- 15 わからない・考えたことがない

添付資料：調査票

Q9 あなたが今後経験すると思うもの・予定していることで、特にお金がかかりそうなものを、以下のうちから3つまでお知らせください。

- 1 専門学校・大学・大学院への進学
- 2 海外留学
- 3 就職（新卒での）
- 4 転職
- 5 起業
- 6 結婚
- 7 出産・育児
- 8 住宅の購入（賃貸は除く）
- 9 自家用車の購入
- 10 家具・家電の購入（パソコンやスマホ含む）
- 11 美容に関する費用（整形費用・エステ・脱毛費用など）
- 12 装飾品の購入（腕時計・ジュエリー・バッグなど）
- 13 旅行費用
- 14 自分の子どもの教育
- 15 自分自身のリスキリング（学び直し）や資格取得
- 16 自分自身の病気・ケガ
- 17 高齢者施設への入居・介護を受ける
- 18 老後のゆとりある暮らし（海外移住など）
- 19 その他
- 20 わからない・特になし

添付資料：調査票

<Q10聴取対象：特にお金がかかりそうなものの回答者(Q9=1~19)>

Q10 前問の「特にお金がかかりそうなもの」は、**主にどのような方法でお金を用意**しようと思いますか。
(それぞれ3つまで)

		1 貯蓄 (預貯金)	2 株や投資信託などの運用 (NISA・iDeCo含む)	3 親の支援	4 奨学金、ローン・借入金	5 財形貯蓄 (勤務先で給与から 天引きして貯蓄を行う制度)	6 保険・共済	7 退職金	8 親からの相続	9 わからない・この中にはない
1	専門学校・大学・大学院への進学	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	海外留学	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	就職 (新卒での)	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	転職	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	起業	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	結婚	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	出産・育児	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	住宅の購入 (賃貸は除く)	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	自家用車の購入	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	家具・家電の購入 (パソコンやスマホ含む)	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	美容に関する費用 (整形費用・エステ・脱毛費用など)	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	装飾品の購入 (腕時計・ジュエリー・バッグなど)	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	旅行費用	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	自分の子どもの教育	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	自分自身のリスクリング (学び直し) や資格取得	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16	自分自身の病気・ケガ	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17	高齢者施設への入居・介護を受ける	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18	老後のゆとりある暮らし (海外移住など)	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19	その他	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

添付資料：調査票

Q11 ふだん、以下のような人と、お金について話をすることがありますか。ある方は、それぞれの人とどんな話をするかお知らせください。（それぞれいくつでも）

- | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|--------------------|------------------|----------------------------|------------------|-------------------------------|-----------|-----------------|---------------------------|---------------|--------------|
| お小遣いについて（金額、使い方など） | 生活費について（お小遣いを除く） | 将来必要なお金について（進学、結婚、出産、教育など） | 貯蓄について（預貯金、財形など） | 株や投資信託などの投資について（NISA・iDeCo含む） | 保険・共済について | 奨学金・ローン・借入金について | FIRE（経済的な自立による早期リタイア）について | それ以外のお金の話について | お金の話をするのではない |

1	親(実父・実母)	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	兄弟・姉妹	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	祖父母	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	夫・妻	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	パートナー・婚約者	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	友人	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	会社の同僚	→	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

添付資料：調査票

Q12 あなたが**ご存知の投資商品・方法**を**すべて**お知らせください。（いくつでも）

※「投資商品」には、現金、普通預貯金・定期預貯金は含まれません。

※**現在お持ちのものがある方は、それも含めて知っているものをすべてお選びください。**

- 1 外貨預金
- 2 株式
- 3 投資信託（ETF、Jリートは除く）
- 4 ETF
- 5 不動産投信（Jリート）
- 6 個人向け国債
- 7 債券（個人向け国債は除く）
- 8 FX
- 9 暗号資産/仮想通貨（ビットコイン等）
- 10 金・プラチナ投資、先物取引
- 11 クラウドファンディング
- 12 ポイント投資（現金の代わりにポイントで株式や投資信託などを購入できるもの）
- 13 それ以外の投資商品
- 14 この中に知っているものは1つもない

<Q13聴取対象：18歳以上の投資商品認知者(F2=18~34 且つ Q12=1~13)>

Q13 あなたは、現在「投資」をしていますか。投資をしている方は、**お持ちの商品・投資方法**をお知らせください。（いくつでも）

※「投資商品」には、現金、普通預貯金・定期預貯金は含まれません。

<投資をしている（持っている商品）>

- 1 外貨預金
- 2 株式
- 3 投資信託（ETF、Jリートは除く）
- 4 ETF
- 5 不動産投信（Jリート）
- 6 個人向け国債
- 7 債券（個人向け国債は除く）
- 8 FX
- 9 暗号資産/仮想通貨（ビットコイン等）
- 10 金・プラチナ投資、先物取引
- 11 クラウドファンディング
- 12 ポイント投資（現金の代わりにポイントで株式や投資信託などを購入できるもの）
- 13 それ以外の投資商品
- 14 投資はしているが、何を持っているかよくわからない

<投資はしていない>

- 15 投資はしたことがあるが、今はしていない
- 16 一度も投資をしたことはない

<Q14聴取対象：18歳以上の投資商品認知者のうち現在投資者(Q13=1~14)>

Q14 あなたが**投資を始めたきっかけ**をお知らせください。（いくつでも）

- 1 金融機関の人に勧められて
- 2 家族に勧められて
- 3 友人・知人に勧められて
- 4 同僚に勧められて
- 5 会社の福利厚生制度を知って（職場つみたてNISA、企業型DC、持株会など）
- 6 経済的に余裕ができたから
- 7 インターネットで見たり調べたりして
- 8 新聞・テレビ・本などで取り上げられているのを見て
- 9 YouTube等の動画配信を観て
- 10 SNSからの情報を通じて
- 11 講演会やセミナーなどで話を聞いて
- 12 金融機関の広告・DMを見て
- 13 少額投資非課税制度（NISA）のメリットを知って
- 14 個人型確定拠出年金（iDeCo）のメリットを知って
- 15 ポイントで投資/運用ができることを知って
- 16 資産形成の重要性を知って
- 17 投資を通じた社会貢献のため
- 18 景気や市場の状況を見て
- 19 学校で投資について学んで
- 20 その他

<Q15聴取対象：15～17歳全員／18歳以上の投資商品認知者のうち現在非投資者 (F2=15～17歳 または Q13=15or16)>

Q15 あなたは「投資」に興味がありますか。

- 1 とても興味がある
- 2 やや興味がある
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり興味はない
- 5 まったく興味はない

Q16 以下の内容について、合っていると思うものは「○」、違っていると思うものは「×」をお選びください。

※お調べいただかなくて大丈夫です。わからないものは直感でお答えください。

1	2	3
○	×	
合っている	違っている	わからない

- | | | | | |
|---|---|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1 平均以上の高いリターンのある投資には、平均以上の高いリスクがあるものだ | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 2 債券は株式と比べて一般的にリスクが高い | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 3 1社の株を買うことは、通常、株式投資信託(何社かの株式に投資する金融商品)を買うよりも安全な投資である | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 4 直接金融と間接金融のうち、会社が株式を発行して資金を集めるのは直接金融である | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 5 1ドル100円であった場合、1ドル110円になることを円安という | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 6 物価が継続して上昇していくことをデフレーションという | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 7 預金金利0.002%とは100万を1年間銀行に預け入れた場合に2万円利息がつくこと | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 8 預貯金は定期的に利息を受け取れ、元本保証がある | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 9 株式の価格は日々変動しているため、大きく得をすることもあれば、損をすることもある | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

添付資料：調査票

Q17 「投資」と聞いて、あなたが感じる**イメージ**をお知らせください。（いくつでも）

- 1 お金が大きく増える
- 2 コツコツと積み上げてお金を増やす
- 3 効率よくお金が増やせる
- 4 賢い感じがする
- 5 わかりやすい・誰でもできる
- 6 信用できる・安心できる
- 7 楽しい・ワクワクする
- 8 若い人向き
- 9 その他のポジティブなイメージ
- 10 お金が大きく減りそう
- 11 ギャンブル・賭け事のように感じる
- 12 手間がかかる・面倒
- 13 楽してもうかるのはずるいと感じる
- 14 難しい・勉強や知識が必要
- 15 信用できない・だまされそう
- 16 怖い・気が休まらない
- 17 中高年の人向き
- 18 その他のネガティブなイメージ
- 19 特にない

<Q18聴取対象：投資ネガティブイメージの回答者(Q17=10～18)>

Q18 前問で**以下のイメージを選んだ理由**をお知らせください。そうイメージするようになった経験、人から言われたこと、見聞きしたことなどがあれば、差し支えない範囲で教えてください。（具体的に）

あなたが前問で答えた投資イメージ： Q17の回答選択肢を表示

Q19 以下のうち、あなたに**あてはまるもの**をお知らせください。（いくつでも）

- 1 投資関連の情報は信頼できないものが多い
- 2 投資はできるだけ若いうちから始めるのがよい
- 3 投資を周りの人にもオススメしたい
- 4 家族や友人など身近な人で投資をしている人がいる
- 5 投資よりも自分の趣味や好きなことに時間を使いたい
- 6 投資や運用に関する知識は人よりある方だ
- 7 投資の勉強は子どもの時からしておくべきだ
- 8 投資の情報は、民間企業より公的機関の情報が信用できる
- 9 この中にあてはまるものはない

Q20 以下のうち、あなたの**気持ちに一番近いもの**をお知らせください。

- 1 お金が少しでも減るのはイヤなので、投資はやりたくない
- 2 お金が減るリスクが一定程度あっても、長期的に貯蓄より増える可能性があるなら投資をしたい
- 3 お金が減るリスクが高くても、短期で大きく増やせる可能性があるなら投資をしたい
- 4 貯蓄よりも投資を積極的に行って、大きくお金を増やしたい

Q21 あなたは、**商品やサービスなどの値上がり**を実感していますか。

- 1 とても値上がりを実感している
- 2 やや値上がりを実感している
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり値上がりを実感していない
- 5 まったく値上がりを実感していない

<Q22聴取対象：18歳以上の値上がり実感者(F2=18~34歳 且つ Q21=1or2)>

Q22 値上がりを受けて、**どのような対策**をされていますか（あるいは検討していますか）。（いくつでも）

- 1 節約
- 2 現金で保有する/預金として預け入れる
- 3 定期預金に預け入れる
- 4 資産運用（株式・債券・投資信託などへの投資）
- 5 外貨建て資産の購入
- 6 ゴールドや不動産など実物資産の購入
- 7 対策をしたいが、何をすればよいかわからない
- 8 特に対策は必要ない

添付資料：調査票

Q23 投資に関する学習・教育について、**A** あなたがこれまでに受けたり、参加したりしたことがあるものと、**B** そのうち投資を始めたい気持ちになったもの、**C** 今後(も)受けたい・参加したいものをお知らせください。(それぞれいくつでも)

	1 A 受けた・参加した ことがあるもの ↓	2 B 投資を始めたい 気持ちになったもの ↓	3 C 今後受けたい・ 参加したいもの ↓
1 学校での授業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 勤め先での研修・セミナー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 金融機関（証券会社、銀行、保険会社等）の会場参加型(リアル)セミナー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 金融機関（証券会社、銀行、保険会社等）のオンラインセミナー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 金融関連の公的団体の会場参加型（リアル）セミナー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 金融関連の公的団体のオンラインセミナー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 YouTube等SNSの学習・教育コンテンツ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 学校でのサークル・部活動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9 有志が実施する勉強会・セミナー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10 ファイナンシャルプランナーなど資格を持つ専門家の有料の個別相談	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11 この中にあてはまるものはない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

添付資料：調査票

Q24 あなたの**普段の生活上の情報源**をお知らせください。（投資以外のことも含みます）
また、「**投資**」の情報源として**信頼できるもの**をお知らせください。（それぞれいくつでも）

	1 普段の 情報源	2 「投資」の 情報源 として信頼 できるもの
1 テレビ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 新聞・雑誌	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 Webのポータルサイト (Google、Yahoo!など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 YouTube	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 X (旧Twitter)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 Instagram	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 TikTok	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 Facebook	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9 会場参加型（リアル） のセミナー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10 オンラインセミナー (ウェビナー)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11 職場での社員向け説明会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12 企業の公式ホームページ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13 政府・団体の 公式ホームページ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14 家族	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15 友人・知人	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16 その他 <input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17 特になし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

添付資料：調査票

Q25 投資を始める際に、ハードルになったこと・なりそうなことほどのようなことですか。以下のうち、あてはまるものをお知らせください。（いくつでも）

1 投資にあてるお金がない（余裕がない）

2 投資に関する情報が少ない

3 投資について理解できている自信がない

4 相談できる人がいない

5 投資のことに使う時間がない

6 投資を始める目的が見いだせない

7 お金が減ることがこわい

8 親（実父・実母）の理解を得られない

9 配偶者・パートナーの理解を得られない

10 その他

11 わからない・特にない

<Q26聴取対象：現在非投資者(Q13=15or16) ・18歳以上の投資商品認知者のうち現在非投資者>

Q26 どのようなものがあれば、投資を始められそうですか。以下のうちで、あてはまるものをお知らせください。（いくつでも）

- 1 お金に関する幅広い基本情報（貯蓄、投資、保険、不動産など）
- 2 自分にどのくらいお金が必要かのプランを立てられるもの
- 3 いつまでどのくらいお金が増やせそうかのシミュレーション
- 4 投資の始め方がわかるもの（証券会社の選び方や商品の選び方がわかるもの）
- 5 お勧めの投資商品とその理由のわかりやすい説明
- 6 投資商品の種類と特徴のわかりやすい説明
- 7 イベントやセミナーで直接説明を受ける機会
- 8 オンラインやチャットで1対1で相談できる機会
- 9 学校や職場での授業やセミナー
- 10 有名人や自分の推しによる投資のお勧め
- 11 100円からでも投資ができるもの
- 12 ゲームで投資が体験できるもの
- 13 現金の代わりにポイントで投資ができるもの
- 14 書類や手続きなどがスマホで済むもの
- 15 購入代金以外の手数料などができるだけ安いもの
- 16 売ったり買ったりするのによりタイミングを知らせてくれるもの
- 17 売ったり買ったりを細かく気にしなくて済むもの
- 18 わからない・特にない

添付資料：調査票

Q27 A あなたは**1カ月あたりいくらかの貯金**をしていますか。

(投資をしている方は投資金額も含めてお答えください。ポイント投資も含みます。)

B そのうち、「**投資**」にかけている**1カ月あたりのおよその金額**をお知らせください。(投資をしていない方、未成年の方は、どのくらい投資にかけられそうかをお答えください)

	1 A 1カ月あたりの貯金の額	2 B そのうち、「投資」にかけている1カ月あたりの金額
	↓	↓
1 0円	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 ~1,000円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 ~5,000円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 ~10,000円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 ~15,000円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 ~20,000円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 ~25,000円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 ~30,000円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 ~40,000円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 ~50,000円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11 ~80,000円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12 ~100,000円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13 ~150,000円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14 ~200,000円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15 200,000円以上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

添付資料：調査票

Q28 今後、購入（追加購入含む）してみたいと思う投資商品をお知らせください。（いくつでも）

- 1 外貨預金
- 2 株式
- 3 投資信託（ETF、Jリートは除く）
- 4 ETF
- 5 不動産投信（Jリート）
- 6 個人向け国債
- 7 債券（個人向け国債は除く）
- 8 FX
- 9 暗号資産/仮想通貨（ビットコイン等）
- 10 金・プラチナ投資、先物取引
- 11 クラウドファンディング
- 12 ポイント投資（現金の代わりにポイントで株式や投資信託などを購入できるもの）
- 13 それ以外の投資商品
- 14 購入してみたいが何がいいかわからない
- 15 購入してみたいと思うものはない

<Q29聴取対象：18歳以上の投資商品認知者のうち現在投資者(Q13=1~14)>

Q29 投資商品を選ぶ際に、何を判断基準にしますか。（3つまで）

- 1 投資対象地域・資産
- 2 パフォーマンスの良さ
- 3 運用担当者のお話
- 4 格付評価会社等からの受賞歴
- 5 手数料
- 6 SNSでの評判・口コミ
- 7 売上ランキング
- 8 純資産総額
- 9 インフルエンサーの評価
- 10 証券会社・銀行の販売員の説明
- 11 家族・友人からの評判・勧め
- 12 商品内容のわかりやすさ
- 13 その他
- 14 わからない・明確な判断基準はない

添付資料：調査票

Q30 「投資」に取り組むことは、**お金が増えること以外**に、**どのようなことにつながる**と思いますか。A:あなた自身、B:世の中・社会 それぞれについて、お知らせください。（それぞれ具体的に例）

A：自分自身で物事の判断ができるようになる／安定した暮らしができる／海外留学に行ける／欲しいもの・高額商品が買える／事故や病気に備えられる／経済や社会の仕組みがわかるようになる...

B：企業がよい商品・サービスを出すようになる／経済的に困っている人を助けられる／日本の経済が活性化する...

1 A:あなた自身について

2 B:世の中・社会について